



日産純正部品

日産オリジナルナビゲーション

取扱説明書

MM222D-Le

MM222D-L

日産純正部品
ナビゲーション
PART No.
B8260-7992M
B8260-7992L





ご使用前に必ずお読み下さい。


本書の見かた

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用の前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

- ◎ 道路の状況や本機の精度により、不適切な案内をする場合がありますので、本機はあくまで走行の参考にしてください。ルート案内時でも、走行中は必ず道路標識など実際の交通規制（一方通行など）に従って走行してください。
- ◎ 事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

- 本書の中で使用しているマークと意味は次のようになっています。

安全のために守っていただきたいこと。	
 警告	守らないと「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	守らないと「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
システムを使用するときに守っていただきたいこと。	
 アドバイス	守らないと破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。
システムを使ううえで知っておいていただきたいこと。	
 知識	知っておくとお車やいろいろな装備を上手に使うことができ便利です。

- 参照して読んでいただきたいページなどを  マークで表示しています。
- 本書ではスイッチや操作画面のメニュー項目などをマークで表示しています。マークの見かたは次のとおりです。

<メニュー>	コントロールパネルのスイッチやステアリングスイッチなどを表します。
【情報】	操作画面や地図上に表示されるメニューや項目を表します。

- 本書内の画面やイラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 本書は仕様変更により、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機の故障、誤動作または不具合により本機に記録できなかったデータ、消失したデータなどについては補償できません。

- 本書は、MM222D-Le の画面および操作手順を例に説明しています。
- 機種により機能や操作が異なる説明をしている所などは、下記のアイコンを使って機種を区分しています。


MM222D-Le : **MM222D-Le**

MM222D-L : **MM222D-L**

- 各機種の型式は本体の下記場所に表示されていますので、ご確認ください。



- 携帯端末で電子取扱説明書を閲覧することもできます。

<p>QR コードから</p> 	<p>URL から</p> <p>http://www.nissan.co.jp/OPTIONAL-PARTS/NAVIOM/DOP/manual_mm222d-l.pdf</p>
--	---

- ※本機で<メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[取扱説明書]をタッチするとQRコードを表示できます。



- ー QRコードの読み取りかたは、お手持ちの携帯端末の取扱説明書をご覧ください。
- ー 画面のキズや汚れ、光の反射、QRコードのバージョンによっては読み取れない場合があります。
- ー Webサイトの閲覧には別途、通信料が発生します。

◆機種別機能概要一覧

○：対応 ×：非対応 △：オプション品(別売)が必要
(各機能について詳しくはそれぞれのページをご覧ください。)

機能		機種	MM222D-Le	MM222D-L
フリック/ドラッグ/ピンチ			○	○
ナビゲーション+AV 2画面表示			○	○
AV	FM/AM/交通情報		○	○
	TV(12セグ/ワンセグ)		○	○
	HDMI		○	△
	VTR*1		△	△
	レコーダーリンク		○	×
	microSDカード(音楽/動画ファイル再生)		○	○
BLUETOOTH® Audio			○	○
バックビューモニター			△	△
日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー*1*2			△	△
ドライブレコーダー*1*3			△	△
ETC2.0			△	△
ハンズフリーフォン			○	○
スマートフォン連携	NaviCon®		○	○
音声認識			○	○

*1…別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー/ドライブレコーダーを接続している場合、VTRは使用できません。

*2…本機で映像を表示できるほか、再生するファイルの選択や設定などを本機を操作して行えるドライブレコーダーです。

*3…本機で映像を表示でき、再生などの各操作はドライブレコーダー側で行うドライブレコーダーです。



BLUETOOTH® 対応装置には技術基準適合認定を受けた無線機器を搭載しております。

目次

■ 安全上のご注意・使用上のお願い .10 ■ スマートフォンを登録する .26	■ はじめに知っておきたいこと .15	■ はじめに設定しておきたいこと .23	はじめに	P.9
■ 地図画面 .32 ■ 場所を登録する .64	■ 目的地を探す .48 ■ 交通情報を使う .67	■ ルート探索・案内 .53 ■ 地図を更新する .71	ナビゲーション	P.31
■ AVの共通操作 .74 ■ 音楽・映像の再生 .95	■ テレビ・ラジオの視聴 .83 ■ 外部機器の接続 .101	■ レコーダーリンク .92	AV	P.73
■ カメラシステム .104 ■ ETC .121	■ 日産オリジナルナビゲーション連動ドライ ブレコーダー .111	■ ドライブレコーダー .120	カメラシステム、ド ライブレコーダー、ETC	P.103
■ ハンズフリーフォンを使う .126	■ ハンズフリーフォンの設定をする .129		ハンズフリーフォン	P.125
■ スマートフォン連携 .132			スマートフォン連携	P.131
■ 音声認識でルート探索する .136			音声認識	P.135
■ その他の機能と設定 .140	■ 困ったとき .148	■ 必要なとき .167	その他	P.139



安全上のご注意・使用上のお願い

安全上のご注意	P.10
使用上のお願い	P.13

はじめに知っておきたいこと

本機のできる主な機能	P.15
本機の電源を入れる／切る	P.17
各部の名称と機能	P.18
ステアリングスイッチを操作する	P.19
音量を調整する	P.20
AVソースの音声を一時的に消音する	P.21
トップメニューを表示する	P.21
トップメニューを編集する	P.22

はじめに設定しておきたいこと

イーージーセットアップを行う	P.23
車種を設定する	P.25
自宅を登録する	P.25

スマートフォンを登録する


スマートフォンを本機と BLUETOOTH ® 接続する	P.26
スマートフォンを本機とWi-Fiネットワーク登録する	P.29


安全上のご注意・使用上のお願い

安全上のご注意 (必ずお守りください)


人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。


- 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。


- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。


 実行しなければならない内容です。

 **警告**  **運転者は走行中に本機や携帯電話の操作をしたり、画面を注視しない**
必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。


 **警告**

 **車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしない**


車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

 **microSDカードなどの小物部品は、乳幼児の手の届く所に置かない**

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師にご相談ください。






 **故障や異常な状態のまま使用しない**






画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。



 **機器内部に、水や異物を入れない**





金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。飲み物などがかからないようご注意ください。




安全上のご注意・使用上のお願い

 警告	 <p>接続機器(本機に接続するオーディオ機器、携帯電話など)や接続用のケーブルをSRSエアバッグの作動を妨げるような場所に設置しない</p> <p>SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグの作動時に接続機器が飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。</p>
	 <p>大きな音量で使用しない</p> <p>車外の音が聞こえないことによる交通事故の原因となります。</p>
	 <p>本機および接続機器を分解したり、改造をしない</p> <p>分解禁止 交通事故・火災・感電の原因となります。</p>
	 <p>雷が鳴りだしたら、アンテナコードや本機に触らない</p> <p>接触禁止 落雷による感電のおそれがあります。</p>

 警告	 <p>実際の交通規制に従う</p> <p>ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する場合があります。交通事故の原因となります。</p>
	 <p>ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する</p> <p>規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。</p>
	 <p>バックビューモニターやインテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)は補助手段として使用し、後退時には直接後方の安全確認をしながら運転する</p> <p>交通事故の原因となります。</p>
	 <p>医療用電気機器などへの影響を確認する</p> <p>本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。</p>

 警告	 接続機器(本機に接続するオーディオ機器、携帯電話など)や接続用のケーブルは、運転の邪魔にならない場所に設置する(固定するなど) 運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。
---	---

 注意	 液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えない 液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因となることがあります。
	 microSD カード挿入口に手や指を入れない けがの原因となることがあります。
	 直射日光が当たる場所で使用しない 金属部分が高温になり、触れると火傷する可能性があります。

 注意	 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れない 皮膚の炎症などの原因となることがあります。 <ul style="list-style-type: none">• 万一口に入った場合は、すぐにうがいをし、医師に相談してください。• 目に入ったり皮膚に付着したりした場合は、清浄な水で充分洗浄したあと、医師に相談してください。
	 取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する 誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売会社にご依頼ください。

使用上のお願い

走行中の操作制限／視聴制限について

- 安全運転への配慮から、走行中は操作できない機能があります。また、TVなどの映像ソースは走行中は映像表示をしません。
操作や映像ソースの視聴は、安全な場所に停車して行ってください。
- 停車するときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。

車のエンジン停止中でのご使用について

- エンジン停止中に本機をご使用になりますと、車のバッテリーがあがるおそれがあります。エンジンを停止したままで長時間ご使用にならないでください。
- エンジン停止中に本機を使用しているとき、エンジンを始動すると、電圧降下により、初期の画面に戻ることがあります。

インテリジェントキーの動作について

インテリジェントキーが装着されている車両では、インテリジェントキーを本機に近づけると動作しなくなる場合がありますので、十分にご注意ください。

温度について

極端に寒いときや暑いときは、正常に動作しないことがあります。換気や暖房で車内を適温にしてご使用ください。

結露について

- タッチパネルの内側に結露が生じた場合、正常に動作しないことがありますので、タッチパネルの操作は結露が取り除かれてから行ってください。

振動について

本機に強い振動が加わると、まれに音飛びなどの症状がみられることがあります。強い振動がおさまると通常の動作に戻ります。

ディスプレイについて

- 液晶の特性上、直射日光が反射して画面が見づらくなることがあります。
- 画面にいつも同じ色に光る点やいつも黒い点が現われる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの性質上起こるものであり、故障ではありません。
- タッチパネル面に保護フィルムを貼り付けた場合、正常に動作しないことがありますので、保護フィルムは貼り付けしないでください。

- ディスプレイ表面は傷付きやすいため、取り扱いには十分ご注意ください。硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

■ ディスプレイのお手入れについて

本機の画面には特殊なコーティングが施されており、お手入れの方法によっては、キズ、コーティング剥がれなどの原因になります。下記に注意してお手入れしてください。

- 画面のお手入れの際には、本機の電源を切り、乾いたきれいな柔らかい布で、軽く拭いてください。
- 特に次のものは使用しないでください。
 - － 汚れや砂、硬いゴミがついた布
 - － 濡れた布(ウェットティッシュ含む)
 - － 硬い布
 - － 本機の画面以外を拭いた布
 - － ティッシュペーパー
 - － 研磨剤、洗剤(ガラス用クリーナー含む)
 - － シンナー、ベンジン、アルコール、ガソリンなどの有機溶剤、酸性やアルカリ性の溶剤
 - － 化学ぞうきん
- 画面を強くこすらないでください。爪を立てたり、布の角や折り目でこすらないでください。

接続機器について

- 携帯電話などを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 静電気や電氣的ノイズを受けたり、暖房器具の熱が直接当たるおそれのある場所に放置しないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- 接続するケーブルが邪魔にならないように整理してください。手や足などにケーブルが引っ掛かり、断線や破損のおそれがあります。

著作権について

お客さまが録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっているデータが記録されたmicroSDカードなどは、著作権法の規定による範囲内で使用してください。また、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引きのばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

免責事項について

- 本機は各種規格に基いた製品仕様になっておりますが、接続する機器やソフト／アプリなどによっては、期待どおりに動作しない場合があります。
- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤使用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本機を業務用の車両(タクシー・トラック・バス・商用車など)に使用した場合、保証対象外となります。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、本機に入力した個人情報(登録地点の住所や電話番号など)の取り扱い、管理(消去など)は、必ずお客さまの責任において行ってください。
- 本機の使用を誤ったときや静電気・電氣的なノイズの影響を受けたときに基本プログラムなどが消失・変化した場合は補償できません。また、修理によって本機に登録した内容(登録地点など)が消去された場合も補償できません。

その他

- 本機で再生するデータは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはデータが失われるおそれがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。
- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断られたときは、プリセットした放送局などの設定もすべて消去されます。
- パネル面、その他の付属品にベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると、ケースや塗装が変質しますので使用しないでください。またセロハンテープなどの粘着性のものを貼ったりすることも、キャビネットを汚したり傷めたりしますので避けてください。

はじめに知っておきたいこと

快適なドライブができるようにさまざまなサポート機能があります。

本機でできる主な機能

	機能	概要	参照先
ナビゲーション機能	地図表示	<現在地>スイッチを押して現在地の地図画面を表示できます。また、地図はスクロールしたり、拡大／縮小したりできます。	➡P.32
	ランチャー	地図画面のまま、よく使う機能のボタンを表示させることができます。	➡P.34
	目的地を探す・設定する	名称、周辺施設、住所、電話番号などさまざまな方法で目的地を探し、その目的地までのルートを探索することができます。	➡P.53
	ルート探索	各種探索条件の優先度や経由地の設定などさまざまな方法で探索できます。	➡P.53
	ルート案内の表示・音声の設定	交差点情報を表示したり、右左折を音声で案内したりしてルート案内します。また、各案内(表示・音声)の有無を設定することができます。	➡P.61
	交通情報(VICS情報)	FM多重放送によりVICS情報を受信して、渋滞情報や規制情報などを確認することができます。	➡P.67
AV機能	地上デジタルテレビ	12セグおよびワンセグを受信できます。	➡P.83
	レコーダーリンク*1	スマートフォンアプリと連携して、自宅のレコーダーなどの映像を、本機で視聴できます。	➡P.92
	BLUETOOTH® Audio	スマートフォンなどのオーディオ機器を BLUETOOTH® 接続して音楽を楽しむことができます。	➡P.95
	microSDカードの音楽／動画再生	microSDカードにある音楽／動画ファイルを再生することができます。	➡P.98 ➡P.99
	外部機器の接続	HDMIでビデオカメラなどの外部機器を接続し、映像を視聴することができます。	➡P.101

* 1…**MM222D-Le**

はじめに知っておきたいこと

	機能	概要	参照先
ハンズフリーフォン機能	BLUETOOTH® ハンズフリーフォン	スマートフォンを BLUETOOTH® 接続して、本機で電話を受けたり、発信したりすることができます。	➡P.126
スマートフォン連携機能	NaviCon®	スマートフォンのNaviCon®アプリで探した目的地を本機に転送して、ルート探索・案内などを行うことができます。	➡P.132
音声認識機能		本機のマイクに発話すると、音声認識により目的地を設定できます。	➡P.136

本機の電源を入れる／切る

本機の電源は車両のキースイッチ(電源ポジション)と連動します。

キースイッチ(電源ポジション)について詳しくは車両の取扱説明書をご覧ください。初めて本機を起動したときは、取付確認・設定画面が表示されますので、[利用開始]をタッチしてイーザーセットアップを行ってください。

➡ イーザーセットアップを行う(P.23)

アドバイス

オートACC機能付きの車種の場合

- 本機を操作するには、車のエンジンをかけてください。詳しくは車両の取扱説明書をご覧ください。

知識

- 本機をバッテリー(+B)から取り外し再度接続して起動したときは、セキュリティコード入力画面が表示されます。設定したセキュリティコードを入力して[決定]をタッチしてください。
 - ➡ セキュリティコードを設定する(P.141)
 - ※間違ったセキュリティコードを入力するとメッセージが表示され、何度も入力画面を繰り返します。正しいセキュリティコードを入力し直してください。または、日産販売会社にご相談ください。
- 車両のキースイッチ(電源ポジション)をONにしたときに、ETC2.0車載器からエラーメッセージが音声でお知らせされた場合は、ETC2.0車載器の故障が原因と考えられます。再度車両のキースイッチ(電源ポジション)をONにしても異常が発生する場合は、ETC2.0車載器のアンテナにある確認ランプが点灯していることを確認してください。確認ランプが消灯しているときはETCを利用できません。詳しくは別売のETC2.0車載器の取扱説明書をご覧ください。

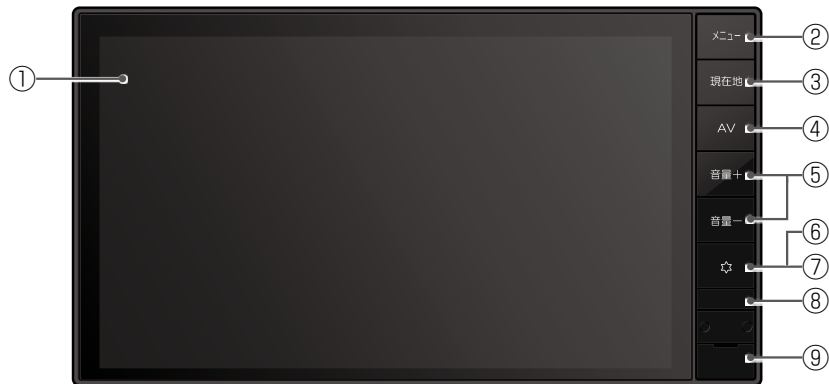
- 長期間電源OFF状態だった場合や、バッテリー(+B)から取り外し再度接続した場合などに、本機の起動時間が長くなる場合があります。起動が完了するまでしばらくお待ちください。

はじめに知っておきたいこと

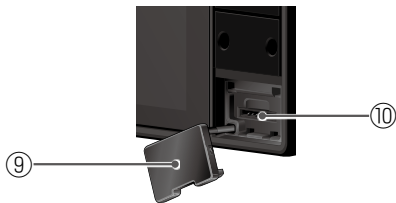
各部の名称と機能

本機は、タッチパネル、ステアリングスイッチおよびコントロールパネルの各スイッチを使って操作します。

コントロールパネル



microSD カード挿入口カバーを開けた状態



- ① ディスプレイ
- ② <メニュー>スイッチ
 - トップメニュー画面を表示します。
 - 長押しすると、音声認識を起動します。
- ③ <現在地>スイッチ
 - 今いる場所の地図画面を表示します。
 - 長押しすると、画質調整画面を表示します。
- ④ <AV>スイッチ
 - 選択中のAV画面またはAVソース一覧を表示します。
 - 長押しすると、AVをON/OFFします。
- ⑤ <音量+/->スイッチ
AV ON時/ハンズフリー中/音声案内中に各音量を調整できます。
- ⑥ < ☆ >スイッチ(オプションスイッチ)
オプションスイッチ画面で選んだ機能の操作をします。
※インテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)装着車の場合は、インテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)の映像画面を表示します。(一部の車種では表示できません。)
※ソナー付きのインテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)装着車の場合は、< ☆ >スイッチを長押しすることでソナーのON/OFFの切り替えができます。(一部の車種では切り替えができません。)

はじめに知っておきたいこと

※インテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)について詳しくは車両の取扱説明書をご覧ください。

⑦ セキュリティインジケータ

「セキュリティインジケータ」を[ON]に設定すると、本機の電源を切ったときにインジケータが点滅します。

(< ☆ >スイッチのマーク部分が点滅します。)

➡ セキュリティインジケータを設定する(P.141)

⑧ リモコン受光部

別売の後席専用モニターのリモコン用の受光部です。

➡ 後席専用モニターに表示できる映像について(P.183)

⑨ microSDカード挿入口カバー

※microSDカードを抜き差しするとき以外は閉じてください。

⑩ microSDカード挿入口

知識

- 音量は、それぞれの音声が出力中の間、調整できます。

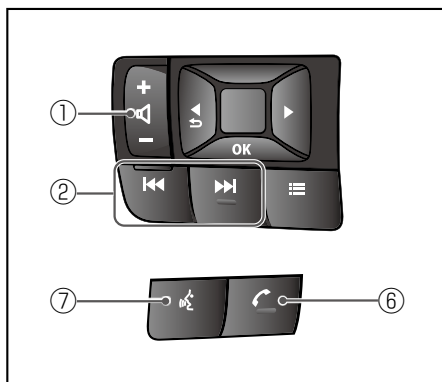
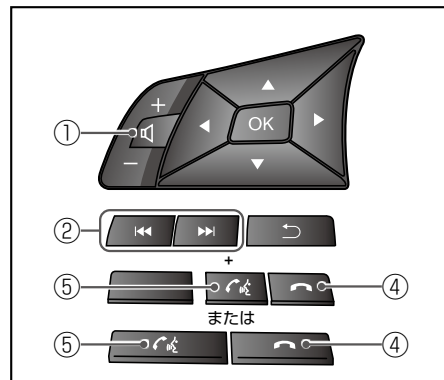
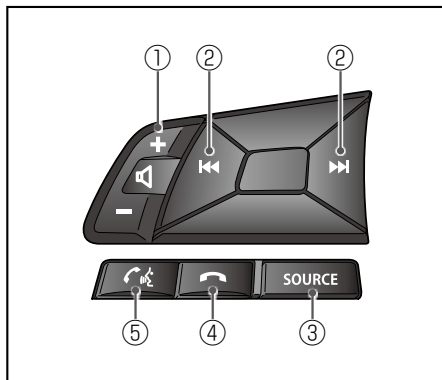
※それぞれの音量は音声出力中であっても別の方法で音量設定できます。

➡ 音量を設定する(P.21)

ステアリングスイッチを操作する

車種によっては、ハンドルにスイッチが付いている場合があります。その場合、運転中にAVの操作が可能です。

イラストはイメージ図です。



はじめに知っておきたいこと

- ① <->+>スイッチ
音量を調整します。
- ② 選曲/選局スイッチ<⏮/⏭>
FM/AMを聴いているとき
- プリセットされている放送局を選局します。
 - 長押しすると自動選局になり、放送局を受信すると止まります。
- TVを見ているとき
チャンネルリストの放送局を選局します。
- レコーダーリンクの映像を見ているとき
映像コンテンツを1つずつ送ったり、戻したりします。
- SDの音楽/動画を再生しているとき
- 音楽、ビデオを1つずつ送ったり、戻したりします。
 - 長押しすると、前のフォルダ/次のフォルダの先頭の音楽、ビデオから再生します。
- ③ <SOURCE>スイッチ
- スイッチを押すたびに、AVソースを順に切り替えます。各機種種の対応AVソースについては以下をご覧ください。
- 👉 機種別機能概要一覧(P4)
※別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー/ドライブレコーダーを接続している場合、VTRでの外部機器接続ができず、ドライブレコーダー映像となります。- AV ONの時に長押しすると、AV OFFになります。

- ④ <~>スイッチ
ハンズフリーフォン通話中に押すと、電話を切ります。
- ⑤ <📞>スイッチ
ハンズフリーフォン着信中に押すと、電話を受けます。
- ⑥ <📞>スイッチ
- ハンズフリーフォン通話中に押すと、電話を切ります。
 - ハンズフリーフォン着信中に押すと、電話を受けます。
- ⑦ <📞>スイッチ
スイッチを押すと、音声認識を起動します。

- ハンズフリーフォン発信中：呼び出し音量
- 通話中：受話音量
- 音声案内中：案内音量
- AVソース切り替え時、以下の場合はそのソースをスキップします。
 - microSDカード未挿入
 - **BLUETOOTH**® Audio未接続
 - レコーダーリンクで**BLUETOOTH**®未接続

音量を調整する

本体スイッチで音量を調整する

調整したい音声が出力されている状態で、<音量+/->スイッチを押して調整する出力中の音声の音量が調整されます。調整中はステータスバーに音量が表示されます。

📖 知識

- AVソースまたはハンズフリーの音声とナビ案内が同時に出力されているときは、ナビ案内音が調整されます。
 - AVソースの音量は、ソースごと(個別)に記憶されます。
 - ナビ案内音の音量が「0」のときは、本体ボタンで音量を調整できません。
- 👉 音量を設定する(P21)

📖 知識

- ステアリングスイッチの形状は車種によって異なります。
- 2011年5月以前に発売された車両には対応していません。
- 対応車種は日産販売会社にお問い合わせください。
- AV画面↔地図画面の切り替えは、本機のスイッチの<AV>↔<現在地>を押して切り替えてください。
- AVがOFFのときは音量調整、選曲/選局、消音の操作はできません。
- 音量スイッチで調整できるのは以下の音量です。
 - AVがONのとき：AV音量
 - ハンズフリーフォン着信中：着信音量

音量を設定する

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[音量設定]をタッチする
2. [-] / [+] で各項目の音量を調整する
 - ナビ案内音：0～11
 - 音声認識音：1～11
 - ハンズフリー着信音：0～40
 - ハンズフリー受話音：0～40
 - ハンズフリー送話音：1～7

知識

- スライダーをドラッグしても調整できません。
- 音声認識音とハンズフリー送話音の音量は、「0」には設定できません。
- お買い上げ時の設定に戻すには[初期値]→[はい]をタッチします。

AVソースの音声を一時的に消音する


< ☆ >スイッチ(オプションスイッチ)を押す

もう一度押すと解除されます。

< ☆ >スイッチ(オプションスイッチ)に消音が設定されている必要があります。

➡ オプションスイッチを設定する(P.140)

知識

- 消音時は、ステータスバーにが表示されます。
- ナビゲーションの案内音量、音声認識のトークバック、ハンズフリーの音声(通話音・発着信音)はミュートされません。
- AVをOFFにするには下記をご覧ください。
➡ AVをON / OFFにする(P.76)

トップメニューを表示する

<メニュー>スイッチを押すとトップメニューを表示します。



- ① **ショートカット**
よく使う項目をショートカットとして登録できます。
画面が複数ある場合は、[<] / [>] をタッチするか、ショートカット周辺を左右にフリックまたはドラッグすると、左右の画面に切り替ります。
- ② **☰ All Apps(全機能一覧)**
All Apps(全機能一覧)を表示します。
- ③ **[AV ON/OFF]**
AVのON / OFFを切り替えます。
➡ AVをON / OFFにする(P.76)
- ④ **【電話】**
ハンズフリー画面を表示します。
➡ 電話をかける(P.127)

はじめに知っておきたいこと

⑤ 【情報・設定】

情報・設定メニューを表示します。

⑥ 【ルート】

全ルート図を表示します。

➡ 手動で全ルート図を表示させる
(P.53)

トップメニューを編集する

全機能一覧の項目から、お好みの項目をショートカットとしてトップメニューに表示できます。(1画面あたり最大8項目、7画面まで)

トップメニューに表示させるショートカットを選ぶ

全機能一覧から、トップメニューに表示させたい項目の【メニューに表示】チェックボックスを選んでタッチし、✓印を付ける
✓印を付けた項目が、トップメニューにショートカットとして表示されます。
タッチすることにより、ON/OFFが切り替わります。

ショートカットの配置を変更する (トップメニューカスタマイズ)

1. <メニュー>スイッチを押して、【情報・設定】→【システム情報・設定】→【トップメニューカスタマイズ】をタッチする
トップメニューカスタマイズ画面が表示されます。

トップメニューでショートカットを約1秒以上タッチしても、表示できません。

2. 配置を変更したい項目をドラッグして、移動する

ドラッグした位置に項目を移動します。

ドラッグした位置に他の項目がある場合は、自動的にドラッグした項目を避けて再配置されます。

すでに8項目すべて配置されている画面には、他の画面から項目を移動できません。不要な項目を他の画面に移動させるか削除してから移動してください。

この操作を繰り返し、ショートカットの配置をしてください。

3. 【決定】をタッチする

トップメニューカスタマイズを完了します。

■他の画面に移動する

画面の左端/右端までドラッグすると、左となり/右となりの画面に移動します。

■ショートカットを削除する

☰までドラッグすると、選択した項目がショートカットから削除されます。



知識

- カスタマイズ操作中は、ショートカットをタッチしても、その機能は起動しません。

■お買い上げ時の設定に戻すには

トップメニューカスタマイズ画面から、【初期化】→【はい】をタッチする

イージーセットアップを行う


設定しておく便利な項目を、まとめて設定することができます。

初回起動時、取付確認・設定画面が表示されます。

1. **【利用開始】**→**【はい】**→**【イージーセットアップをはじめる】**をタッチする
2. 画面に従ってセットアップ操作をする
3. **【終了】**をタッチする

イージーセットアップを終了し、現在地の地図画面を表示します。

セットアップ操作

音量	ルート案内時の音声音量やハンズフリーフォンの通話音量などを設定します。 ※イージーセットアップ以外でも設定できます。➡ 音量を設定する(P21)
自宅	自宅へのルートを探索するために自宅を登録します。 登録方法を選んでください。 ※自宅が登録済みの場合は、確認メッセージが表示されます。 ※イージーセットアップ以外でも設定できます。➡ 自宅を登録する(P25)
BLUETOOTH® 設定	ハンズフリーフォンなどを使うためにスマートフォンなどの BLUETOOTH® 対応機器の登録などを行います。 ※イージーセットアップ以外でも設定できます。➡ スマートフォンを本機に登録する(P27)
オプションスイッチ	コントロールパネルの  スイッチ(オプションスイッチ)にどの機能を設定するか選びます。 ※イージーセットアップ以外でも設定できます。➡ オプションスイッチを設定する(P140)

はじめに設定しておきたいこと

知識

- 一度登録すると、次回から登録確認画面は表示されません。登録しないで本機の電源を切ると、本機を起動時、再度取付確認・設定画面が表示されます。
- [利用開始]以外をタッチした場合は、本機の電源を入れ直してください。
- [次回表示する]をタッチすると、次回起動時、再度イージーセットアップ画面を表示します。
[次回以降表示しない]をタッチすると、次回起動時、イージーセットアップ画面を表示しません。
再度イージーセットアップをしたい場合は、<メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[イージーセットアップ]をタッチしてください。
- セットアップ操作中に[前へ]／[次へ]をタッチすると、1つ前の項目の画面／次の項目の画面を表示します。

はじめに設定しておきたいこと

車種を設定する

車種を設定すると、有料道路の料金計算に利用されます。

本機を取り付けた車種に応じて、下記の設定を行ってください。

1. <メニュー>スイッチを押して、**[情報・設定]**→**[システム情報・設定]**→**[車種設定]**をタッチする
2. **[車種区分]**をタッチする
3. 車種をタッチする
 - － [軽自動車]
 - － [小型車両]
 - － [普通車両]
 - － [中型車両]
 - － [大型車両]
 - － [特定車両]

自宅を登録する

1. 自宅が登録されていない状態で、<メニュー>スイッチを押して、**[]**をタッチし、全機能一覧から**[自宅]**をタッチする
2. 自宅の場所を検索する
検索のしかたは、下記をご覧ください。
 - ➡ 行き先を探す(P.49)
 - － [現在地付近]：現在地付近の地図を表示*¹
 - － [出発地付近]：出発地付近の地図を表示*²

- － [目的地付近]：目的地付近の地図を表示*²
 - － [地図]：最後に表示していた地図を表示
- * 1… ルート未設定時のみ
* 2… ルート案内中のみ

3. **[設定]**→**[保存]**をタッチする

カーソルの地点が、自宅として登録され、自宅へのルートが探索されます。

自宅を登録すると、地図上に自宅のアイコンが表示されます。

知識

- 自宅の編集・消去は、登録地リストから行ってください。
- ➡ 場所を登録する(P.64)

スマートフォンを登録する

利用したい機能によって、あらかじめ本機にスマートフォンを登録して、**BLUETOOTH®**接続／**Wi-Fi**接続する必要があります。登録後は簡単な操作で接続できます。

■スマートフォンの登録が必要な機能

○：必要 ー：不要

機能	接続方法	
	Wi-Fi	BLUETOOTH®
部分地図更新	○	ー
レコーダーリンク* ¹	○	○
BLUETOOTH® Audio	ー	○
ハンズフリーフォン	ー	○
NaviCon®	ー	○
音声認識	○	ー

*1… **MM222D-Le**のみ

登録／接続方法の詳細については下記をご覧ください。

- ➡ スマートフォンを本機と **BLUETOOTH®** 接続する (P.26)
- ➡ スマートフォンを本機と Wi-Fi ネットワーク 登録する (P.29)

スマートフォンを本機と **BLUETOOTH®** 接続する

ハンズフリーフォンでの通話や、**BLUETOOTH® Audio**などを利用するには、スマートフォンと本機の **BLUETOOTH®** 接続が必要です。

- 自宅のレコーダーの映像を視聴する
➡ [レコーダーリンク \(P.92\)](#)
- **BLUETOOTH®** 対応オーディオ機器の音楽を聴く
➡ **BLUETOOTH®** Audio を聴く (P.95)
- ハンズフリーフォン通話
➡ [ハンズフリーフォンを使う \(P.126\)](#)
- **NaviCon®** アプリで探した目的地を本機に転送する
➡ [NaviCon®](#) を使う (P.132)

BLUETOOTH®接続をするには

BLUETOOTH®接続をするには、まずスマートフォンなどのBLUETOOTH®対応機器を本機に登録する必要があります。

① スマートフォンを本機に登録する (P.27)

アドバイス

- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作できます。
- スマートフォンにはご利用できない機種があります。適合機種については、日産販売会社にお問い合わせいただくか、日産Webサイト(www.nissanconnect.jp)の「適合携帯電話一覧」で必ずご確認ください。
- 動作確認の対象は、国内3キャリア(docomo、au、SoftBank)の製品です。一部、料金プランによってはスマートフォンの動作が変わるため対象外となる場合があります。
- すべての音楽再生アプリ、通話アプリでの動作を保証するものではありません。ハンズフリーフォンは、通常の音声通話のみ動作を保証しております。
- スマートフォン側の操作はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

スマートフォンを本機に登録する

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[スマートフォン接続設定]→[BLUETOOTH®設定]をタッチする

本機のBLUETOOTH®機能がOFFになっている場合は、ONにしてください。

② 本機のBLUETOOTH®機能をON/OFFする(P.29)

2. [機器登録]をタッチする

本機がBLUETOOTH®接続待機状態になります。

すでに6台登録されているときは登録できません。メッセージが表示された場合は、[はい]をタッチして登録済みの機器を消去してください。

接続を終了する確認メッセージが表示された場合は、[はい]をタッチすると接続が解除されますので、手順3へ進んでください。

3. スマートフォンなどBLUETOOTH®対応機器側のBLUETOOTH®機能がONになっていることを確認し、BLUETOOTH®対応機器側を操作して登録を行う

周辺のBLUETOOTH®機器を検索し、検索結果から本機のデバイス名(NISSAN MM222D)を選択して機器登録します。

4. 使用する機能を選んで✓印を付け、[決定]をタッチする

[AV]：BLUETOOTH® Audio 接続

[電話]：ハンズフリーフォン通話、スマートフォン連携機能

③ 使用する機能と割り当て設定について (P.28)

スマートフォンなどのBLUETOOTH®対応機器がBLUETOOTH®機器登録され、選んだ機能で本機と接続されます。

※ BLUETOOTH®接続中の機器がある場合は、そちらの接続は解除されます。(登録は消去されません。)

再度選ぶと、接続が解除されます。

ハンズフリー接続をした場合は、スマートフォンの電話帳と発着信履歴の情報が、本機に転送されます。

④ ハンズフリーフォンの通話設定をする (P.129)

アドバイス

- 登録は、本機とスマートフォンなど **BLUETOOTH®**対応機器の両方を操作して行います。本書では、本機の方法のみ説明していますので、**BLUETOOTH®**対応機器の取扱説明書もご覧になりながら登録を行ってください。
- 誤登録を防ぐため、登録前に周囲の他の **BLUETOOTH®**対応機器の電源をお切りください。
- **BLUETOOTH®**の登録中に車両のキースイッチ(電源ポジション)をOFFにした場合、登録は中止されません。故障の原因になりますので、登録中は車両のキースイッチ(電源ポジション)をOFFにしないでください。

知識

- 一度接続すると、次回からは自動的に接続されます。登録した別の機器を接続することもできます。
 **BLUETOOTH®**接続する機器で使用する機能を変更する(P.28)

使用する機能と割り当て設定について

登録したスマートフォンなど **BLUETOOTH®**対応機器をどの機能で使用するかに応じて下表のように割り当て設定を行ってください。

BLUETOOTH®対応機器は6台まで登録可能です。

接続台数は、使用する機器に[電話]／[AV]を選んだ1台ずつです。

使用する機能	割り当て設定
ハンズフリーフォン	[電話]を有効にする
レコーダーリンク	
NaviCon®	
BLUETOOTH® Audio	[AV]を有効にする

BLUETOOTH®接続する機器で使用する機能を変更する

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[スマートフォン接続設定]→[**BLUETOOTH®**設定]をタッチして、変更したい機器をタッチする
2. 使用する機能を選んで✓印を付け、[決定]をタッチする

[AV]：**BLUETOOTH®** Audio接続

[電話]：ハンズフリーフォン通話、スマートフォン連携機能

使用する機能と割り当て設定について (P.28)

設定した内容で本機と **BLUETOOTH®** 接続されます。

※接続中の機器がある場合は、そちらの接続は解除されません。(登録は消去されません。)

再度選ぶと、接続が解除されます。

ハンズフリー接続する機器を変更した場合、前の機器の電話帳と発着信履歴は消去され、新しく接続したスマートフォンの電話帳と発着信履歴の情報が、本機に転送(上書き)されます。

スマートフォンを登録する

登録したスマートフォンの登録を消去する

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[スマートフォン接続設定]→[BLUETOOTH設定]をタッチして、消去したい機器をタッチする
2. [消去]→[はい]をタッチする
選んだ機器の登録が消去されます。

本機のBLUETOOTH®機能をON/OFFする

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[スマートフォン接続設定]→[BLUETOOTH設定]→[オプション]→[設定]をタッチする
2. [ON] / [OFF]をタッチする

スマートフォンを本機とWi-Fiネットワーク登録する

音声認識による目的地検索、地図データのお客さまご自身での更新、レコーダーリンクでの映像視聴には、スマートフォンと本機のWi-Fi接続が必要です。

※テザリングのご利用には事前のお申し込みが必要となり、利用料金は有料の場合があります。(キャリアや契約状況によって異なります)

※スマートフォン側の操作はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

- 音声認識での目的地検索(行き先設定)
➡ 音声認識で目的地を検索する (P136)
 - 地図データの更新
➡ スマートフォンで部分地図更新をする (P72)
 - 自宅のレコーダーの映像を視聴する
➡ レコーダーリンク (P92)
1. スマートフォンを操作して、**Wi-Fiテザリングの設定**をする
Wi-FiテザリングをONにします。
Wi-Fiテザリング設定から、ネットワーク名(SSID)とパスワードを確認します。
 2. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[スマートフォン接続設

定]→[Wi-Fi設定]をタッチする

周辺のWi-Fi機器を検索し、検索結果がリストで表示されます。

3. リストから、**接続する機器を選んでタッチ**する
手順1で確認したネットワーク名(SSID)を選択してください。
 4. **[パスワード]をタッチ**する
 5. **パスワードを入力し、[]をタッチ**する
手順1で確認したパスワードを入力してください。
 6. **[接続]をタッチ**する
スマートフォンがWi-Fiネットワーク登録され、Wi-Fi接続されます。
※ Wi-Fi接続中の機器がある場合は、そちらの接続が解除されます。(登録は消去されません。)
- [] : パスワードの文字を表示

知識

- 使用するスマートフォンが対応しているセキュリティ方式によっては、本機とWi-Fi接続できない場合があります。本機が対応するセキュリティ方式については下記をご覧ください。
➡ Wi-Fiの規格とセキュリティ方式について (P183)

Wi-Fi接続する機器を変更する

<メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[スマートフォン接続設定]→[Wi-Fi設定]をタッチして、接続したい機器をタッチする

選んだ機器が本機とWi-Fi接続されます。

※Wi-Fi接続中の機器がある場合は、そちらの接続は解除されます。(登録は消去されません。)

Wi-Fiネットワーク登録を消去する

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[スマートフォン接続設定]→[Wi-Fi設定]→[オプション]→[登録ネットワーク一覧]をタッチする

[新規ネットワーク登録]: スマートフォンを本機にWi-Fiネットワーク登録できます。

2. 消去したい登録ネットワークをタッチする

3. [消去]をタッチする

選んだ機器のWi-Fiネットワーク登録が消去されます。

本機のWi-Fi機能のOFF / ONを切り替える

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[スマートフォン接続設定]→[Wi-Fi設定]→[モード変更]をタッチする

2. [OFF]をタッチする

Wi-Fi機能がOFFになり、接続が解除されます。

[ネットワーク]をタッチすると、Wi-Fi機能がONになります。

地図画面

地図画面の表示内容について	P.32
地図モード画面	P.34
ランチャー(LAUNCHER)	P.34
地点メニュー	P.34
案内ルート	P.35
走行軌跡	P.35
安心運転サポート情報	P.36
逆走注意アラーム	P.36
地図の操作	P.38
地図上のマークや記号について	P.45
地図画面の表示設定をする	P.46
自車位置設定(現在地の修正)をする	P.47
ランドマークの設定をする	P.47

目的地を探す

行き先までのルートを作るには	P.48
行き先を探す	P.49

ルート探索・案内

検索した施設を目的地・経路地に設定する	P.53
全ルート図から設定・確認する	P.53
ルートを編集する	P.54
ルート探索について	P.55
ルート案内中に	P.58

ルート探索の設定をする	P.60
ルート案内の設定をする	P.61
音声案内の設定をする	P.62
ルート案内のご注意	P.62

場所を登録する

登録地について	P.64
登録地リストを表示する	P.64
地点を登録する	P.64
登録地リストから行き先・経路地を設定する	P.64
登録地を消去する	P.65
登録地の情報を見る	P.65
登録地を編集する	P.65

交通情報を使う

VICS 情報を見る	P.67
FM多重放送の選局をする(VICS受信)	P.69
VICS情報の表示を設定する(ナビチューン)	P.70

地図を更新する

地図更新について	P.71
全国地図更新について	P.71
部分地図更新について	P.71
スマートフォンで部分地図更新をする	P.72

地図画面の表示内容について

現在地の地図表示

<現在地>スイッチを押すと、現在地の地図を表示します。



① **方位ボタン／GPS受信表示**

タッチすると地図の向きが切り替わります。

【▲】 ノースアップ(北が上)

【▶】 ヘディングアップ(進行方向が上)

現在地測位の状態

【○】 (白)：測位完了

【●】 (赤)：測位未完了(測位計算中)

② **VICS タイムスタンプ**

VICSの情報が提供された時刻を表示

➡ **VICS タイムスタンプ**(P.42)

タッチすると、近くの渋滞や交通規制などのVICS情報が案内されます。(前方約10 km以内)

③ **到着時刻／残距離表示**

ルート案内中に、目的地又は経由地までの距離と、到着する予想時刻が表示されます。

タッチすると、目的地と経由地が切り替わります。

④ **ランチャー**

ランチャーを表示します。

➡ **ランチャー(LAUNCHER)**(P.34)

⑤ **縮尺表示**

現在の縮尺を表示します。

【📏】(広域) 【📏】(詳細)で、地図の縮尺を切り替えられます。

➡ **縮尺を切り替える**(P.39)

⑥ **ダイレクトボタン**

別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーで手動録画／静止画撮影をします。

➡ **ダイレクトボタンを表示する**(P.46)

➡ **日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー**(P.111)

⑦ **自転車マーク**

自転車位置と進行方向を表示します。色と大きさを変更できます。

➡ **地図表示を設定する(ナビチューン)**(P.46)

⑧ **道路名称**

現在地の道路名称が表示されます。

⑨ **ランドマーク**

目印となる施設などが地図上にマークで表示されます。

➡ **ランドマークの設定をする**(P.47)

⑩ **案内図切替ボタン**

拡大図・案内図の表示／切替／消去に使用します。

➡ **拡大図・案内図表示を切り替える**(P.42)

⑪ **方面看板表示**

一般道を走行中に、交差点の方面看板と進むべき方向の矢印が表示されます。

➡ **ルート案内の設定をする**(P.61)

⑫ **通過交差点情報表示**

直進する交差点について、通るべき車線を案内します。2つ目の通過交差点まで表示します。

Ⓐ 1つ目の通過交差点(緑色のマーク)

Ⓑ 2つ目の通過交差点(橙色のマーク)

⑬ 分岐交差点情報表示

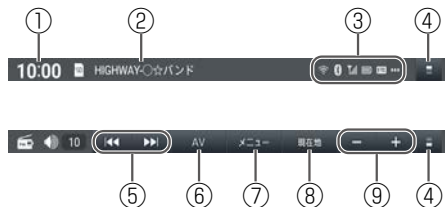
ルート上の右左折する交差点について、名称、交差点までの距離、通るべき車線を案内します。

⑭ ステータスバー

現在時刻・AV状態・外部機器の状態を表示します。また、本機を操作できます。

➡ [ステータスバー\(P.33\)](#)

ステータスバー



① 現在時刻

GPSで受信した現在時刻が表示されます。

(未受信の場合は-- : --と表示されます。)

※設定により非表示にできます。

➡ [時計表示を設定する\(P.140\)](#)

② AV状態表示

選択中のAVソース、再生中のAV情報が表示されます。

③ 外部機器状態表示

別売のETC2.0車載器、スマートフォンなど、本機と接続された機器の状態が表示されます。

ETC状態表示

- : 有効なETCカードが挿入済
- : ETCカード有効期限切れ
- : 利用不能(ETCカード未挿入など)

地図データ更新準備状態

- : 更新データあり(準備完了)
- (矢印が点滅): 更新データ受信中、および更新準備中
- : 受信失敗(データ不備・通信切断)

- : ハンズフリーフォンの電池残量(6段階)
- : ハンズフリーフォンの電波状態(6段階)
- : Wi-Fiの接続状態(5段階)
- : BLUETOOTH®接続あり
- : スマートフォン用地図更新アプリとの接続が可能/接続中

- ④ ステータスバーの表示内容が切り替わります。
- ⑤ AV操作に使用
- ⑥ AV画面に切り替え
長押しすると、AVをON/OFFします。
- ⑦ トップメニューを表示
長押しすると、音声認識を起動します。
- ⑧ 自車位置(現在地)を表示
長押しすると、画質調整画面を表示します。
- ⑨ 音量を調整

知識

- ステータスバーに表示しきれないアイコンがある場合、右端に が表示されます。
- 下方向へフリックまたはドラッグすると、現在の状態が一覧表示されます。 が表示された項目は、タッチすると、各機能の設定画面などが表示されます。
- ハンズフリーフォンの電波状態や電池残量、Wi-Fiの接続状態は、スマートフォンに表示された状態と異なる場合があります。

地図モード画面



- ① **カーソル**
地図の中心を表します。
- ② **現在地方向直線**
現在地の方向が直線で表示されます。
- ③ **← (戻る)**
1つ前の画面に戻ります。
- ④ **施設名称**
カーソルの地点に施設名の情報がある場合に表示されます。(＜メニュー＞スイッチを押し[☰]をタッチして全機能一覧から検索した施設に施設名称の情報がある場合のみ)
- ⑤ **地点名称**
カーソルの位置の住所が表示されます。
- ⑥ **マップコード**
カーソルの位置のマップコードが表示されます。
➡ マップコードで探す (P52)
- ⑦ **設定**
地点メニューを表示します。
➡ 地点メニュー (P34)

知識

- 地図モード画面で、地図の向き・縮尺・傾きを切り替えても、現在地画面に戻ると、もとの設定に戻ります。

ランチャー(LAUNCHER)

現在地画面で[☰]をタッチすると、ランチャーが表示されます。

地図表示・地点検索・地点登録・ルート探索・ルート案内に関する設定ができます。



表示されていない項目は、[<][>]をタッチするか、左右にフリック／ドラッグすると表示されます。

- [TUNE](チューン)
 - － 地図表示を設定する(ナビチューン) ➡ P46
 - － ルート探索条件を設定する(ナビチューン) ➡ P60
 - － ルート案内を設定する(ナビチューン) ➡ P61

－ VICS情報の表示を設定する(ナビチューン) ➡ P70

- [ルート消去] ➡ P49
- [案内スタート/案内ストップ] ➡ P49
- [ルート編集] ➡ P54
- [再探索] ➡ P59
- [道路切替] ➡ P47
- [周辺施設] ➡ P52
- [右画面表示] ➡ P41
- [地点登録] ➡ P64
- [ランドマーク表示/ランドマーク非表示] ➡ P47
- [ランドマーク設定] ➡ P47

知識

- 拡大図表示中は、[☰]は表示されません。拡大図を非表示にしてから操作してください。
➡ 拡大図・案内図を消去するには (P42)

地点メニュー

地図モード画面で[設定]をタッチすると、地点メニューが表示されます。目的地・経由地・登録地などを設定したり、ランドマーク表示中の施設の詳細情報を見ることができます。

- [ここに行く] ➡ P53
- [立寄る] ➡ P53

地図画面

- [地点登録] ➡ P.64
- [地点編集] ➡ P.65
- [周辺検索] ➡ P.52
- [閉じる]：地点メニューを終了します。



案内ルート

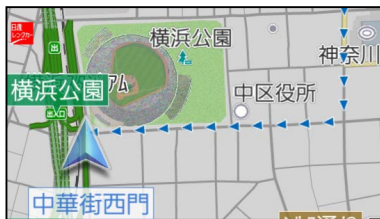


- ① 経路地マーク
経路地に設定した地点に表示されます。
➡ 検索した施設を目的地・経路地に設定する(P.53)

- ② 目的地マーク
目的地に設定した地点に表示されます。
➡ 検索した施設を目的地・経路地に設定する(P.53)
- ③ 案内ルート
目的地までの案内ルートが表示されます。
高速道路や有料道路は青色、一般道路は水色、細街路はピンク色で表示されます。
- ④ 目的地方向直線
現在地から見た目的地の方向が、直線で表示されます。
到着時刻／残距離を表示している目的地(経路地)までの方向が表示されます。
表示する／しないの設定ができます。
➡ 地図画面の表示設定をする(P.46)

走行軌跡

自車が走行した軌跡を記録し、地図上に青い▲で表示します。(約50 mおきに、約1000 kmまで)



知識

- 走行軌跡が表示される間隔は、地図の縮尺によって異なります。
- 約1000 kmを超えると、古い軌跡から消去されます。
- 表示する／しないの設定ができます。
➡ 地図画面の表示設定をする(P.46)
- 走行軌跡が記録されるのは、[走行軌跡表示]が[ON]に設定されているときのみです。
- [走行軌跡表示]を[OFF]に設定すると、走行軌跡を非表示にして、記録を停止しますが、走行軌跡の記録そのものは消去されません。再度[ON]に設定すると、続きから走行軌跡の記録を開始します。
- デモ走行中は軌跡の記録を行いません。
- 走行軌跡の記録を消去できます。
➡ 地図画面の表示設定をする(P.46)

安心運転サポート情報

運転中の状況に応じて表示と音声で注意を促し、運転をサポートします。
各案内は、ON(する)/OFF(しない)の設定ができます。

👉 ルート案内を設定する(ナビチューン)(P.61)

必ず実際の道路状況や交通規制標識・標示などに従って運転してください。

■案内内容について

音声案内の「**太字の下線**」部は、走行するルートによって案内が異なります。

状況	表示	音声
高速道路で注意の必要な合流地点に近づくと(合流案内)		この先、 左から の合流車両に注意してください。
踏切付近では(踏切案内)*1*2		この先、踏切です。
一般道の専用レーンに近づくと(専用レーン案内)*1	表示なし	この先、 左折 専用車線に注意してください。

*1…情報のある区間・地点のみ

*2…踏切手前の道路の形状や走行する経路によっては、案内されない場合があります。

📖 知識

- 複数の安心運転サポート情報がある地点では、情報のいずれか1つが案内されます。
- 隣接する並行な道路があるときや高架下/立体交差などを走行する際に自車位置を誤認して、案内されなかったり、案内が実際と異なる場合があります。
- 車両に「標識認識機能」がある場合、本機の案内と車両側に表示される情報が異なる場合があります。
- 地図データの整備状況や走行中の状況などにより案内されなかったり、案内が実際と異なる場合があります。

逆走注意アラーム

■SA/PAに駐車したときは

駐車して車のエンジンを切ったあと再度エンジンをかけ発進させると、逆走しないよう事前に注意を促します。

👉 ルート案内の設定をする(P.61)



■ 高速道路や料金所などを逆走しているときは

高速道路の出口部などで逆走を検知すると、逆走のおそれがある旨を警告案内します。

➡ ルート案内の設定をする (P.61)

➡ 逆走警告について (P.37)



[ここでは案内しない]に✓印を付けると、次回からその地点での逆走注意アラームは案内されなくなります。

■ 警告案内表示を消去するには

[解除]をタッチする

⚠ 注意

- 高速道路での逆走報知機能は、状況によって報知しないことや、報知の内容が実際の状況と異なることがあります。実際の道路状況を確認のうえ、安全に走行してください。
- 高速道路上で逆走をしてしまった場合は安全を確保したうえで、高速道路上に設置された非常電話などで指示を受けるようにしてください。

📖 知識

- 都市高速・都市間高速道路などで案内されます。
- SA/PAによっては、案内されない場合があります。
- すべての場所、すべての場合での逆走検知を保証するものではありません。
- [出荷状態に戻す]の操作を行うと、[ここでは案内しない]の設定もお買い上げ時の状態に戻ります。
- ➡ 各種設定をお買い上げ時の状態に戻す (P.146)

逆走警告について

■ 下記のような場合などでは、逆走していても警告案内を行わないことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 形状が複雑な付近を走行しているとき
- スマートICのあるSA/PA、その他特定のSA/PA内を走行しているとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- GPSアンテナ上に障害物があり、GPS信号が正常に受信できていないとき
- トンネル、高架橋、高層ビルなどの遮蔽物により、GPS信号が正常に受信できていないとき
- 本機の地図画面面上の自転車マークの位置と、実際の自転車位置が違うとき
- 直前に自転車位置、または方位の補正が行われたとき
- 急なUターンをしたとき
- 対面通行など、順走/逆走の判別が困難な道路
- 以前、逆走警告が表示された地点で[ここでは案内しない]に✓印を付けていた場合

■下記のような場合などでは、逆走してなくても警告案内を行うことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が違うとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- 駐車スペースがある料金所、または手前でUターン可能な料金所でUターンをしたとき
- 警察や道路管理会社の誘導によりUターンをしたとき

地図の操作

地図を動かす(スクロール)

タッチ、フリック、ドラッグ操作で地図をスクロールできます。

■タッチでスクロールする

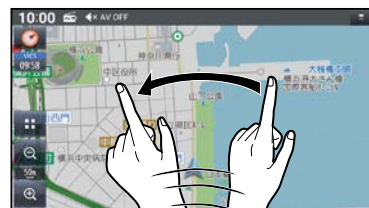
地図画面をタッチする



タッチした地点が画面の中心になります。

■フリックでスクロールする

スクロールしたい方向にフリックする



フリックした方向にスクロールします。

■ドラッグでスクロールする

スクロールしたい方向にドラッグする



指の動きに合わせてスクロールします。

知識

- 地図モード画面で、地図の向き・縮尺を切り替えても、現在地画面に戻すと、もとの設定に戻ります。
- 走行中は、フリック／ドラッグによるスクロールはできません。また走行中、市街地図が表示されている場合は、タッチによるスクロールもできません。
- フリック／ドラッグでスクロール中は、画面上で他の操作はできません。
- 指の動きより遅れてスクロールする場合があります。

縮尺を切り替える

タッチ、2点タッチ／ダブルタップ、ピンチ操作で縮尺を切り替えられます。

■ボタンをタッチして縮尺を切り替える

[🔍](広域) **[🔍]**(詳細)をタッチする



タッチし続けると、ズームアウト／ズームインのイメージで縮尺が切り替わります。

■2点タッチ／ダブルタップで縮尺を切り替える

広域に切り替えるには

- 2点タッチする



詳細に切り替えるには

- ダブルタップする



■ピンチで縮尺を切り替える

広域に切り替えるには

- ピンチインする



詳細に切り替えるには

- ピンチアウトする



知識

- 走行中にピンチ操作で縮尺を切り替えることはできません。

傾きを調整する

地図上で上下方向に2点ドラッグすると3D表示になります。

上下方向に2点ドラッグする

- 上方向に2点ドラッグ(傾きが徐々に大きくなる)



- 下に2点ドラッグ(傾きが徐々に小さくなる)



地図を回転させる

回転させたい方向に回転ドラッグする



指の動きに合わせて回転します。

右画面表示をする

■ 画面の右側に地図を表示する

＜現在地＞スイッチを押して、**[田]**をタッチし、ランチャーから**[右画面表示]**→**[地図]**をタッチする

画面の右側に地図が表示されます。



■ 現在地画面にAVソースの映像を表示する

現在地画面に、TV、SD(動画)、HDMI、VTR、ドライブレコーダー、レコーダーリンクの映像を表示できます。

＜現在地＞スイッチを押して、**[田]**をタッチし、ランチャーから**[右画面表示]**→**[映像]**をタッチする



■ 右画面表示を消去するには

＜現在地＞スイッチを押して、**[田]**をタッチし、ランチャーから**[右画面表示]**→**[OFF]**をタッチする

知識

- 走行中および拡大図表示中は、右画面表示は消去されます。
- AVソースの映像をタッチすると、全画面で表示されます。

SA / PAの情報を表示する

ハイウェイモードからSA / PAをタッチする



SA / PAの情報が表示されます。

[閉じる]をタッチすると消去されます。

拡大図・案内図表示を切り替える

1. 現在地画面から、[拡大図]をタッチする



表示できる拡大図・案内図が無い場合は、ボタンは表示されません。

2. 切り替えたい拡大図・案内図を選んでタッチする

選んだ拡大図・案内図に切り替わります。

■ 拡大図・案内図を消去するには

拡大図・案内図を、右にフリックする
拡大図・案内図が消去されます。

[閉じる]をタッチして、拡大図・案内図を消去することもできます。

■ 表示できる拡大図・案内図が1つだけのときは

[拡大図] / [案内図]をタッチすると、表示 / 非表示が切り替わります。

フリック操作で拡大図・案内図を消去することもできます。

地図上に表示されるVICs情報(レベル3)

渋滞、規制、駐車場、SA / PA情報(レベル3)を受信すると、自動的に表示されます。

■ VICs タイムスタンプ

情報が提供された時刻を表示します。(受信した時刻ではありません。)



VICS タイムスタンプにタッチすると、直近にある渋滞・規制のある地点のVICs情報が音声で案内されます。

📖 知識

- 遠方の渋滞情報は表示されません。

■ハイウェイモード時は



- ① 規制情報：区間ごとにマークを表示(2件まで)
- ② 渋滞・混雑区間：道路を色分けして表示

色	区間ごとの渋滞情報	渋滞度
赤		渋滞
橙		混雑
緑		渋滞なし
灰		情報なし

※各区間をさらに3分割して表示します。

■車線ごとの渋滞情報表示

車線ごとの渋滞情報が、色分けして地図上に表示されます。(該当の情報が配信されているエリアのみ)配信エリアについてはVICSセンターのWebサイト(<https://www.vics.or.jp/>)をご覧ください。

色	車線ごとの渋滞情報	渋滞度
赤		渋滞
橙		混雑
緑		渋滞なし



■気象・災害情報表示

気象(1時間あたり50 mm以上の大雨など)の情報を受信すると、地図にVICS タイムスタンプが表示され、対象となる範囲が薄い黄色で表示されます。



知識

- 地図の縮尺によってはVICS情報の範囲表示(黄色の透過色)が、地図画面全体になる場合があります。地図の縮尺を広域に変更すると、対象エリアの範囲を確認できます。

■渋滞情報

色分けして地図上に表示されます。(該当の情報が配信されているエリアのみ)配信エリアについてはVICSセンターのWebサイト(<https://www.vics.or.jp/>)をご覧ください。

色	リアルタイム情報		統計情報	渋滞度
	渋滞情報	リアルプロープ情報		
赤				渋滞
橙				混雑
緑				渋滞なし
灰				不明

表示する/しないを設定できます。

- ➔ VICS情報の表示を設定する(ナビチューン)(P70)

渋滞情報(リアルタイム情報)

道路に設置の車両感知器などで収集した現在の情報

リアルプロープ情報(リアルタイム情報)

タクシーなどから収集した現在の情報

統計プローブ情報(統計情報)

タクシーなどから収集した情報のデータを統計処理し、渋滞を予測した情報
 ※プローブ情報とは

走行している車から直接収集される「位置」と「時刻」のデータ(走行履歴)です。

■駐車場マーク・SA／PAマーク

色	一般駐車場	SA	PA	状態
青				空車
橙	P	SA	PA	混雑
赤				満車
黒				不明
赤	R	SA	PA	閉鎖

表示する／しないを設定できます。

➡ VICS情報の表示を設定する(ナビチュア
 ン)(P70)

■VICS情報マーク(例)

道路上の事象・規制がマークで表示されま
 ず。

マーク	内容	マーク	内容
	事故		チェーン規制
	故障車		凍結
	路上障害		速度規制
	工事		徐行
	作業		進入禁止
	片側交互通行		通行止め
	対面通行		大型通行止め
	車線規制		雨
	入口制限		雪
	入口閉鎖		災害速報
	行事等		気象警戒情報
	火災		特別警報

マークの内容を確認できます。

➡ 事象・規制マークの内容を確認する
 (P69)

表示する／しないを設定できます。

➡ VICS情報の表示を設定する(ナビチュア
 ン)(P70)

地図上のマークや記号について

地図データの整備上、すべての施設等を表示していません。改善のため予告なく変更することがあります。

地図表示記号(例)

都道府県庁舎・北海道支庁庁舎	港	デパート・スーパー・ショッピング施設	マリーナ
市役所・特別区庁舎	フェリーターミナル	遊園地・テーマパーク	山頂
町村役場・政令指定都市区役所庁舎	サービスエリア	テーマパークゲート	史跡・旧跡、観光名所
官公署・市町村役場支所(出張所)	パーキングエリア	タワー展望施設	城・城跡
消防署	インターチェンジ	動物園	ホテル・旅館・宿泊施設
自衛隊	スマートIC(本線直結型)*1	植物園	公園
学校	ジャンクション	水族館	ウインズ
病院	料金所	美術館・博物館	● その他目標施設
警察署・交番・駐在所	ランプ(出入口)	スタジアム・サッカースタジアム	
図書館	ランプ(出口専用)	運動施設、グラウンド	
工場	一方通行記号	ゴルフ場	
神社	交差点	スキー場	
寺院(仏閣、地藏)	冬季通行止め	キャンプ場	
教会	盗難多発地点(赤色、橙色、黄色)	海水浴場・(湖水、池)水泳場	
墓地	郵便局		
バス停	温泉		
飛行場・空港			

* 1…SA・PA接続型のスマートICは表示されません。

地図画面の表示設定をする

地図に表示される内容を設定する(ナビ設定)

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[ナビ設定]をタッチする
2. [表示設定]をタッチして、各項目を設定する

[ランドマーク設定]	地図画面に表示するランドマークを選択できます。 ➡表示するランドマークを選ぶ(P.47)
[走行軌跡を表示]	[ON]：走行軌跡を表示する [OFF]：走行軌跡を表示しない ➡走行軌跡(P.35)
[走行軌跡の記録を消去する]	[走行軌跡の記録を消去する]→[はい]：走行軌跡の記録を消去する ➡走行軌跡(P.35)
[目的地方向を表示]	[ON]：目的地方向直線を表示する [OFF]：目的地方向直線を表示しない ➡案内ルート(P.35)

[自車位置修正]	自車位置を修正できます。(通常は、この操作は必要ありません) ➡自車位置設定(現在地の修正)をする(P.47)
----------	--

地図表示を設定する(ナビチューン)

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[チューン]をタッチする
2. [マップ]をタッチして、各項目を設定する



昼の地図色/夜の地図色

- [ノーマル]：標準的な地図
- [道路強調]：道路を見やすく強調した地図
- [クラシック]：従来のように道路を色分けした地図*1
- [ハイコントラスト]：夕暮れや夜間などの暗い車内でも見やすいようにコントラストを高くした地図

文字サイズ【小/中/大】 地図の文字サイズ

自車マーク

- 色：青/赤/黄/緑
- 大きさ：大/小

昼夜切替

- [時刻連動]：日の出/日の入時刻に連動
- [ライト連動]：ライトの点灯/消灯に連動
- [昼画面]：常に昼画面を表示
- [夜画面]：常に夜画面を表示

*1…道路の色分け(昼画面の場合)

< >内が[クラシック]の色分けです。

- 緑系(青系)：高速道路、有料道路
- 茶系(赤系)：国道
- 茶系(緑系)：主要地方道、県道
- 灰系(灰系)：一般道、細街路(道幅5.5m未満)
- 青(破線)：フェリー航路

ダイレクトボタンを表示する

別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーを接続している場合、撮影ボタンの表示を設定できます。

<メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[ダイレクトボタン設定]をタッチして設定する

- [ドライブレコーダー動画録画]：動画録画ボタンを表示する
- [ドライブレコーダー静止画撮影]：静止画撮影ボタンを表示する
- [表示しない]：ダイレクトボタンを表示しない

自転車位置設定(現在地の修正)をする

通常は、この操作は必要ありません。

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[ナビ設定]→[表示設定]→[自転車位置修正]をタッチする
2. 位置を調整し、[決定]をタッチする
縮尺を詳細側にしておくと、より正確に自転車位置を修正できます。



3. [方向] [向き] で自転車マークを進行方向に合わせ、[決定]をタッチする



走行中の道路を誤って認識したとき(道路切替)

高速道路と一般道路が隣接しているときは、道路を取り違えることがあります。(例えば、自車が高速道路を走行中なのに自転車マークは一般道路を走行中と表示されている場合など)このような場合に、地図のマッチングを手動で切り替えて、正しい位置に修正します。

<現在地>スイッチを押して、[道路切替]をタッチし、ランチャーから[道路切替]をタッチする

そのまましばらく走行すると、自転車位置の道路(高速道路/一般道路)を切り替えて再探索されます。

道路切替は、隣接する並行な道路を対象としています。一般道路同士の切り替えはできません。

ランドマークの設定をする

表示するランドマークを選ぶ

最大300件選択できます。

1. <現在地>スイッチを押して、[ランドマーク設定]をタッチし、ランチャーから[ランドマーク設定]をタッチする
ランドマーク設定画面が表示されます。

2. 表示させたいランドマークを選んでタッチし、✓印を付ける

タッチするごとに、ON/OFFが切り替わります。

右側に[>]が表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。

[全解除]をタッチするとすべての項目の✓印を外します。

ランドマークを表示する

ランドマーク設定画面から[ランドマーク表示]の[ON]をタッチする
ランドマークが表示されます。

ランドマークを非表示にするには

ランドマーク設定画面から[ランドマーク表示]の[OFF]をタッチする
ランドマークが非表示になります。

知識

- ランチャーから[ランドマーク表示]/[ランドマーク非表示]をタッチしても、表示・非表示を切り替えられます。
- 🔗 ランチャー(LAUNCHER)(P.34)

行き先までのルートを作るには

1. 検索方法を選んでタッチする

- トップメニュー



- 全機能一覧



- [音声認識] ➡ P.136
- [周辺施設] ➡ P.52
- [自宅] ➡ P.50
- [ジャンル] ➡ P.51
- [住所] ➡ P.51
- [電話番号] ➡ P.50
- [登録地] ➡ P.50
- [マップコード] ➡ P.52
- [名称] ➡ P.49
- [履歴] ➡ P.50

2. 場所や施設を検索する

検索方法によって、表示される画面やタッチできるボタンは異なります。



- ① **50音順で並んだリストに表示されます。**
 - 行(あ→か→さ→た→な…)ごとにリストを切り替えます。
 - 同じボタンを連続してタッチすると、段(あ→い→う→え→お)を切り替えます。
- ② **上下にリストをスクロールします。**
 - リストをフリック/ドラッグしてもスクロールできます。(必ず、リストの内側をフリック/ドラッグしてください。)

3. リストから施設を選び、[決定]をタッチする

選んだ施設に出入り口や駐車場などの地点情報がある場合、さらに詳細な地点のリストが表示されます。

4. 地点メニューから[ここに行く]をタッチする



ルート探索を開始します。

[施設詳細]：検索した施設に詳細情報がある場合に表示されます。タッチすると、施設の詳細情報が表示されます。

地点メニューのその他の操作については下記をご覧ください。

- ➡ 地点メニュー (P.34)

目的地を探す

5. ルート探索が完了し、全ルート図が表示されたら、**[案内スタート]**をタッチする案内を開始します。

車を発進させても案内を開始します。

全ルート図で**[案内スタート]**以外のボタンを操作すると、車を発進させても案内は開始しません。



- ① ルート上の高速出入口を表示
- ② 探索条件・走行距離・所要時間・料金を表示

ルート案内を中止する

1. <メニュー>スイッチを押して、**[ルート]**をタッチする

2. 全ルート図から**[案内ストップ]**をタッチする

ルート案内を中止し、地図画面のルート表示を消去します。

ルートそのものは消去されません。(全ルート図のルート表示も消去されません。)

- **ルート案内を再開するには**
ルート案内中止中に、全ルート図から**[案内スタート]**をタッチする
ルート案内が再開されます。

ルートを消去する

- 全ルート図から**[ルート消去]**→**[はい]**をタッチする

ルートそのものが削除されます。

行き先を探す

施設の名称で探す

1. <メニュー>スイッチを押して、**[検索]**をタッチし、全機能一覧から**[名称]**をタッチする
2. 名称を入力し、**[検索]**をタッチする

入力履歴から候補を5件まで表示します。

[**✕**] : 1文字削除

ひらがなのみ入力できます。

[候補] : 入力履歴をリストで表示

- リストから候補をタッチすると、その内容が入力欄に入力されます。
- **[全候補初期化]**をタッチすると、すべての入力履歴が消去されます。

候補が10 000件を超える場合、メッセージが表示されます。[OK]をタッチすると、現在地から近い順に10 000件まで表示されます。

3. リストから施設を選び、**[決定]**をタッチする

[←] : 入力した名称を修正

地図が表示されます。

- ➡ 検索した施設を目的地・経由地に設定する(P.53)

施設を絞り込む

地域で絞り込むには

1. **[絞込み]**→**[地域]**をタッチする
2. **[都道府県]**→**[市区町村]**をタッチする
[全国] : 地域絞り込みを解除

ジャンルで絞り込むには

1. **[絞込み]**→**[ジャンル]**をタッチする
2. 絞り込むジャンルをタッチする
[全ジャンル] : ジャンル絞り込みを解除

知識

- 施設名の一部や略称では検索できない場合があります。
- 「ヴ」は入力できません。「ウ」で置き換えて入力してください。
例 : 「**フ** ヴィーナス」
→ 「**フ** ういーなす」

電話番号で探す

1. <メニュー>スイッチを押して、**[☰]**をタッチし、全機能一覧から**[電話番号]**をタッチする
2. 電話番号を市外局番から入力し、**[🔍]**をタッチする
[✖]：1文字削除

該当する施設が複数ある場合は、リストから選んでください。
地図が表示されます。

👉 検索した施設を目的地・経由地に設定する(P.53)

📖 知識

- 電話番号から個人宅を検索できません。
- 電話番号が一部しかわからない場合は、検索できません。

目的地・経由地の履歴から探す

1. <メニュー>スイッチを押して、**[☰]**をタッチし、全機能一覧から**[履歴]**をタッチする
以前目的地・経由地に設定した場所のリストが新しい順に100件まで表示されます。
2. リストから履歴を選び、**[決定]**をタッチする
地図が表示されます。

👉 検索した施設を目的地・経由地に設定する(P.53)

📖 知識

- 履歴は100件まで自動的に保存され、100件を超えると古いものから自動的に削除されます。

■ 目的地・経由地の履歴を手動で消去するには

1. 履歴のリストから**[🗑]**をタッチする
2. 消去したい履歴を選んで✓印を付け、**[消去]**をタッチする
選んだ履歴が消去されます。
[全選択]をタッチするとすべての履歴に✓印を付けます。

自宅へ帰る

あらかじめ自宅を登録しておく必要があります。

👉 自宅を登録する(P.25)

<メニュー>スイッチを押して、**[☰]**をタッチし、全機能一覧から**[自宅]**をタッチする

現在地から自宅までのルートが探索され、全ルート図が表示されます。

👉 検索した施設を目的地・経由地に設定する(P.53)

登録地から探す

あらかじめ地点を登録しておく必要があります。

👉 地点を登録する(P.64)

1. <メニュー>スイッチを押して、**[☰]**をタッチし、全機能一覧から**[登録地]**をタッチする
2. リストから登録地を選び、**[決定]**をタッチする
[登録順(昇順)]：登録された順に昇順で表示
[登録順(降順)]：登録された順に降順で表示
地図が表示されます。

👉 検索した施設を目的地・経由地に設定する(P.53)

地図の中心地点周辺の施設を探す

地図の中心地点の施設を検索できます。

1. 地図をスクロールして、検索範囲の中心にカーソルを合わせ【設定】をタッチする

2. 地点メニューから【周辺検索】をタッチする

3. ジャンル→中分類→小分類を選んで✓印を付け、【検索】をタッチする

リストに[>]が表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。

チェックボックスのある中分類・小分類は、複数の項目を選ぶことができます。選んだ項目には、✓印が付きます。

【全選択】をタッチするとすべての項目に✓印を付けます。

【全解除】をタッチするとすべての項目の✓印を外します。

4. リストから施設を選び、【決定】をタッチする

地図が表示されます。

- ➡ 検索した施設を目的地・経由地に設定する(P53)

住所で探す

1. <メニュー>スイッチを押して、【☰】をタッチし、全機能一覧から【住所】をタッチする

2. 都道府県→市区町村→町名→丁目を順に選んでタッチする

市区町村を選んだあと、大字・小字を選ぶ場合があります。

住所が部分的にしかわからないときは、[代表地点]をタッチすると、その地域の地図を表示します。

3. 数字キーで番地・号を入力し、【検索】をタッチする

番地・号は、「-」で区切ってください。

【✕】：1文字削除

リストから番地・号を選ぶこともできます。地図が表示されます。

- ➡ 検索した施設を目的地・経由地に設定する(P53)

ジャンルから探す

ジャンルから施設を検索できます。(最大100件)

- ➡ 表示できる施設(P177)

1. <メニュー>スイッチを押して、【☰】をタッチし、全機能一覧から【ジャンル】をタッチする

2. ジャンル→中分類→小分類を順に選んでタッチする

リストに[>]が表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。

3. 検索する範囲の中心となる地点を選んでタッチする

【現在地周辺】：地図の周辺の施設

【目的地周辺】：目的地周辺の施設*¹

【ルート沿い】：ルート沿いの施設*¹*²

【都道府県】：選んだ地域の施設*³

*¹…ルート案内中のみ

*²…現在地からルート沿いに左右約100 m、進行方向に約10 km以内を検索

*³…都道府県・市町村を選択してください。

4. リストから施設を選び、【決定】をタッチする

選んだ施設に出入口や駐車場などの地点情報がある場合、さらに詳細な地点のリストが表示されます。

地図が表示されます。

- ➡ 検索した施設を目的地・経由地に設定する(P53)

マップコードで探す

マップコードとは、数字で地図上の位置を表すコードで、施設などの位置を示すためにガイドブックなどに掲載されているコードです。

1. <メニュー>スイッチを押して、**[☰]**をタッチし、全機能一覧から**[マップコード]**をタッチする
2. マップコードを入力し、**[🔍]**をタッチする
地図が表示されます。
👉 検索した施設を目的地・経由地に設定する(P.53)

知識

- 本機は高分解能マップコードにも対応しています。(マップコードHR)

周辺の施設から探す

現在地、目的地周辺や、ルート沿いの施設を検索できます。(最大100件)

👉 表示できる施設(P.177)

1. <メニュー>スイッチを押して、**[☰]**をタッチし、全機能一覧から**[周辺施設]**をタッチする
2. 検索方法を選んでタッチする
[現在地周辺]：地図の中心周辺の施設
[ルート沿い]：ルート沿いの施設*1*2
[目的地周辺]：目的地周辺の施設*2

*1…現在地からルート沿いに左右約100 m、進行方向に約10 km以内を検索

*2…ルート案内中のみ

3. **ジャンル→中分類→小分類を順に選んで✓印を付け、[検索]をタッチする**
中分類・小分類は、複数の項目を選ぶことができます。選んだ項目には、✓印が付きます。
リストに[>]が表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。
[全選択]をタッチするとすべての項目に✓印を付けます。
[全解除]をタッチするとすべての項目の✓印を外します。

4. リストから施設を選んでタッチして、**[決定]**をタッチする
地図が表示されます。
👉 検索した施設を目的地・経由地に設定する(P.53)

検索した施設を目的地・経由地に設定する

1. 地点を検索する

検索した地点の地図が表示されます。
検索方法については下記をご覧ください。

➡ [行き先を探す \(P.49\)](#)

2. (目的地に設定する場合)【ここに行く】をタッチする

カーソルの地点を目的地に設定してルート探索を開始し、完了後、全ルート図が表示されます。

ルートが設定されている場合、前のルートは削除されます。

(経由地に設定する場合)【立寄る】をタッチする



カーソルの地点が経由地に設定されます。

3. (手順2で【ここに行く】をタッチした場合のみ)全ルート図から、探索条件を選んでタッチする

5つの探索条件から選べます。

➡ [探索条件について \(P.55\)](#)

(【立寄る】を選んだ場合のみ)経由地を追加する区間の【+】をタッチする

選んだ区間に経由地を追加し、ルート探索を開始し、完了後、全ルート図が表示されます。

経由地の順番は入れ替えられます。

➡ [経由地・目的地の順番を並べ替える \(P.55\)](#)

4. 【案内スタート】をタッチする

ルート案内を開始します。

走行を始めても、ルート案内を開始します。

全ルート図を表示後、他の画面を表示しても、ルート案内を開始します。

[ルート編集]：ルート編集します。

➡ [ルートを編集する \(P.54\)](#)

[ルート消去]：ルートを消去します。

➡ [ルートを消去する \(P.49\)](#)

[デモ走行]：デモ走行を開始します。

➡ [デモ走行でルートを確認する \(P.54\)](#)



知識

- 最終の目的地までルート探索をしてから経由地を設定してください。
- 経由地・目的地の近くに有料道路がある場合は、案内される場合があります。

全ルート図から設定・確認する

手動で全ルート図を表示させる

ルート案内中に、手動で全ルート図を表示させることができます。

<メニュー>スイッチを押して、【ルート】をタッチする

全ルート図が表示されます。

知識


- 上記の方法では探索条件を選べません。ルート編集画面から設定してください。
- ➡ [ルートを編集する \(P.54\)](#)

デモ走行でルートを確認する

探索したルートをデモ走行させ、実際に走行する前にルートを確認できます。

全ルート図から、**【デモ走行】**をタッチするデモ走行を開始します。

[1倍速]：デモ走行の走行速度を変更する。タッチするたびに、[2倍速]→[4倍速]→[1/2倍速]→[1倍速]と速度が変化します。

[]：デモ走行を一時停止する。

[]：デモ走行を再開する。

■デモ走行を終了するには

デモ走行中に、**【デモ走行中止】**をタッチする

デモ走行を終了します。

<AV><メニュー><現在地>を押してもデモ走行を中止します。

知識

- 走行速度が2倍速または4倍速のときは、ルート音声案内されません。

ルートを編集する

1. <メニュー>スイッチを押して、**【ルート】**をタッチし、全ルート図から**【ルート編集】**をタッチする

2. **ルートを編集する**

ルート編集画面から編集できる内容

- 経由地・目的地の追加・削除
- 経由地・目的地の順番の並べ替え
- 各区間の探索条件の変更

3. **【探索開始】**をタッチする

編集した条件でルート探索を開始し、完了後、全ルート図が表示されます。

➡ 検索した施設を目的地・経由地に設定する(P.53)

経由地を追加・消去する

■経由地を追加する

1. ルート編集画面から**経由地を追加したい区間の【+】**をタッチする

2. **経由地にしたい場所を検索する**

➡ 行き先を探す(P.49)

[出発地付近]：出発地付近の地図を表示

[目的地付近]：目的地付近の地図を表示

[地図]：最後に表示していた地図を表示

3. **【立寄る】**をタッチする

検索した地点が経由地として追加されます。

■経由地を消去する

1. ルート編集画面から、消去したい**経由地**をタッチする

2. **【地点消去】**→**【はい】**をタッチする
選択した経由地が消去されます。

目的地を追加・消去する

■目的地を追加する

1. ルート編集画面から、**【目的地追加】**をタッチする

2. **目的地にしたい場所を検索する**

➡ 行き先を探す(P.49)

[出発地付近]：出発地付近の地図を表示

[目的地付近]：目的地付近の地図を表示

[地図]：最後に表示していた地図を表示

3. **【ここに行く】**をタッチする

検索した地点が目的地として追加されます。

前の目的地は、目的地の直前の経由地になります。

■目的地を消去する

1. ルート編集画面から、**目的地**をタッチする

2. **【地点消去】**→**【はい】**をタッチする
目的地が消去されます。

ルート探索・案内

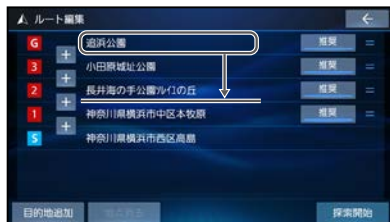
消去した目的地の直前の経由地が、新しい目的地になります。

知識

- 目的地を消去できるのは、ルートに経由地がある場合のみです。

経由地・目的地の順番を並べ替える

ルート編集画面から、経由地・目的地をドラッグして、順番を並べ替える



希望の順番になるまで、ドラッグ操作を繰り返して並べ替えてください。

区間ごとの探索条件を変更する

1. ルート編集画面から変更したい探索条件を選んでタッチする
2. 探索条件をタッチする
タッチした探索条件に切り替わります。
➡ [探索条件について \(P55\)](#)

ルート探索について

探索条件について

【推奨】

高速道路・有料道路／一般道路の使用を自動で判断したルート(通常は[推奨]で探索します)。

【有料優先】

高速道路・有料道路を優先して通るルート

【一般優先】

一般道路を優先して通るルート

【エコ】

燃料消費量と有料道路料金をトータルで節約するルート

【距離優先】

距離が短くなるルート

知識

- [一般優先]で探索しても、有料道路を含むルートを探る場合があります。
- 探索条件を変更するには下記をご覧ください。
➡ [区間ごとの探索条件を変更する \(P55\)](#)
- [エコ]で探索したルートを走行しても、道路条件や運転のしかたで、燃料消費量が多くなる場合があります。

ルート学習について

ルート案内中に同じ道で自動再探索が何度か起きると、実際に走行した道を学習してルート探索に反映されるようになります。([距離優先]での探索を除く)

- 学習した道を探るに反映させる度合いの設定ができます。

➡ [ルート探索条件を設定する\(ナビチューン\) \(P60\)](#)

- ルート学習のデータは、以下の場合に消去されます。

－ [ルート学習結果の初期化]を行ったとき

➡ [ルート探索の設定をする \(P60\)](#)

－ 地図更新を行ったとき

■意図しないルートが探索されるときは

他の効率の良い道よりも、本機が学習した道を優先してルート探索されている場合があります。

- 通りたい道を何度か通ると、本機がその道を学習し、優先的に通るルートを探査するようになります。
- [ルート学習結果の初期化]を行うと、効率の良い道を優先して通るルートを探査します。

➡ ルート探索の設定をする (P60)

細街路探索について

出発地・経由地・目的地周辺は、道幅3 m以上5.5 m未満の細い道路も含めてルートを探査します。

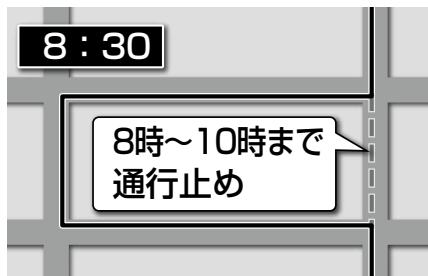
走行できない道路、または交通規制により通行を禁止している道路も含めたルートを探査場合があります。必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

- 細街路上のルートは、一般道のルートとは異なる色で表示されます。

曜日時間規制探索について

月・曜日・時間による規制を考慮したルートを探査します。

規制があっても案内することがありますので、必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。



VICS考慮について

FM-VICSの渋滞／規制情報をもとに、渋滞／規制を避けたルートを探査します。

- 別売のETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0の渋滞／規制情報も考慮して、渋滞／規制の場所を避けたルートを探査します。
- 現在地から遠く離れた場所の渋滞／規制の情報は、考慮されない場合があります。
- 渋滞／規制情報をもとにVICS考慮する／しないの設定ができます。

➡ ルート探索の設定をする (P60)

スマートICを通るルートについて

スマートICの利用を考慮したルートを探査します。その際、通行できる時間帯や入口／出口の情報は考慮されますが、通行できる車種の情報は考慮されません。また、ETC2.0車載器を搭載していない車両や、ETCカードを挿入していない場合でも、スマートICを通るルートが探索される場合があります。必ず、実際のスマートICの状況に従って通行してください。

- スマートIC考慮する／しないの設定ができます。

➡ ルート探索条件を設定する(ナビチュアール)(P60)

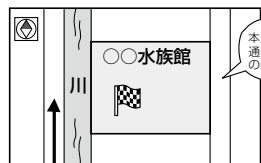
🚗 アドバイス

- スマートICは、ETC専用のインターチェンジです。ETC2.0車載器を搭載していない車両の場合は、[スマートインター考慮]を[OFF]に設定してください。

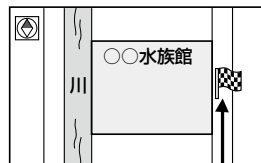
ルート探索のご注意

- 道路が近接している所では、正確に位置を設定してください。特に、上りと下りで道路が別々に表示されているような場所では、進行方向に注意して道路上に目的地や経由地を設定してください。
- 出発地／経由地／目的地を設定した地点から直線距離で一番近い道路が案内ルートの起点／中継点／終点になります。以下のようなケースに注意して目的地を設定してください。

例)「〇〇水族館」を名称検索で検索して「〇〇水族館」の地図を表示し、目的地を設定した場合(駐車場情報が無い場合、もしくは駐車場情報を選ばなかった場合)

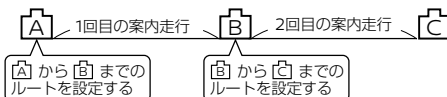


目的地マークに一番近い道路は川を挟んで左にあるため、この道路上の地点が、ルート探索の実際の目的地になります。



詳細地図で、水族館に面した道路上に目的地を設定してください。

- 以下のような場合、ルートが探索できないことがあります。
 - 交通規制で目的地や経由地まで到達できないとき
 - 極度に迂回したルートしかないとき
 - 現在地と目的地が遠すぎる時(この場合はルートを複数に分けて探索してください。)



出発地Aから目的地Cの探索ができなかったときは、途中のB地点で区切って探索してください。

- その他、条件によってはルート探索できない場合があります。
- 経由地が設定されている場合は、各経由地間のルートを別々に探索していますので、以下のようにすることがあります。
 - どれか1区間でもルートが探索できなかったときは、ルート探索ができません。
 - 経由地付近でルートがつかないことがあります。
 - 経由地付近でUターンするルートが表示されることがあります。
- 経由地間の距離が短すぎると、経路探索機能が正常に働かない場合があります。
- ルート探索をする前に、本機が現在地と進行方向を正しく表示しているかどうかを確認してください。

- 自転車マークの前または後からルートを表示したり、目的地の前または後にルートを表示したりすることがあります。
- ルート探索中に車両のキースイッチ(電源ポジション)をOFFにすると、ルート探索を中止します。このあとに車両のキースイッチ(電源ポジション)をACCまたはONにすると前回探索途中のルートは消去されています。

ルート案内中に

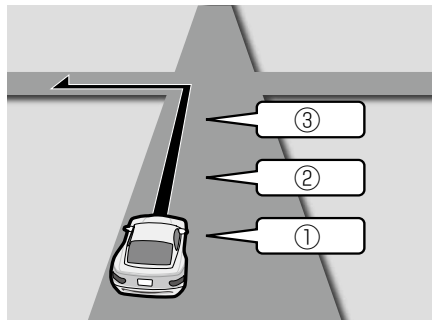
音声案内の「**太字の下線**」部は、走行するルートによって案内が異なります。

一般道路走行中の音声案内

■交差点に近づく

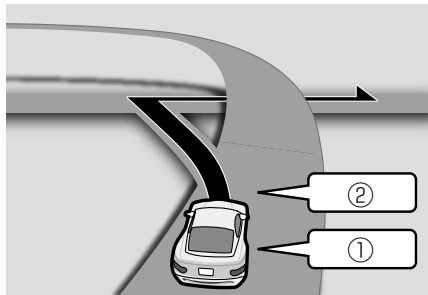
細街路でも交差点で音声分岐案内されます。

- ① “およそ **300 m** 先、**大手町** を **左方向** です。”
- ② “まもなく **大手町** を **左方向** です。”
- ③ “**左方向** です。”



■側道では

- ① “まもなく、**左方向**、**側道**です。”
- ② “**左方向**、**側道**です。”



■レーンのある道路では

“この先、**左折専用車線**に注意してください。”

- ➡ ルート案内を設定する(ナビチューン)
(P61)

高速道路・有料道路走行中の音声案内

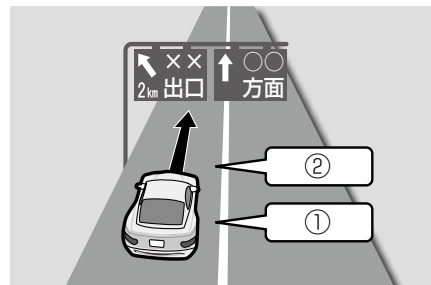
■料金所付近では

“この先、**料金所**です。”

■分岐地点に近づく

- ① “およそ **2 km** 先、**左方向**、**外苑出口**です。”

- ② “まもなく、**左方向**、**外苑出口**です。”



前方が渋滞していたら(VICS案内)

渋滞や交通規制などのVICS情報が案内されます。(前方約10 km以内)

“およそ、**3 km** 先、渋滞しています。”

- ➡ ルート案内の設定をする(ナビ設定)
(P61)

経由地・目的地の音声案内

“経由地付近です。”

“目的地に到着しました。ルートガイドを終了します。”

次の交差点などの音声案内を聞く

ルート案内中に、現在地画面で<現在地>スイッチを押す

次の分岐交差点などが案内されます。

ルート案内中の曜日時間規制探索

ルート上の現在地周辺の月・曜日・時間による規制を常に確認し、それを考慮したルートに変更します。

規制があっても案内することがありますので、必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

ルート案内中のVICS自動再探索(スイテルート案内)

FM-VICSの渋滞/規制情報を受信すると、渋滞/規制を考慮したルートに変更します。(DRGS*)

➡ 地図上に表示されるVICS情報(レベル3)(P.42)

- 別売のETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0の渋滞/規制情報も考慮して、渋滞/規制を避けたルートを探します。
- 実際の道路状況によっては、早く着くとは限りません。
- 渋滞/規制情報をもとにVICS考慮する/しないの設定ができます。

➡ ルート探索条件を設定する(ナビチューン)(P.60)

*1… DRGS：ダイナミックルートガイダンスシステム

新しいルートと前のルートと比較する(新旧ルート比較)

VICS自動再探索が行われた場合は、変更後のルートと変更前のルートを約8秒間表示します。(新旧ルート比較)

表示中に、[新ルートで案内]/[元ルートで案内]でどちらのルートを案内させるかを選んでください。表示が消えるまで何も操作しないと、新旧ルート自動選択で設定されたルートで案内を開始します。

➡ ルート探索の設定をする(ナビ設定)(P.60)

- 新旧ルート比較をしない場合があります。
 - 変更前のルートを通行できないとき(通行止め、規制など)
 - 現在地から約30 kmより先のルートが変更されたとき

➡ ルート探索の設定をする(P.60)

ルートから外れたときの自動再探索

ルートを外れても、自動的に再探索します。

休憩メッセージ案内

本機の起動時から2時間ごとに、音声で休憩を促します。

例：長時間運転している場合
「そろそろ休憩しませんか。」

知識

- 休憩メッセージ案内の設定は変更できます。<メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[休憩案内]をタッチし、[ON](する)/[OFF](しない)をタッチしてください。

もう一度ルートを探る

1. <現在地>スイッチを押して、**[田]**をタッチし、ランチャーから**[再探索]**をタッチする

2. **再探索条件**(**[推奨]**/ **[有料優先]**/ **[一般優先]**/ **[エコ]**/ **[距離優先]**)を選んでタッチする

経由地がある場合は、次の経由地までのルートが再探索されます。

選んだ条件で再探索します。

ルート探索の設定をする

ルート探索の設定をする(ナビ設定)

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[ナビ設定]をタッチする
2. [探索設定]をタッチし、各項目を設定する

[新旧ルート比較画面を表示]	<p>[ON]：VICs自動再探索が行われた場合は、新旧ルート比較画面を表示する</p> <p>[OFF]：新旧ルート比較画面を表示しない</p> <p>➡新しいルートと前のルートを比較する(新旧ルート比較)(P.59)</p>
[新旧ルート自動選択]	<p>[新ルート]：新旧ルート画面で約8秒間操作しないと、新ルートで案内する</p> <p>[元ルート]：新旧ルート画面で約8秒間操作しないと、旧ルートのままとする</p> <p>➡新しいルートと前のルートを比較する(新旧ルート比較)(P.59)</p>

[到着予想時刻の計算方法]	<p>[自動]：自動で到着予想時刻を計算する</p> <p>[手動]：手動で設定した車速から到着予想時刻を計算する</p> <p>一般道と有料道路それぞれの車速を設定できます。</p>
[ルート学習結果の初期化]	<p>[ルート学習結果の初期化]→[はい]→[はい]：本機のルート学習機能を初期化する</p>

ルート探索条件を設定する(ナビチューン)

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[チューン]をタッチする
2. [ルート]をタッチして、各項目を設定する



有料道路優先*1 [低～中～高]

少しでも節約するか、割高でも有料道路を利用するかの度合い

道幅優先*2 [狭～中～広]

できるだけ距離優先*3にするか、多少遠回りでも車線の多い道を優先するか
の度合い

渋滞回避 [低～中～高]

VICsの渋滞情報を考慮する度合い

ルート学習 [OFF / ON / アクティブ]

本機が探索したルート以外を通ったときなどに、ルートを学習して次回の探索に反映させる度合い*4

- [アクティブ]：より学習しやすくなります。

VICs考慮 [ON(考慮する) / OFF(しない)]

VICs情報を考慮する/しない

季節規制考慮 [ON / OFF]

季節規制区間を考慮する(ON) / しない(OFF)

スマートインター考慮 [ON / OFF]

スマートインターを考慮する(ON) / しない(OFF)

*1…探索条件が「有料優先」や「一般優先」のときは考慮されません。

➡探索条件について(P.55)

*2…探索条件が「距離優先」のときは考慮されません。

➡探索条件について(P.55)

*3…狭い道や未舗装の道を案内する場合があります。

*4…必ず学習した内容でルート探索することを保証するものではありません。

ルート案内の設定をする

ルート案内の設定をする(ナビ設定)

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[ナビ設定]→[案内設定]をタッチする
2. 各項目を設定する

[案内拡大図の表示]	[ON]:案内拡大図を表示する [OFF]:案内拡大図を表示しない
[ETCレーンの表示]	[ON]:ETCレーン案内を表示する [OFF]:ETCレーン案内を表示しない
[方面看板の表示]	[ON]:方面看板を表示する [OFF]:方面看板を表示しない
[ハイウェイモードの表示]	[ON]:ハイウェイマップを表示する [OFF]:ハイウェイマップを表示しない
[AV画面中の案内割り込み]	[ON]:AVソースの画面を表示中に割り込んでルート案内する [OFF]:AVソースの画面を表示中に割り込んでルート案内しない

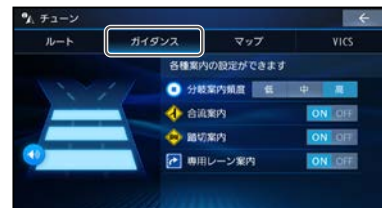
[逆走注意アラーム]	[ON]:逆走注意アラームを案内する [OFF]:逆走注意アラームを案内しない ➡ <u>逆走注意アラーム</u> (P.36)
[VICS案内]	[ON]:VICSの渋滞/規制情報がある区間に近づくと、音声で案内する [OFF]:VICSの渋滞/規制情報がある区間に近づいても、音声で案内しない ➡ <u>前方が渋滞していたら</u> (VICS案内)(P.58)

知識

- 「案内拡大図の表示」が[ON]の場合、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京23区、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市の一部交差点でリアル3D交差点(立体的デザイン)を表示します。
※地図更新をすると対応エリアが変更される場合があります。

ルート案内を設定する(ナビチューン)

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[チューン]をタッチする
2. [ガイダンス]をタッチして、各項目を設定する



分岐案内頻度【低/中/高】

IC・JCT・交差点・踏切・料金所・目的地付近などでの案内の頻度

安心運転サポート情報の設定

- ➡ 安心運転サポート情報(P.36)

合流案内

[ON(案内する)]/OFF(しない)

踏切案内

[ON(案内する)]/OFF(しない)

専用レーン案内

[ON(案内する)]/OFF(しない)

音声案内の設定をする

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]をタッチする
2. [案内音声設定]をタッチして、各項目を設定する

設定項目

[本体音量スイッチ操作で案内音量調整を優先]	<p>[ON]：ナビゲーションの音声案内中に、<音量+/->スイッチで案内音量を調整できる</p> <p>[OFF]：ナビゲーションの音声案内中に、<音量+/->スイッチで案内音量を調整できない</p>
[案内音量の車速連動]	<p>[ON]：ナビ案内音量を車速連動する(走行速度によって自動的に音量を上げる)</p> <p>[OFF]：ナビ案内音量を車速連動しない</p>

[案内出力スピーカー]	<p>[左前]：案内音声を左のフロントスピーカーから出力する</p> <p>[右前]：案内音声を右のフロントスピーカーから出力する</p>
[案内時のAV音量消音]	<p>[ON]：音声案内時にAVソースの音声を消音する</p> <p>[OFF]：音声案内時にAVソースの音声を消音しない</p> <p>※[OFF]に設定されている場合も、音声案内時はAVソースの音量が下がります。</p>

ルート案内のご注意

- 道路は日々変化しているため、地図ソフト作成時期により、交通規制やルートなどの案内が実際の道路と合致しない場合があります。
- 音声案内は、曲がる方向や他の道路との接続形態などにより、異なった案内内容になったり、音声案内しなかったりします。
- 音声案内のタイミングは、遅れたり早くなったりすることがあります。

- 音声案内は、設定されたルート上を走行し始めてから行われますので、案内が開始されるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。

有料道路の料金表示について

- 料金表示は目安としてお使いください。また、ETC割引には対応していません。
- 一部の有料道路で料金表示ができない場合があります。
- 料金表示は、探索されたルート上の料金所へのIN、OUTの情報から計算されます。
- 単一料金区間では乗り入れたときに精算するため、区間内で再探索を行っても、料金は表示されません。
- 1つ目の料金所を通過した時点で、自動再探索が働いたり、手動によるルート探索を行うと、2つ目の区間だけの料金が表示される場合があります。
- 高速道路、有料道路上で手動によるルート探索を行うと、料金表示はされず、[---円]と表示される場合があります。(ルートの出発地/目的地が高速(有料)道路上にあるときも、料金の表示は[---円]となります。)
- 「〇〇IC」を目的地に設定した場合は、目的地を設定した高速道路/有料道路の料金は表示されない場合があります。料金を表示したい場合は、料金所を出た一般道に目的地を設定してください。

ルート探索・案内

- ルート探索を再度行わない限り、料金は最初に計算された表示のままです。
- 新規開通道路または料金非対応路線を含むルートの場合は、[――円]または実際の料金と異なる場合があります。このような場合は、実際の料金に従ってお支払いください。

場所を登録する

登録地について

最大900件まで登録できます。(自宅を含む)

登録された地点は、マークで表示されます。

登録地リストを表示する

登録地のリストから、登録地の地点の表示、編集、新規登録、削除ができます。

1. <メニュー>スイッチを押して、**[情報・設定]**→**[ナビ情報・設定]**→**[ナビ設定]**をタッチする
2. ナビ設定メニューから**[登録地]**をタッチする
登録地リストが表示されます。

地点を登録する

カーソルの地点を登録する

1. 地図モード画面から、登録したい場所にカーソルを合わせ、**[設定]**をタッチする
2. 地点メニューから**[地点登録]**をタッチする
カーソルの位置(地点)が登録されます。

現在地を登録する

<現在地>スイッチを押して、**[田]**をタッチし、ランチャーから**[地点登録]**をタッチする

現在地が登録地として登録されます。

登録地リストから地点を登録する

1. 登録地リストから**[新規登録]**をタッチする
2. 地点を検索する
検索方法については、下記をご覧ください。

➡ 行き先を探す(P49)

[現在地付近]：現在地付近の地図を表示*1

[出発地付近]：出発地付近の地図を表示*2

[目的地付近]：目的地付近の地図を表示*2

[地図]：最後に表示していた地図を表示

*1…ルート未設定時のみ



*2…ルート案内中のみ

3. 登録したい場所にカーソルを合わせ、**[設定]**→**[保存]**をタッチする
地点が登録されます。

目的地履歴画面から地点を登録する

1. <メニュー>スイッチを押して、**[三]**をタッチし、全機能一覧から**[履歴]**をタッチする
2. リストから履歴を選び、**[決定]**をタッチする
地図が表示されます。
3. **[設定]**をタッチして地点メニューから**[地点登録]**をタッチする
カーソルの位置(地点)が登録されます。

登録地リストから行き先・経由地を設定する

1. 登録地リストから目的地・経由地に設定したい登録地を選び、**[決定]**をタッチする
地図が表示されます。
登録地リストのまたはが点灯している場合は、消灯させてから操作してください。
2. 検索した施設を、目的地・経由地に設定する
➡ 検索した施設を目的地・経由地に設定する(P53)

場所を登録する

登録地を消去する

1. 登録地リストから をタッチする
 が点灯します。
2. 消去したい登録地を選んでタッチし、印を付けて、[消去] → [はい] をタッチする
選択した登録地が消去されます。
[全選択] をタッチするとすべての項目に 印を付けます。

地点編集画面から [消去] をタッチしても、地点を消去できます。

➡ [登録地を編集する\(P65\)](#)

登録地の情報を見る

地点メニューから情報を見る

1. 登録地にカーソルを合わせ、[設定] をタッチする
2. 地点メニューから [地点編集] をタッチする
登録地の情報は編集できます。

➡ [登録地を編集する\(P65\)](#)

情報・設定メニューから情報を見る

1. 登録地リストから をタッチする
 が点灯します。
2. リストから登録地を選び、[編集] をタッチする
登録地の情報は編集できます。

➡ [登録地を編集する\(P65\)](#)

登録地を編集する

各項目を編集し、[保存] をタッチする
必ず、[保存] をタッチして編集内容を保存してください。



- ① マークを変更する
- ② 登録地の位置を修正する
- ③ 名称を編集する
- ④ 電話番号を編集する・電話をかける
- ⑤ アラームを設定する
- ⑥ 登録地を消去する

マークを変更する

1. 地点編集画面から [マーク] の欄をタッチする
2. リストからマークを選び、[決定] をタッチする

名称を編集する

1. 地点編集画面から [名称] の欄をタッチする
2. 地点を編集し、 をタッチする
全角64文字(半角128文字)まで

電話番号を編集する・電話をかける

■ 電話番号を編集する

1. 地点編集画面から [TEL] の欄をタッチする
2. 電話番号を入力し、 をタッチする

■ 登録地の番号に電話をかける

ハンズフリー-接続中のみ
地点編集画面から [発信] をタッチする
登録地の電話番号に電話をかけます。

➡ [通話中画面の見かた\(P127\)](#)

アラームを設定する

設定した方向から、設定した距離まで近づくと、アラームでお知らせします。



■アラームの音を設定する

1. 地点編集画面から【アラーム 音】の欄をタッチする
2. 【アラーム1】～【アラーム9】からアラームを選び、【決定】をタッチする
アラームを選ぶと、選んだアラームの音が出力されます。
[OFF]を選ぶと、アラーム音がOFFに設定されます。

■アラームを鳴らす距離を設定する

1. 地点編集画面から【アラーム 案内距離】の欄をタッチする
2. 【50 m】／【100 m】／【300 m】／【500 m】から距離を選んでタッチする

■アラームを鳴らす方向を設定する

1. 地点編集画面から【アラーム 進入角度】の欄をタッチする
2. 【】 【】をタッチして、進入角度を選び、【決定】をタッチする

登録地の位置を修正する

1. 地点編集画面から【位置】の欄をタッチする
2. 地図をスクロールさせて位置を変更し、【決定】をタッチする

登録地を消去する

一度消去するともとに戻せません。消去は十分確認のうえ行ってください。

【消去】→【はい】をタッチする
登録地が消去されます。

VICS 情報を見る

渋滞・事故などの影響による規制、目的地までの所要時間などの道路交通情報をナビゲーションに送信するシステムです。VICSはVehicle Information and Communication System(道路交通情報通信システム)の略です。

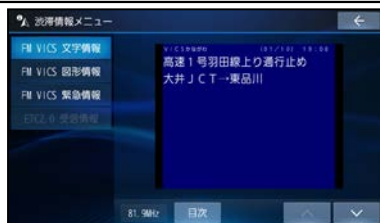
本機では、FM-VICSを受信できます。選局した放送局からの電波が弱い場合は、FM-VICSを受信できません。

別売のETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0サービス(電波ビーコン5.8 GHz)からVICS情報を受信できます。

知識

- 渋滞情報に関する設定ができます。
 - ➡ FM多重放送の選局をする(VICS受信)(P.69)
 - ➡ ETC2.0割込み設定(P.122)
- 新しい情報を受信すると、情報が更新されます。
- 提供されるVICS情報は、あくまでも参考です。最新情報でない場合があります。
- 提供された情報と異なる場合は、実際の交通規制や道路状況に従ってください。

文字表示型(レベル1)のVICS情報を受信すると



受信しても、自動的に表示されません。受信した情報を手動で見るには下記をご覧ください。

➡ VICS情報を確認する(P.69)

図形表示型(レベル2)のVICS情報を受信すると



受信しても、自動的に表示されません。受信した情報を手動で見るには下記をご覧ください。

➡ VICS情報を確認する(P.69)

地図表示型(レベル3)のVICS情報を受信すると



渋滞、規制、駐車場、SA・PA情報(レベル3)を受信すると、自動的に表示されます。

知識

- 新しい情報を受信すると、情報が更新されます。
- 遠方の渋滞情報は表示されません。
- VICS表示設定については下記をご覧ください。
 - ➡ VICS情報の表示を設定する(ナビチューン)(P.70)

知識

- レベル3情報の見かたについては下記をご覧ください。
- ➡ 地図上に表示されるVICS情報(レベル3)(P.42)

画像・音声情報のVICS情報を受信すると(ETC2.0)

地図画面に、自動的に割り込み表示され、一定時間(7~15秒間)表示した後自動的に消去されます。

音声情報がある場合は、音声情報も再生されます。

[優先情報]: 下記の情報が提供されます。

- 安全運転支援情報
- 新緊急メッセージ情報*1
- 注意警戒情報*2

[一般情報]: 下記の情報が提供されます。

- センタ・ネットワーク障害通知情報
- 多目的情報
- 広域文字情報
- 長文読み上げ情報
- 電子標識情報
- 障害情報

割り込み画面(例)



- [■]: 音声情報の停止
- [▶]: 音声情報の再生
- [>]: 次のページに切替
- [×]: 割り込み画面消去

知識

- 別売のETC2.0車載器が必要です。
- 表示中の画面(拡大図表示など)によって、割り込み表示や音声情報再生を中断したり、表示しない場合があります。
- ETC2.0の一般情報を割り込み表示する/しない*3の設定ができます。
- ➡ ETC2.0車載器の設定をする (P.121)

- *1…災害発生時は停車や避難等の行動指示のための情報も提供されます。
- *2…気象急変箇所、路面凍結多発箇所などの注意喚起を文字や画像、音声情報などでお知らせします。
- *3…割り込み表示する/しないの設定にかかわらず、優先情報は割り込み表示されます。

緊急情報(特別警報)を受信すると

地図画面を表示中に受信するとただちに表示されます。

[×]をタッチすると、緊急情報画面が消去され、地図画面に戻ります。



地図画面で[緊急情報受信中]をタッチすると、緊急情報画面(詳細情報)が表示されません。





[<] [>]: ページ切替

[▲] [▼]: 行を戻す／送る

走行中は、行を戻す／送る、詳細の操作はできません。

情報自体の提供が無い場合は表示されません。

知識

- 緊急情報によっては警戒地域の範囲を地図上に赤の透過色で表示する場合があります。
※地図の縮尺によっては、地図画面全体が赤の透過色になる場合があります。地図の縮尺を広域に変更すると、対象エリアの範囲を確認できます。

VICS 情報を確認する

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[渋滞情報]をタッチする
2. 渋滞情報メニューから見たい情報を選んでタッチする



選んだ情報が表示されます。

[1] ~ [6]: 選んだページを表示*1

[▲] [▼]: ページ切替

[目次]: もくじを表示*1

*1…FM VICS文字情報、FM VICS図形情報のみ。

事象・規制マークの内容を確認する

事象・規制マークをタッチする



情報が表示されます。

[詳細]をタッチすると、詳細な情報が表示されます。

詳細情報がない場合は、[詳細]は表示されません。



FM 多重放送の選局をする (VICS 受信)

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[ナビ設定]をタッチする
2. ナビ設定メニューから[渋滞設定]→[FM VICS周波数]をタッチする
3. 周波数設定画面から放送局の設定をする

自車位置に応じて自動で選局する(自動選局: 推奨)

周波数設定画面の[周波数の選局方法]から[自動選局]をタッチする

自車位置周辺の放送局から選ぶ(エリア選局)

1. 周波数設定画面から【手動選局】をタッチする
2. 周波数設定画面から【エリア選局】をタッチする
自車位置周辺の放送局のリストが表示されます。
3. リストから放送局を選んでタッチする
選んだ放送局のFM-VICSを受信します。

周波数で選局する(手動選局)

1. 周波数設定画面から【手動選局】をタッチする
2. 周波数設定画面から【+】／【-】で周波数を調整する

📖 知識

- GPS信号で現在時刻の情報を受信していないときは、FM-VICSの情報を受信できません。
- 【手動選局】を選んだ場合は、選局した放送局が所在する都道府県のFM-VICS情報を受信します。隣接する都道府県については、県境付近など一部エリアのみ受信します。

VICS情報の表示を設定する(ナビチューン)

1. <メニュー>スイッチを押して、【情報・設定】→【ナビ情報・設定】→【チューン】をタッチする
2. 【VICS】をタッチして、各項目を設定する



- VICS 有料道情報表示**
[ON(表示する) / OFF(しない)]
- VICS 一般道情報表示**
[ON(表示する) / OFF(しない)]
- VICS 駐車場情報表示**
[ON(表示する) / OFF(しない)]
- VICS 規制マーク表示**
[ON(表示する) / OFF(しない)]
- VICS 範囲表示**
[ON(表示する) / OFF(しない)]
- VICS 渋滞・混雑情報表示**
[ON(表示する) / OFF(しない)]
- VICS 渋滞なし情報表示**
[ON(表示する) / OFF(しない)]
- VICS 統計情報表示**
[ON(表示する) / OFF(しない)]

地図更新について

地図更新は、日産販売会社(ディーラー)で更新を行う全国地図更新と、スマートフォンを使用してお客さまご自身で行う部分地図更新の2種類の方法で行います。

内容		方法	全国地図更新 (地図の全データ)	部分地図更新 (市街地図を除く データ)
道路 データ	道路地図(縮尺50 m ~ 250 km) ※細街路含む		○	○
	案内画像(リアル3D表示・ジャンクション ビュー・方面看板など)		○	○
	音声案内		○	○
地点検索データ(施設情報・電話番号情報など)			○	○
市街地図(縮尺5 m ~ 25 m)			○	×

- 地図を更新すると、以下の項目が消去または初期設定(工場出荷状態)に戻ります。あらかじめご了承ください。
ー ルート学習結果が消去されます。

全国地図更新について

- 本機では、車両初年度登録日より3年の間に、日産販売会社(ディーラー)で無料6か月点検、安心6か月点検、12か月点検、24か月点検、初回車検時に限り、全国地図更新を無料で3回ご利用いただけます。(レンタカー、自家用貨物自動車は、期間内の法定6か月点検も含まれます)
※無料地図更新での更新可能な地図データは2025年までとなりますので、ご了承ください。
- 全国地図更新は、日産販売会社(ディーラー)にて取り扱う更新となります。詳しくは日産販売会社(ディーラー)にご相談ください。

部分地図更新について

- 本機では、部分地図更新を利用開始日から約3年間、無料でご利用いただけます。
※部分地図更新は、スマートフォンを使用してお客さまご自身で行う更新となります。
※通信費用はお客さまの負担となります。
※利用開始日の判定は自動的に行われ、部分地図更新の期限が設定されます。本機のシステム情報画面で部分地図更新有効期限を確認できます。
➡ **利用開始日・無料地図更新の実施状況などを確認する(P145)**
※地図データクーポン券をご購入いただくと、部分地図更新有効期限が延長されます。ただし、ナビcafe未登録の場合は、システム情報画面の部分地図更新有効期限の表示が更新されません。ナビcafe登録後にご確認ください。
※利用開始日から約3年間の有効期限を超えた場合のご利用については、日産販売会社(ディーラー)にご相談ください。

地図を更新する

●部分地図更新にはスマートフォン用地図更新アプリが必要です。またナビcafeの登録も必要です。

※スマートフォン用地図更新アプリのインストールなどの詳細はWebサイト(<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/nissan.htm>)をご覧ください。

※ナビcafe登録は、スマートフォン用地図更新アプリで登録することができます。

●対応スマートフォンは、Android スマートフォン(Android 9.0以降)またはiPhone(iOS 13.0以降)がご使用いただけます。

※最新のOSバージョンを使用してください。

●部分地図更新の配信データについては、2か月毎(一部のデータは4か月毎)に更新されます。

※配信は延期・中止される場合があります。

●配信データについては、Webサイト(http://car.panasonic.jp/car/guide/map_update_app/map/map_data.html)をご覧ください。

スマートフォンで部分地図更新をする

更新データは大容量のため、ダウンロードに時間がかかる場合があります。自宅や公衆無線LANなどに接続してダウンロードすることをお勧めします。

地図更新アプリのインストールなど、詳細は下記サイトをご覧ください。

<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/nissan.htm>



■事前準備

1. スマートフォン用地図更新アプリをインストールする
2. スマートフォンと本機をWi-Fi接続する
3. スマートフォン用地図更新アプリでユーザー登録する

Wi-Fi接続した本機から情報が取得されます。

■地図更新

1. 地図更新データをスマートフォンにダウンロードする
2. 地図更新データを本機へ転送する

3. 本機の地図データを更新する

4. 更新された地図のバージョンを確認する

🚗 アドバイス

- 更新中に他の操作をする、車のエンジンを切るなどはしないでください。故障の原因となります。
- エンジンを止めたまま使用し続けると、車のバッテリーが消耗します。必ずエンジンをかけてご使用ください。
- エンジンをかけたまま、換気の悪い場所(周囲が囲まれた車庫など)で長時間使用しないでください。

AVの共通操作

AV画面に切り替える	P.74
再生／視聴するAVソースを選ぶ	P.74
AVソースの音声を出力したままナビゲーションに切り替える	P.76
AVをON／OFFにする	P.76
AV設定をする	P.76

テレビ・ラジオの視聴

TVを見る	P.83
TVの設定をする	P.90
ラジオ(FM／AM)を聴く	P.91
ラジオで交通情報を聴く	P.91

レコーダーリンク

レコーダーの映像を見る	P.92
-------------	------

音楽・映像の再生

BLUETOOTH® Audioを聴く	P.95
microSDカードを挿入する／取り出す	P.97
microSDカードの音楽／動画を再生する	P.98
microSDカードから再生するファイルを選ぶ	P.100

外部機器の接続

外部機器の映像／音声を視聴する	P.101
-----------------	-------

AV画面に切り替える

<AV>スイッチを押す

AV OFFの状態でも<AV>スイッチを押すと、AVソース一覧が表示されます。

走行中は、**TV**、**HDMI**、**VTR**、**ドライブレコーダー**、**レコーダーリンク(映像コンテンツ)**、**SD(動画)**の映像は表示されません。

安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。

走行中でも、後席専用モニターには映像が出力されます。

➡ 後席専用モニターについて(P183)

再生／視聴するAVソースを選ぶ

■全機能一覧から

<メニュー>スイッチを押して、**[目]**をタッチし、全機能一覧から切り替えたいAVソースを選んでタッチする

選んだAVソースに切り替わります。

AVソース一覧から選ぶこともできます。

■AVソース一覧から

切り替えたいAVソースをタッチする

選んだAVソースに切り替わります。

全機能一覧から選ぶこともできます。

AVソース一覧

[AM]	AMラジオ放送を聴きます。	➡ <u>ラジオ(FM/AM)を聴く(P91)</u>
[FM]	FMラジオ放送を聴きます。	
[SD]	microSDカードに保存した音楽/動画を再生します。	➡ <u>microSDカードの音楽を聴く(P98)</u> ➡ <u>microSDカードの動画を見る(P99)</u>
[VTR]* ¹	AVケーブルで接続した外部機器の映像・音声を本機で視聴できます。	➡ <u>外部機器の映像/音声を視聴する(P101)</u>
[ドライブレコーダー]* ¹	別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー/ドライブレコーダーを接続している場合、本機の画面でドライブレコーダーの映像を見ることができます。	➡ <u>日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの映像を見る(P111)</u> ➡ <u>ドライブレコーダーの映像を見る(P120)</u>
[レコーダーリンク]* ²	スマートフォンアプリと連携して、自宅のレコーダーなどの映像を、本機で視聴できます。	➡ <u>レコーダーの映像を見る(P92)</u>
[BLUETOOTH Audio]	スマートフォンなどの BLUETOOTH ®対応オーディオ機器を本機と BLUETOOTH ®接続して本機で音楽を聴きます。	➡ <u>BLUETOOTH® Audioを聴く(P95)</u>
[HDMI]	HDMIケーブルで接続した外部機器の映像・音声を本機で視聴できます。	➡ <u>外部機器の映像/音声を視聴する(P101)</u>
[TV]	地上デジタルTV放送を視聴します。	➡ <u>TVを見る(P83)</u>
[交通情報]	交通情報のラジオ放送を聴くことができます。	➡ <u>ラジオで交通情報を聴く(P91)</u>

* 1… 別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー/ドライブレコーダーを接続している場合、[VTR]が[ドライブレコーダー]になります。

* 2…**[MM222D-Le]**

AVソースの音声を出力したままナビゲーションに切り替える

AV画面表示中に<現在地>スイッチを押す

AV画面に戻るには、<AV>スイッチを押してください。

ナビゲーションの音声・映像のみを出力したいときは、AV OFFにしてください。

知識

- ナビゲーションの現在地画面に、AVソースの映像を表示させることができます。
- ➡ 現在地画面にAVソースの映像を表示する(P.41)

AVをON / OFFにする

<AV>スイッチを2秒以上押す

AVをONにしたときは、AV OFFにしたときに選ばれていたソースに切り替わります。

<メニュー>スイッチを押して、[AV ON/OFF]をタッチしてもON / OFFできます。AV情報・設定メニューから、[AV出力]の[ON] / [OFF]をタッチしてもON / OFFできます。

AV設定をする

音響効果の設定などAVに関する設定ができます。

AVチューンの基本操作

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[AV情報・設定]→[AVチューン]をタッチする

FM、AM、**BLUETOOTH®** Audio、SD (音楽)から[]をタッチしても、AVチューン画面を表示します。

2. AVチューン画面(エフェクト設定)で各項目を設定する



- ① エフェクト設定に切替
音質・音場効果に関する設定画面に切り替えます。
- ② イコライザー設定に切替
13バンドのイコライザーによる音質設定画面に切り替えます。

- ③ フェーダー／バランス設定に切替
前後左右のスピーカーの出力バランスの設定画面に切り替えます。
- ④ スピーカー設定に切替
出力レベル・ディレイの設定画面に切り替えます。
- ⑤ 音質・音場モード選択
- ⑥ 音場効果設定
- ⑦ 車速連動音量・ノイズ連動音量の設定
- ⑧ ビット・周波数拡張設定

■音質・音場モードを選ぶ

エフェクト設定画面から[高音質] / [騒音適応] / [エフェクト]を選んでタッチする
高音質モード

高音質でAVを楽しむのに適したモードです。ハイレゾ音源のFLAC、WAVの音楽データは、192 kHzの高音質で再生されます。また、通常の音質の音源も、補完してより自然な音で再生できます。

➡ より自然な音で聞く(ビット・周波数拡張)(P.80)

騒音適応モード

車内でのAVの聴きやすさを重視したモードです。FLAC、WAVの高音質の音源なども、通常の音質(48kHz)に変換されて再生されます。

エフェクトモード

様々な音響効果を楽しむのに適したモードです。ハイレゾ音源のFLAC・WAVの音楽データも、通常の音質(48 kHz)に変換されて再生されます。

知識

- エフェクト設定の内容は、音質・音場モードごと(個別)に記憶されます。
- AVがOFFのとき、AVチューンの設定はできません。

音響効果の設定をする

エフェクト設定画面から[<][>]をタッチして、設定したいモードと音響効果を選ぶ

高音質モードの場合：[音の匠]／[OFF]

騒音適応モード／エフェクトモードの場合：[音の匠]／[DSP]／[OFF]



音響効果

音の匠	レコーディングエンジニア集団MIXER'S LAB(ミキサーズラボ)が監修した音質で音楽を楽しむことができます。 エフェクト設定画面で[音の匠]を選んだあと、右隣の[<]／[>]をタッチして、音の匠の種類を選んでください。
匠 TAKUMI マスターサウンド	レコーディングやマスタリングを手がける音のプロがチューニングした、よりよいスタジオサラウンドに近い音を再現します。(2Wayスピーカ向き)
極 KIWAMI サラウンド	音場制御とサラウンドチューニングを施すことで、臨場感あふれる音楽を楽しめるモード(フルレンジスピーカ向き)
和 NAGOMI 会話重視	人の会話と周波数がぶつからないようにチューニングした、音楽を聴きながら車内の会話を楽しめるモード

DSP	エフェクト設定画面で[DSP]を選んだあと、右隣の[<]／[>]をタッチして、擬似再現したい音場環境を選んでください。
HALL	コンサートホールのような音場
STADIUM	スタジアムのような音場
CHURCH	残響音の多い教会のような音場
LIVE	ライブハウスのような音場

知識

- AV OFFの状態では設定できません。
- 音の匠、DSPを同時に設定することはできません。
- [DSP]は高音質モードでは設定できません。
- 音響効果の設定を解除するには、エフェクト設定画面で[<]／[>]をタッチして、[OFF]を選んでください。

車速連動音量を設定する

車両が走行する速度に連動してAVソースの音量を自動的に補正します。

高音質モードまたはエフェクトモードに設定してください。騒音適応モードでは設定できません。

➡ 音質・音場モードを選ぶ(P.76)

エフェクト設定画面から[V][A]で車速連動音量の補正量を選ぶ

選ぶごとに補正量が切り替わります。

車速連動レベル

HIGH	速度に応じて、音量が大きく変化します。
MID	速度に応じた音量変化がHIGHとLOWの中間の振幅で変化します。
LOW	速度に応じて、音量がゆるやかに変化します。
OFF	音量の車速連動をしません。

ノイズ連動音量を補正する

車内の走行騒音に連動してAVソースの音量や音質を自動的に補正します。

騒音適応モードに設定してください。高音質モードまたはエフェクトモードでは設定できません。

➡ 音質・音場モードを選ぶ(P.76)

エフェクト設定画面から[V][A]でノイズ連動音量の補正量を選ぶ

レベル1/レベル2/レベル3/レベル4/レベル5/レベル6

知識

- 走行状態によっては、効果が大きくなる場合があります。
- 効果を大きく感じる場合は、より低いレベルの補正量を選択してください。

より自然な音で聞く(ビット・周波数拡張)

音源を補完して、より自然な音で再生します。

高音質モードに設定してください。騒音適応モードまたはエフェクトモードでは設定できません。

➡ 音質・音場モードを選ぶ(P.76)

エフェクト設定画面から[ビット・周波数拡張]をタッチする

タッチするごとにON/OFFが切り替わります。

知識

- 音源によっては、効果(音の変化)を感じ取りにくい場合があります。
- 車両の状態や環境によっては、効果(音の変化)を感じ取りにくい場合があります。
- ハイレゾ音源のFLAC・WAVの音楽データを再生するときは、余分な信号が音質に影響を与えないようOFFにしてください。
- AVソースが交通情報の場合は、設定できません。

イコライザー設定の基本操作

AVチューン画面から[イコライザー]をタッチすると、イコライザー設定画面が表示されます。



- ① マニュアルイコライザー
- ② イコライザープリセット
- ③ お買い上げ時の設定に戻す
- ④ 設定内容を登録

知識

- AV OFFの状態では設定できません。

■ イコライザーを詳細に設定する

1. イコライザー設定画面から[USER]をタッチする
[VOCAL] [ROCK] [JAZZ]の設定も、手動で変更できます。
2. 各周波数の値を[▽][▲]で設定する
3. [登録]をタッチする
設定内容が登録されます。

■ お買い上げ時の設定に戻すには

イコライザー設定画面から[初期化]→[はい]をタッチする

フェーダー／バランスの出カレベルを調整する

AVチューン画面から[フェーダー／バランス]をタッチすると、フェーダー／バランス設定画面が表示されます。

フェーダー／バランス設定画面から調整範囲を直接タッチして調整する



調整ボタン

[▲]	後スピーカーの音量が下がります。
[▼]	前スピーカーの音量が下がります。
[◀]	右スピーカーの音量が下がります。
[▶]	左スピーカーの音量が下がります。
[センター]	調整値が0(中央)に戻ります。

知識

- AV OFFの状態では設定できません。
- 後スピーカーが接続されていない場合、設定を変更すると前スピーカーにのみ設定が反映されます。

スピーカー設定の基本操作

AVチューン画面から【スピーカー】をタッチする

スピーカー設定画面が表示されます。

■スピーカー出力レベルの調整をする

1. AVソースをFMまたはAMに切り替える
2. 放送局が無い周波数に合わせる
ラジオの“ザー”という音が聞こえることを確認してください。
3. AVチューン画面から【スピーカー】→【出力レベル】をタッチする



4. 【-】【+】で各スピーカーの出力レベルを調整する

調整範囲：-12 dB～+12 dB

ラジオの“ザー”という音が、最も小さく聞こえるスピーカーを基準にして、他のスピーカーが同じ音量に聞こえるように調整してください。

知識

- 2スピーカーの場合でも、[リアライト]、[リアLEFT]の設定値を変更できますが、設定は無効です。

■スピーカーディレイを設定する

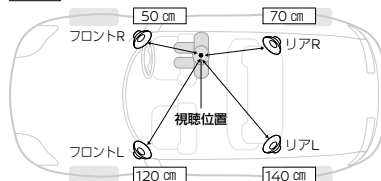
1. スピーカー設定画面から【ディレイ】をタッチする
2. 【-】【+】で各スピーカーの距離を調整する

調整範囲：0 cm～500 cm（2 cm刻み）

距離を設定すると、基準点から最も離れたスピーカーに合わせて、他のスピーカーの音声出力タイミングを遅らせます。

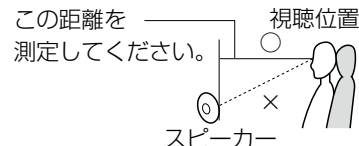
（10 cmあたり約0.3 ms）

設定例



知識

- 視聴位置からスピーカーまでの距離は水平距離を測って設定してください。



- 2スピーカーの場合でも、[リアライト]、[リアLEFT]の設定値を変更できますが、設定は無効です。

TVを見る

<メニュー>スイッチを押して、**[≡]**をタッチし、全機能一覧から**[TV]**をタッチすると、テレビに切り替わります。

TVの初期設定を行う

初めてTVに切り替えたときは、テレビ初期設定画面が表示されます。地上デジタル放送をご覧になる前に、必ずテレビ初期設定をしてください。

1. **[郵便番号設定]**をタッチする

[視聴]をタッチすると、自車マーク周辺の地域が自動的に登録されます。

2. お住まいの地域の郵便番号を入力して、**[視聴]**をタッチする

デジタルテレビ初期設定完了です。地上デジタル放送をご覧になれます。

ユーザー情報設定を変更する

デジタルテレビ初期設定画面は、一度設定すると、出荷状態に戻すまたはTVの初期化をするまで表示されません。引越して受信地域が変わったなどの理由で、デジタルテレビ初期設定の項目を変更したい場合に行ってください。

1. **TV操作画面から[メニュー]→[設定]→[ユーザー情報設定]**をタッチする

2. **[修正]**をタッチする
3. お住まいの地域の郵便番号を入力し、**[次へ]**をタッチする
4. お住まいの都道府県をタッチする
※以下の地域にお住まいの場合は下記のようにタッチしてください。
 - ・伊豆、小笠原諸島地域にお住まいの場合：[沖縄・その他の島部]→[東京都島部]をタッチ
 - ・南西諸島鹿児島県地域にお住まいの場合：[沖縄・その他の島部]→[鹿児島県島部]をタッチ
5. 表示された地域を確認して、**[完了]**→**[終了]**をタッチする

緊急警報放送について

緊急警報放送(EWS)とは、大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。EWSは緊急警報放送システム(Emergency Warning System)の略です。

■緊急警報放送(EWS)を受信したら、自動的に緊急警報放送に切り替わります

- テレビ以外のAVソースを選んでいても、緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送に切り替わる場合があります。
- 緊急警報放送が終了しても、テレビ画面のままになります。(もとのAVソースには戻りません。)
もとに戻すには、手動で切り替えてください。
- 走行中、緊急警報放送は表示できません。車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
- 視聴中の放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的に切り替わりません。
- 緊急警報放送の試験放送では動作しません。

周波数再編(リバック)について

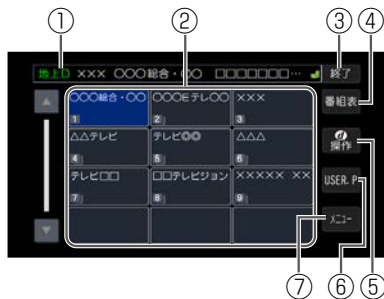
周波数再編により、これまで視聴できたチャンネルが映らなくなった場合は、チャンネル設定をユーザープリセットに切り替え、[スキャン]を行ってください。

🔄チャンネル設定を切り替える(P.87)

操作画面の見かた

TV視聴中に画面をタッチする

- TV操作画面が表示されます。
- 約5秒間何も操作しないと、TV操作画面は自動的に消去されます。



- ① 視聴中の放送局・番組
- ② チャンネルリスト
- ③ TV視聴画面に戻る
- ④ 番組表を表示 ➡ P.88
- ⑤ カーソルパネルを表示 ➡ P.89
- ⑥ チャンネル設定切替 ➡ P.87
- ⑦ TVメニューを表示

■選局する

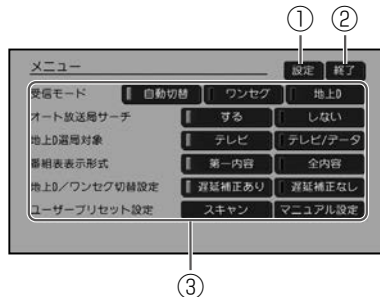
チャンネルリストから選んでタッチする

- 選んだチャンネルに切り替わります。
- 同じチャンネルで複数の番組が放送されている場合は、チャンネルをタッチするたびに番組が切り替わります。

■TVメニューを設定する

TV操作画面から【メニュー】をタッチする

- TVメニューが表示されます。



- ① 【設定】
テレビの設定・情報を見ることができます。
➡ TVの設定をする / 情報を見る (P.90)
- ② 【終了】
テレビの視聴画面に戻ります。
- ③ **TVメニュー**
テレビの設定ができます。
➡ 設定項目 (P.85)

テレビ・ラジオの視聴

設定項目

項目	設定内容
[受信モード]	受信状態が良くないときは、ワンセグに切り替えると、比較的安定した画像を見ることができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 受信状況によっては、切り替え時に数秒間映像が途切れることがあります。 ● 放送局によっては、地上デジタル放送とワンセグの番組内容が異なる時間帯があるため、地上デジタル放送/ワンセグを切り替えた際、異なる番組になる場合があります。
[自動切替]	受信状態に応じて地上デジタル放送/ワンセグを自動的に切替
[ワンセグ]	受信状態にかかわらずワンセグを受信
[地上D]	受信状態にかかわらず地上デジタル放送を受信
[オート放送局サーチ]	移動などで受信状態が悪くなった場合に、自動的に受信状態の良い中継局、または同じ系列の放送局に切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 県境を越えて移動した場合など、オート放送局サーチ設定中でも放送局を切り替えられない場合があります。そのときは、チャンネルリストから手動で選局してください。 ● 放送局によっては、同じ系列でも、番組内容が異なる時間帯があるため、オート放送局サーチで放送局を切り替えた際、異なる番組になる場合があります。
[する]	オート放送局サーチする
[しない]	オート放送局サーチしない
[地上D選局対象]	テレビサービスのみを選局するか、テレビサービスと独立データサービスの両方を選局するかを設定します。 ※地上デジタル放送のみ設定できます。ワンセグに対しては設定できません。
[テレビ]	テレビサービスのみ選局する ※番組表もテレビサービスのみ表示されます。
[テレビ/データ]	テレビサービスと独立データサービスを選局する
[番組表表示形式]	番組表の表示のしかたを設定します。
[第一内容]	同じチャンネルで同じ時間に複数の番組がある場合、代表の1番組だけ番組表に表示する ※代表以外の番組を視聴中は、代表の番組と視聴中の番組の2つが表示されます。
[全内容]	同じチャンネルで同じ時間に複数の番組がある場合、すべての番組を番組表に表示する

項目	設定内容
[地上D／ワンセグ切替設定]	<p>地上デジタル放送／ワンセグが切り替わるときの時間のズレを、補正する／しないを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 受信モードが[自動切替]のときに、設定が有効となります。 ● 地上デジタル放送を十分に受信してからでないとう効果が表れない場合があります。 ● [遅延補正あり]では、切り替えに伴う「音の連続再生」を優先するため、受信環境が悪化すると、早めにワンセグに切り替わります。 ● [遅延補正なし]では、受信環境が悪化しても、地上デジタル放送での視聴を優先します。ワンセグへの切り替えが早いと感じる場合は[遅延補正なし]に設定すると改善される場合があります。
[遅延補正あり]	映像・音声のズレを補正する
[遅延補正なし]	映像・音声のズレを補正しない
[ユーザープリセット設定]	<p>ユーザープリセットのチャンネル設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● エリアプリセットモードでは設定できません。ユーザープリセットモードに切り替えてください。 ➡ <u>チャンネル設定を切り替える(P.87)</u>
[スキャン]	<p>チャンネルのスキャンを開始し、終了するとチャンネル設定画面が表示されます。[終了]をタッチして設定を終了してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➡ <u>ユーザープリセットのチャンネル設定をする(P.87)</u>
[マニュアル設定]	<p>チャンネル設定画面でチャンネル設定を変更します。[終了]をタッチして設定を終了してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➡ <u>ユーザープリセットのチャンネル設定をする(P.87)</u>

チャンネル設定を切り替える

TV操作画面から[USER.P](または[AREA.P])をタッチする

タッチするごとに、エリアプリセットとユーザープリセットが切り替わります。

- [AREA.P](エリアプリセット)：自動的に自車位置周辺の放送局を表示するチャンネルリスト
- [USER.P](ユーザープリセット)：手で放送局をスキャンして設定したチャンネルリスト



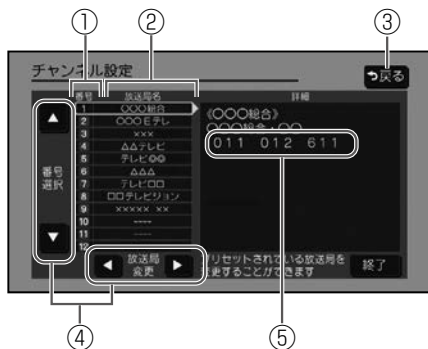
- ① : エリアプリセット
- : ユーザープリセット

ユーザープリセットのチャンネル設定をする

初めてユーザープリセットに切り替えたとときは[ユーザープリセットが未設定です スキャンしますか?]というメッセージが表示されます。

下記の手順でチャンネルを記憶させてください。

1. **【はい】**をタッチする
2. **各チャンネル番号の放送局名を確認して、【終了】**をタッチする



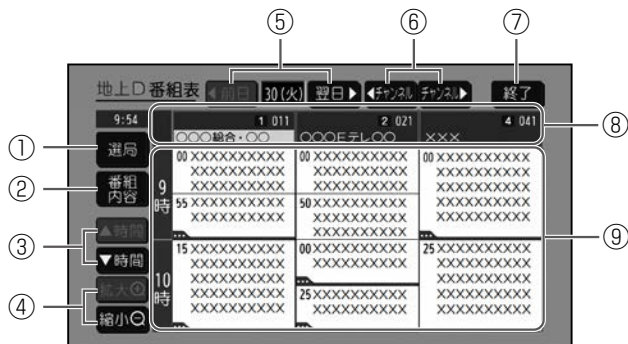
- ① チャンネル番号
- ② 放送局名
- ③ ユーザープリセットのチャンネル設定編集結果が破棄されます。
- ④ チャンネル番号を選んで、お好みの放送局を割り当てることができます。

- ⑤ 同じ放送局で受信できるチャンネル複数表示される場合があります。ワンセグは青色で表示されます。

番組表の見かた

TV操作画面で[番組表]をタッチすると、番組表が表示されます。

➡ 操作画面の見かた(P.84)



① **【選局】**

選択されているチャンネルを選局し、TV操作画面に戻ります。

② **【番組内容】**

視聴中の番組の番組内容を表示します。

③ **【▲時間】【▼時間】**

表示する時間帯を選びます。(過去の番組は表示できません。)

④ **【拡大⊕】【縮小⊖】**

番組表を拡大／縮小します。

⑤ **【◀前日】【翌日▶】**

前日／翌日に切り替えます。(過去の日は表示できません。)

⑥ **【◀チャンネル】【チャンネル▶】**

表示するチャンネルを選びます。

⑦ **【終了】**

番組表を消去します。

⑧ **視聴したいチャンネルを選択します。**

⑨ **番組表**

番組をタッチすると、選んだ番組の番組内容を表示します。

※番組と番組の間にある緑線は放送時間の短い番組があるという印です。タッチすると番組名が表示されます。

知識

- 電源を入れた直後は、番組表が表示されるまで約1分かかる場合があります。
- 受信可能な放送局の番組表が表示されない場合は、その局を選ぶと表示されます。(数分かかることがあります。)
- 地上デジタル放送は7日分まで、ワンセグは10番組まで表示されます。
- 番組表表示形式を設定できます。

➡ TVメニューを設定する(P.84)

■ 番組内容画面の見かた

番組表で[番組内容]をタッチすると、番組内容が表示されます。



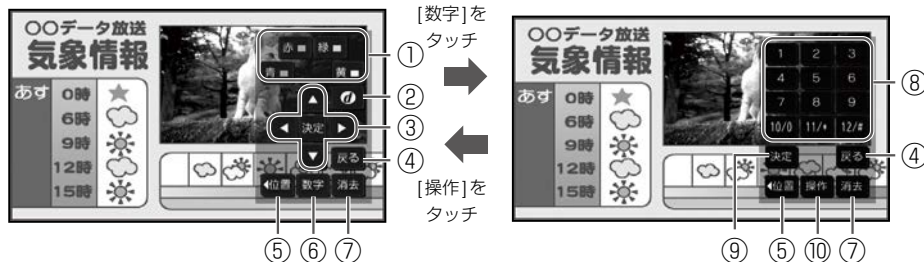
- ① 番組内容画面を見る
- ② 属性画面(詳細な情報)を見る
- ③ 放送中の番組の場合は、【今すぐ見る】が表示されます。タッチすると選んだ番組に切り替わります。
- ④ 番組表に戻る

データ放送を視聴する

TV操作画面で[d操作]をタッチする

➡ 操作画面の見かた(P.84)
カーソルパネルが表示されます。

■ カーソルパネルの見かた



- ① 【青】【赤】【緑】【黄】
項目を選択します。
- ② 【d】
データ放送を表示します。
 - 情報量が多いときは、表示に時間がかかる場合があります。
 - 再度[d]をタッチするとデータ放送が消去され、通常の放送に戻ります。
 - 双方向データサービスやワンセグのデータ放送には対応していません。
- ③ 【◀】【▼】【▶】【▲】【決定】
データ放送画面内の項目を選択/選んだ項目に決定します。

- ④ 【戻る】
データ放送表示時に1つ前の画面に戻ります。
- ⑤ 【位置】
カーソルパネル/数字パネルの表示位置を変更します。(画面左/右)
- ⑥ 【数字】
数字パネルに切り替えます。
- ⑦ 【消去】
カーソルパネル/数字パネルを消します。
- ⑧ 数字ボタン
- ⑨ 【決定】
入力した数字を決定/実行します。
- ⑩ 【操作】
カーソルパネルに切り替えます。

TVの設定をする

TVの設定をする／情報を見る

1. TVメニュー画面から【設定】をタッチする

➡ [操作画面の見かた\(P84\)](#)

2. 設定・確認したい項目を選んでタッチする

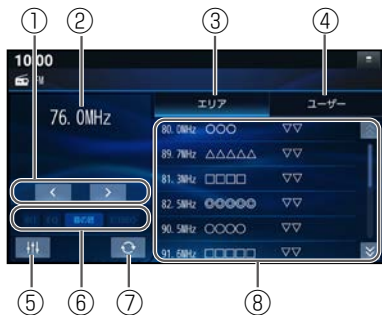
[終了]: テレビの視聴画面に戻る

設定項目

項目	設定内容
[ユーザー情報設定]	テレビ初期設定を変更します。 ➡ ユーザー情報設定を変更する(P83)
[信号切替]	各項目を設定します。 [マルチビュー]: マルチビュー放送のときに選択できます。 ● マルチビュー放送とは、同一のチャンネルで主番組と副番組の複数映像が送られる放送のことです。 [映像]: 映像が複数あるときに選択できます。 [音声]: 音声複数あるときに選択できます。 [二重音声]: 音声多重放送の時に音声を選択できます。 [字幕]: 字幕の言語を選択できます。 [文字スーパー]: 文字スーパーの言語を選択できます。 ● 文字スーパーとは、視聴者にお知らせしたい情報を、番組放送中の画面上に文字で表示させたものです。
[デバイスID表示]	通常は、この操作は必要ありません。 受信機(本機)に記憶されている放送局に関する情報が表示されます。 お問い合わせの際に必要な場合があります。
[ソフト情報表示]	ソフト情報を確認します。

ラジオ(FM / AM)を聴く

<メニュー>スイッチを押して、**[≡]**をタッチし、全機能一覧から**[FM]**・**[AM]**のいずれかをタッチすると、ラジオに切り替わります。



① 周波数切替

周波数を切り替えます。
“ピッ”と音が鳴るまでタッチし続けると、自動的に選局を開始し、受信すると止まります。(シーク選局)

② 受信中の放送局を表示

③ エリアモードに切替

自転車位置周辺の放送局リストを表示します。

④ ユーザーモードに切替

プリセットした放送局リストを表示します。

お好みの放送局を登録できます。ユーザーモードで周波数で選局し、放送局リストの登録したい枠を約1秒以上タッチしてください。

⑤ AVチューン P.76

⑥ AVの設定などを表示

⑦ エリア更新

エリアモードで使用し、自車が走行したために、放送局が受信エリアから外れた場合、タッチすると受信エリアを更新できます。

⑧ 放送局リスト

タッチした放送局に切り替えます。

知識

- 受信したい放送局が放送局リストに無い場合は、周波数で選局してください。
- 受信電波の弱い地域では、シーク選局できないことがあります。
- エリアモードの放送局リストは本機に収録されている情報に基づいて表示されるため、下記のような場合があります。
 - － 放送局が表示されない / 実際とは異なる放送局が表示される
 - － リストに表示されている放送局を選択しても、切り替わらない(放送を受信できない)
 - － リストに表示されている放送局とは違う放送局に切り替わる
- 周波数再編により、これまで受信できた放送局が受信できなくなった場合は、新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。

ラジオで交通情報を聴く

1. <メニュー>スイッチを押して、**[≡]**をタッチし、全機能一覧から**[交通情報]**をタッチする
2. 周波数を切り替えるときは、**[1620 kHz]** / **[1629 kHz]**をタッチする

レコーダーの映像を見る

スマートフォンアプリと連携して、自宅のレコーダーなどの映像を、本機で視聴できます。本機とスマートフォンの**BLUETOOTH®**接続、Wi-Fi接続が必要です。

レコーダーがネットワーク機能に対応している必要があります。

対応レコーダーについてや、スマートフォンアプリの入手方法などアプリに関する詳細、レコーダーの登録、本機との接続の詳細については、下記のWebサイトをご覧ください。

<https://www.digion.com/sites/recorder-link/>

知識

- **BLUETOOTH®**接続とWi-Fiテザリング接続に対応したスマートフォンをご用意ください。
※ご利用時には通信料金がかかります。
- レコーダーがインターネットに接続されている必要があります。
- レコーダーによっては、レコーダーのメニューでスマートフォンをペアリングする操作が必要です。
- 必要に応じてレコーダーの取扱説明書を参照してください。

準備する

■レコーダーを登録する(自宅)

1. スマートフォンに、アプリ「**DiXiM Play for レコーダーリンク**」をインストールする
2. スマートフォンとレコーダーを、**自宅のWi-Fi**に接続する
3. スマートフォンアプリを操作して、アプリにレコーダーを登録する

■ナビゲーションと接続する(車内)

自宅でのレコーダー登録を終えてから、本機操作を行ってください。

1. **スマートフォンを本機とBLUETOOTH®接続する**
➡ **スマートフォンを本機とBLUETOOTH®接続する(P.26)**
使用する機能として[電話]を選択してください。
2. **スマートフォンを本機とWi-Fi接続する**
➡ **スマートフォンを本機とWi-Fiネットワーク登録する(P.29)**
3. <メニュー>スイッチを押して、**[☰]**をタッチし、**全機能一覧**から**[レコーダーリンク]**をタッチする
4. スマートフォンアプリを操作して、**本機をアプリに登録する**

スマートフォンアプリに表示されたりリストから本機のデバイス名(NISSAN MM222D)を選択してください。

5. **スマートフォンアプリを操作して、本機をアプリに接続する**

レコーダーとの接続中であることを知らせるメッセージが表示されます。しばらくお待ちください。接続が完了すると、コンテンツリストが表示されます。コンテンツを再生するには、以下をご覧ください。

➡ **再生する(P.93)**

知識

- スマートフォンアプリにレコーダーを登録するとき、複数のレコーダーを登録できません。
レコーダーが複数登録されている場合は、アプリと本機の接続完了時、本機にレコーダー選択画面が表示されます。使用するレコーダーを選択してください。レコーダーを選択するとコンテンツリストが表示されます。
- スマートフォンアプリのレコーダー登録には3か月の登録期限があります。登録期限が過ぎるとアプリと本機の接続ができなくなります。登録期限はアプリで確認できます。期限が近付くと登録期限をお知らせするメッセージが、本機に表示されます。自宅に登録を更新してください。

再生する

あらかじめスマートフォンアプリのインストール、スマートフォンアプリへのレコーダーの登録、スマートフォンと本機の **BLUETOOTH®** 接続および Wi-Fi 接続、スマートフォンアプリと本機の接続が必要です。

➔ 準備する (P.92)

1. <メニュー>スイッチを押して、**[☰]** をタッチし、全機能一覧から**[レコーダーリンク]**をタッチする
2. コンテンツリストで再生したいコンテンツをタッチする

レコーダー選択画面が表示された場合は、使用するレコーダーを選択してください。レコーダーを選択するとコンテンツリストが表示されます。

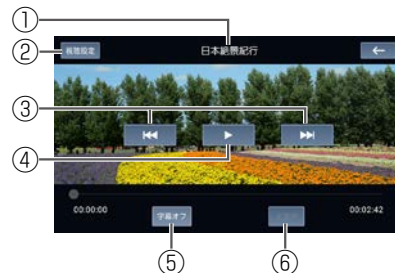
📖 知識

- レコーダーの選択画面はスマートフォンアプリと本機を初めて接続した場合など、レコーダーが選択されていない場合に表示されます。レコーダーが選択されている場合は、前回再生していたコンテンツまたはコンテンツリストが表示されます。

- コンテンツリストが表示されるまで、数秒かかる場合があります。
- レコーダーまたは本機が接続しているインターネットの回線速度が十分でない場合、コンテンツを再生できないことがあります。
- レコーダーとの接続が切断された場合は、再接続するか、接続設定画面からレコーダーを再度選択してください。
- コンテンツリスト右上に、使用したモバイルデータの通信量の目安が表示されます。タッチすると詳細を確認できます。
- 手順2で[並べ替え]をタッチするとコンテンツの並び順を変更できます。また、**[🔍]**をタッチすると、コンテンツの詳細情報を確認できます。
※コンテンツをタイトル順に並び替えた場合は、UTF-8の文字コード順となります。
- レコーダーを変更したい場合は、コンテンツリストで[接続設定]をタッチして接続設定画面を表示します。接続設定画面で[レコーダーを変更]をタッチして表示されるレコーダー選択画面で、レコーダーを変更できます。
- コンテンツの構成はレコーダーによって異なります。
- 本機で対応していないコンテンツは選択できません。

再生画面の見かた

(例)映像コンテンツの再生画面



- ① タイトル
- ② 視聴設定
➔ 視聴設定を変更する (P.94)
- ③ 頭出し
- ④ 再生 / 一時停止
- ⑤ 字幕切替
- ⑥ 音声切替

📖 知識

- 再生するコンテンツの種類によって再生画面は異なります。
- レコーダーによっては一部の操作ができない場合や、表示が異なる場合があります。

視聴設定を変更する

1. レコーダーリンクの再生画面から【視聴設定】をタッチする
2. 設定したい項目を選ぶ

項目	設定内容
[映像再生画質]* ¹	映像コンテンツの画質を設定します。
[映像再生バッファサイズ]* ¹	サイズを大きくすると映像が途切れにくくなりますが、再生開始までの時間が長くなります。

* 1… 映像コンテンツによっては設定しても無効となります。

BLUETOOTH® Audio を聴く

あらかじめスマートフォンなどの BLUETOOTH® 対応オーディオ機器を本機と BLUETOOTH® 接続しておく必要があります。

⑤ スマートフォンを登録する (P.26)

<メニュー>スイッチを押して、**[≡]** をタッチし、**[BLUETOOTH Audio]** をタッチすると、BLUETOOTH® Audio に切り替わります。



① アルバムアートワーク

② アルバム名・アーティスト名・曲名

③ 順不同に再生(ランダム)

すべてのフォルダの全曲を対象に、順不同に再生します。

タッチすることにより、全曲ランダム/グループランダム/通常再生が切り替わります。

④ AVチューン ⑤ P.76

⑤ BLUETOOTH® 設定画面を表示 ⑥ P.26

⑥ AV の設定などを表示

⑦ 繰り返し再生(リピート)

再生中の曲を繰り返し再生します。

タッチすることにより、1曲リピート/グループリピート/全曲リピート/通常再生が切り替わります。

⑧ 頭出し/早送り・早戻し

タッチすると頭出しができます。

タッチし続けている間、早送り/早戻しすることができます。離すと通常再生に戻ります。

⑨ 再生/一時停止

[≡] をタッチすると、再生を一時停止します。

[▶] をタッチすると、再生を開始します。

⑩ フォルダからリストを表示

タッチするとフォルダのリストが表示され、フォルダ→曲の順に選んでタッチすると選んだ曲の再生を開始します。

知識

- 本機の BLUETOOTH® Audio で対応しているコーデックは、SBC と AAC です。
- 接続機器や音楽再生アプリの説明などもご覧ください。
- 接続機器や音楽再生アプリによっては、接続できなかったり、意図したとおりの動作や表示をしない場合があります(下記は主な例です)。また、音質が低下することがあります。
 - － 音声出力や画面表示に時間がかかる
 - － 本機の表示内容が接続機器の表示と一致しない
 - － 曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されない
 - － 画面表示が更新されない

知識

- 画面表示や操作スイッチの一部が表示されない
- 機能の一部が動作しない
- ナビゲーションから操作できない。
(その場合は、接続機器で操作してください。)
- スマートフォンを接続し、複数のアプリを起動している場合、本機から操作できなかつたり、音声出力と画面表示される楽曲が異なる場合があります。その場合は、**BLUETOOTH®** Audioに切り替える前にすべてのアプリを終了し、**BLUETOOTH®** Audioを接続しなおしてください。
- 接続機器や本機との接続状況によっては、**BLUETOOTH®** Audioを使用する際に、接続機器側の音声出力先を本機に設定する必要がある場合があります。
- **BLUETOOTH®** Audio 再生とハンズフリーを同時に使用すると、それぞれの通信の状態(接続や音声など)が不安定になることがあります。
- アルバムアートワークの画像データのサイズが大きいと、表示されない場合があります。

- 接続機器にイコライザー機能がある場合には、イコライザーをOFFにしてください。音割れなどの原因となる場合があります。

microSDカードを挿入する／取り出す

本機では、microSDカードを使用して、パソコンなどで保存した音楽、動画の再生ができます。

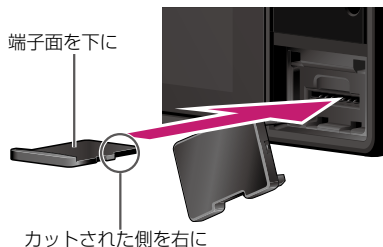
- ➡ 音楽データの規格について (P184)
- ➡ 再生可能な動画ファイルについて (P189)

microSDカードを挿入する

挿入する前に、他のカードが入っていないか確認してください。

正常に動作しないときは、再度カードを抜き差ししてください。

1. 本機のmicroSDカード挿入口カバーを開く
2. microSDカードを奥までまっすぐに挿入する
3. カチッと音がするまで差し込む



4. 本機のmicroSDカード挿入口カバーを閉じる

microSDカードを取り出す

1. 本機のmicroSDカード挿入口カバーを開く
2. microSDカードの中央部を、カチッと音がするまで押す
3. microSDカードを取り出す
4. 本機のmicroSDカード挿入口カバーを閉じる

🚗 アドバイス

- 再生中にmicroSDカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。
- microSDカードを挿入するときに、強い力で押し込みすぎないようにしてください。microSDカードの損傷や本機の故障の原因となるおそれがあります。

📖 知識

- microSDカードは、ラベル面を上にかチッと音がするまで挿入してください。
- 長時間使用すると、microSDカードが熱くなっている場合がありますが、故障ではありません。

microSDカードの音楽／動画を再生する

microSDカードの音楽を聴く

あらかじめmicroSDカードを本機に挿入しておく必要があります。

➡ microSDカードを挿入する(P.97)

<メニュー>スイッチを押して、**[≡]**をタッチし、全機能一覧から**[SD]**をタッチするとSDに切り替わります。

再生モード切替画面から**[音楽]**をタッチし、音楽再生モードに切り替えてください。

➡ microSDカードから再生するファイルを選ぶ(P.100)



① アルバムアートワーク

② アルバム名・アーティスト名・曲名

③ 順不同に再生(ランダム)

リスト内の全曲を、順不同に再生します。タッチすることにより、フォルダランダム*1 / 全曲ランダム / 通常再生が切り替わります。

④ AVチューン ➡ P.76

⑤ AVの設定などを表示

⑥ 繰り返し再生(リピート)

再生中の曲を繰り返し再生します。タッチすることにより、1曲リピート / フォルダリピート*1 / リピートオールが切り替わります。

⑦ 頭出し / 早送り・早戻し

タッチすると頭出しができます。タッチし続けている間、早送り / 早戻しすることができます。離すと通常再生に戻ります。

⑧ 再生 / 一時停止

[⏸]をタッチすると、再生を一時停止します。

[▶]をタッチすると、再生を開始します。

⑨ 再生モード切替画面を表示

*1…フォルダの内容は、選曲方法によって異なります。

➡ microSDカードから再生するファイルを選ぶ(P.100)

🚗 アドバイス

- SD再生中にmicroSDカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

📖 知識

- アルバムアートワークの画像データのサイズが大きいと、表示されない場合があります。
- 本機ではハイレゾ音源の再生に対応しています。
 - ー ハイレゾ音源とは一般的な音楽CDに入りきらない音の情報をたくさん持った音源のことです。
 - ➡ [ハイレゾ音源の再生について\(P.188\)](#)
 - ー 本機で再生可能なハイレゾ音源はFLAC / WAV形式の音楽ファイルです。再生可能な音楽ファイルについては下記をご覧ください。
 - ➡ [音楽データの規格について\(P.184\)](#)

microSDカードの動画を見る

あらかじめmicroSDカードを本機に挿入しておく必要があります。

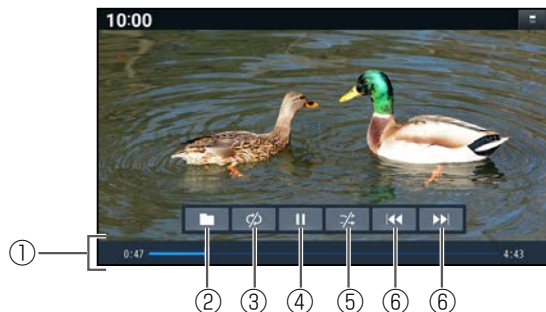
👉 microSDカードを挿入する(P.97)

<メニュー>スイッチを押して、**[☰]**をタッチし、全機能一覧から**[SD]**をタッチするとSDに切り替わります。

再生モード切替画面から**[動画]**をタッチし、動画再生モードに切り替えてください。

👉 microSDカードから再生するファイルを選ぶ(P.100)

再生画面にタッチすると、動画操作画面が表示されます。



- ① 経過時間・再生総時間・タイムバー
- ② 再生モード切替画面を表示
- ③ 繰り返し再生(リピート)
再生中の動画を繰り返し再生します。タッチするごとに、1ファイルリピート／フォルダリピート／リピートオールが切り替わります。
- ④ 再生／一時停止
[⏸]をタッチすると、再生を一時停止します。
[▶]をタッチすると、再生を開始します。


- ⑤ 順不同に再生(ランダム)
リスト内の全動画を、順不同に再生します。タッチするごとに、フォルダランダム／全ファイルランダム／通常再生が切り替わります。
- ⑥ 頭出し／早送り・早戻し
タッチすると頭出しができます。タッチし続けている間、早送り／早戻しすることができます。離すと通常再生に戻ります。

🚗 アドバイス

- SD再生中にmicroSDカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

microSDカードから再生する ファイルを選ぶ

音楽再生の場合、リストを絞って選曲することができます。(アーティスト別、アルバム別など)

1. **【】をタッチする**
2. **ファイルの種類を選んでタッチする**

[音楽]：音楽再生

手順3へ

[動画]：動画再生

続けて再生したいフォルダ・ファイルを選んでタッチする

■いろいろな方法で選曲する(音楽再生の場合のみ)

3. **選曲するリストを選んでタッチする**

[アルバム]	アルバムのリストを表示
[アーティスト]	アーティストのリストを表示
[全曲]	全曲を表示(リストを絞らない)
[フォルダ]	フォルダのリストを表示

4. **項目を選んでタッチしてリストを絞る**

[ALL]：選んだリストの全曲を表示
(リストを絞らない)

5. **リストから曲を選んでタッチする**

選んだ曲を再生します。

知識

- 曲数が多い場合は、選曲できるようになるまで時間がかかることがあります。

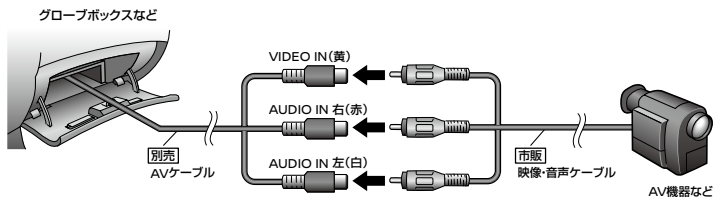
外部機器の映像／音声を視聴する

市販のAV機器やポータブルオーディオ機器などの映像や音声を本機で視聴できます。

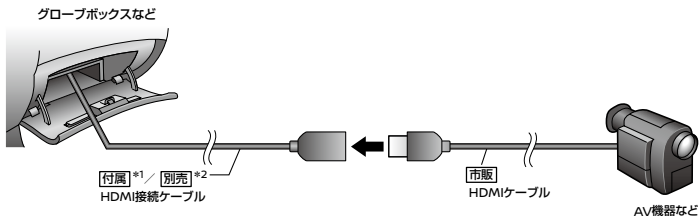
外部機器の接続について

本機は外部機器と以下の方法で接続できます。

■AVケーブルで接続



■HDMIケーブルで接続



* 1... **MM222D-Le**

* 2... **MM222D-L**

🚗 アドバイス

- 外部機器の接続口が、濡れたり、破損したり、汚れている場合は故障の原因となるため接続、挿入しないでください。

📖 知識

- 音声ケーブルは抵抗なし品を使用してください。抵抗入りケーブルは音声が聞こえません。
- 別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー／ドライブレコーダーを本機に接続している場合、AVケーブルの接続はできません。
- AVケーブルの場所は、車種によって異なります。詳しくは日産販売会社にご確認ください。
- HDMI接続ケーブルの場所は、車種によって異なります。詳しくは日産販売会社にご確認ください。

外部機器の映像を見る／音声を聴く

1. 外部機器を本機と接続する

➡ 外部機器の接続について (P.101)

2. 本機を起動し、外部機器の電源を入れる

3. <メニュー>スイッチを押して、**[]**をタッチし、全機能一覧から、接続方法を選ぶ

[VTR] ^{*1}	AVケーブルで接続します。
[HDMI]	HDMIケーブルで接続します。

4. AV機器やポータブルオーディオ機器などを操作する

*1…別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー／ドライブレコーダーを接続している場合、VTRは使用できません。

🚗 アドバイス

- 接続する前に、外部機器と本機の電源を切ってください。(本機の電源を入れたままAV機器やポータブルオーディオ機器などを接続したり、外したりするとノイズが出る場合があります。)
- 電源を切るときは、接続した機器の電源を切ってから本機の電源を切ってください。

📖 知識

- 操作のしかたはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続した機器によっては映像や音声がでない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるよう調整してください。

VTRソースについて

- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音声にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

VTR入力端子
映像入力レベル
1Vpp
(入カインピーダンス75Ω)
音声最大入力レベル
2.0V
(入カインピーダンス47kΩ)

HDMIソースについて

- 対応している映像信号は1920×1080i(60Hz)、1280×720p(60Hz)、720×480p(60Hz)、640×480p(60Hz)です。
- HDMIケーブルで接続した機器の音声は**BLUETOOTH®**で接続されている場合、HDMIで音声がでないことがあります。そのような場合は機器側の**BLUETOOTH®**の接続をOFFにしてからHDMIを使用してください。

カメラシステム

バックビューモニターを使う	P104
インテリジェントアラウンドビューモニター (移動物検知機能付き)を使う	P109

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの 映像を見る	P111
録画／記録したファイルを再生する	P112
ファイルを保護／解除する	P114
ファイルを消去する	P115
日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの 設定をする	P116
日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの microSDカードを初期化(フォーマット)する	P119

ドライブレコーダー

ドライブレコーダーの映像を見る	P120
-----------------	------

ETC

ETC2.0車載器の設定をする	P121
ETC2.0車載器からの情報を見る	P123

バックビューモニターを使う

本機にディーラーオプションのバックビューモニターを接続すると、画面に車両後方の映像を表示できます。

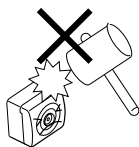
※車種によっては、標準装備のバックビューモニターにも対応しています。

ご使用になる前に

■取り扱い上のご注意

●カメラには強い衝撃を与えない

カメラ部は精密機器のため、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。破損して火災・感電の原因となることがあります。



●カメラを汚さない

ーカメラ部に泥・雨滴・雪などが付着すると、バックビューモニターの映りが悪くなりますので、乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。



ーカメラ部に泥・雪などが付着して、泥が固まったり、氷がついたりしているときは、棒などでたたいて泥や氷を落とさず、ぬるま湯をかけて洗い流し

てください。破損して火災・感電の原因となることがあります。

●タバコなどの火気を近づけない

カメラやコード類にタバコなどの火気を近づけないでください。破損や発火の原因となることがあります。

●安全な保守・点検を行うために

ーカメラレンズ部はキズを付けない

ボディ洗車する場合やカメラレンズ部の汚れを拭き取る際はキズを付けないよう注意してください。カメラレンズ部への洗車ブラシ等のご使用はしないでください。バックビューモニター映像への影響がでることがあります。

ーボディワックスはカメラレンズ部に付けない

ボディワックスをかける場合は、ワックスがカメラレンズ部に付かないよう注意してください。カメラレンズ部のコーティング性能を劣化させる原因となることがあります。

●ベンジン・シンナー等でカメラを拭かない

アルコール・ベンジン・シンナー等でカメラを拭かないでください。変色及びカ



メラレンズ部のコーティング性能の劣化などの原因となります。汚れを落とすときは、ぬれた柔らかい布で拭いてから、から拭きをしてください。

●部分的に明るい光を映したとき、画面が白くぼやけて見えにくくなるがありますが、故障ではありません。

●無線機のアンテナを近くに取り付けられない無線機の電波がケーブルに飛び込むと、バックビューモニター映像にナナメの縞模様が出ることがあります。

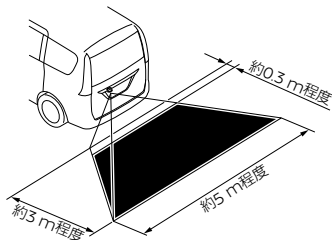
使用方法

■バックビューモニターの映像を映し出すには

1. 車両のキースイッチ(電源ポジション)をONにする
2. 車両のシフトレバーをリバースに入れる

バックビューモニター映像が自動的に映し出されます。

■バックビューモニターの映し出す範囲(イメージ図)



※車種によりバックビューモニターの映し出す範囲が異なります。

アドバイス

- カメラのレンズ部が汚れていると、映りが悪くなりますので清掃してください。

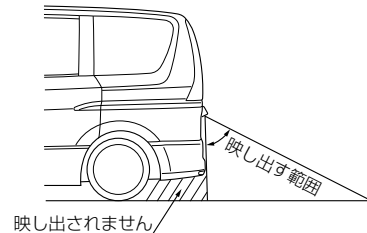
知識

- シフトレバーをリバース以外にすると、もとの画面に戻ります。可動式ディスプレイ付き車は自動格納されない機種もあります。手動または格納スイッチを操作してください。
- 次のような場合は、バックビューモニターの映像が見つらなくなることがありますが、故障ではありません。
 - ー 暗いところ(夜間など)や極端に暑いとき(寒いとき)は、映りが悪くなることがあります。
 - ー 直接カメラに強い光が入ると、映像に影響が出ることがあります。
 - ー 蛍光灯等の照明の下では、画面がちらつくことがあります。
 - ー バンパーなどからの強い反射光が入ると、映像に影響が出ることがあります。

■バックビューモニター使用時のご注意

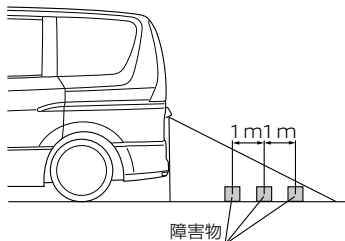
警告

- バックビューモニターが映し出す範囲には限界があります。後退するときは、直接目で後方および周囲の安全を確認しながら後退を開始してください。
- バックビューモニターの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- バックビューモニターの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。

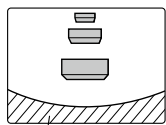


⚠ 注意

- バックビューモニターの映像は広角レンズを使用しておりますので、実際の距離と感覚が異なります。ゆっくり後退してください。
- バックビューモニターの映像はバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた鏡像です。



バックビューモニター映像画面



車体

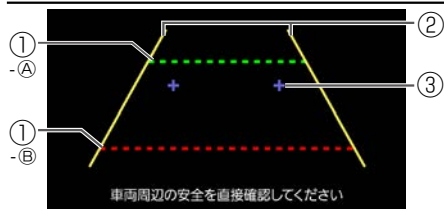
📖 知識

- 夜間や暗い場所、照明の下などではモニターの映像と実際の色味が異なることがあります。
- ディスプレイ表示の優先順により、バックビューモニターの映像が映らないときや、バックビューモニターの映像表示中に他の画面が割り込むことがあります。
- バックビューモニターの作動中は、他画面の操作ができません。ナビゲーション等の操作を行う場合は、車両のシフトレバーをリバース以外にしてください。
- 字光式ナンバープレートを装着すると、バックビューモニターの映像が一部映らなくなることがあります。
- 後席専用モニター付き車は、後席の画面表示がなくなったり、バックビューモニター映像に切り替わる場合があります。

目安線の表示／非表示を切り替える

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[カメラ設定]をタッチする
2. [目安線]の[ON]／[OFF]をタッチする

目安線の見かた



① 距離目安線

車両後方の距離の目安を表示します。

- ④ 緑：車両後端約 2 m
- ⑤ 赤：車両後端約 0.5 m

② 車幅目安線

後退したときの車幅の目安を表示します。

③ バックドア開閉目安点

バックドアの開閉に必要なスペースの目安を表示します。

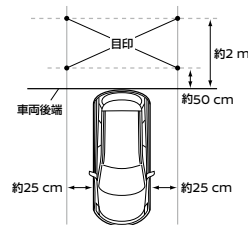
アドバイス

- 夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。
- バックビューモニターの映像に表示される車幅・距離目安線は、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。
- 直接目で後方および周囲の安全を確認しながら後退を開始してください。バックビューモニターの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。

目安線を調整する

■ 距離目安線と車幅目安線を調整する

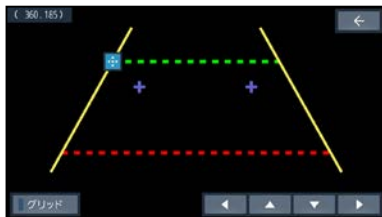
1. 図のように、4点の目印を付ける



2. <メニュー>スイッチを押して、【情報・設定】→【システム情報・設定】→【カメラ設定】をタッチする
3. 【目安線】の【ON】をタッチする
4. 【調整】をタッチする

カメラシステム

5. 目安線の調整したい点をタッチして、表示された \oplus が、手順1.で付けた目印と重なるよう $[\blacktriangle]$ / $[\blacktriangledown]$ / $[\blacktriangleleft]$ / $[\blacktriangleright]$ で調整する。



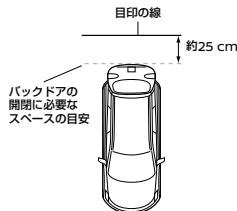
6. 4点の調整が終了したら、 $[\leftarrow]$ をタッチする

知識

- ガムテープなどで目印を付けてください。
- 車種によってはバックビューモニターの取付位置により、目安線が車両にかかる場合があります。
- $[\text{グリッド}]$ をタッチするとグリッド線を表示します。

■バックドア開閉目安点を調整する

1. 図のように、目印の線を付ける

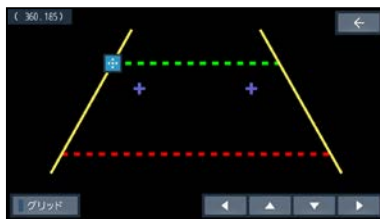


2. <メニュー>スイッチを押して、 $[\text{情報・設定}]$ → $[\text{システム情報・設定}]$ → $[\text{カメラ設定}]$ をタッチする

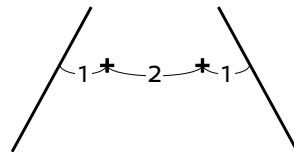
3. $[\text{目安線}]$ の $[\text{ON}]$ をタッチする

4. $[\text{調整}]$ をタッチする

5. $[\text{+}]$ をタッチして、 $[\blacktriangle]$ / $[\blacktriangledown]$ で、手順1.で付けた目印の線と重なるように調整する



6. $[\text{+}]$ をタッチして、 $[\blacktriangleleft]$ / $[\blacktriangleright]$ で車幅目安線との間隔がおおよそ1:2:1になるよう調整する



7. 2点の調整が終了したら、 $[\text{戻る}]$ をタッチする

アドバイス

- バックビューモニター画面上の $[\text{+}]$ はバックドアの開閉に必要なスペースの目安です。これ以上車両を後退させるとバックドアを開いたとき障害物とぶつかる危険性があります。

知識

- ガムテープなどで目印を付けてください。
- $[\text{グリッド}]$ をタッチするとグリッド線を表示します。

インテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)を使う

インテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)搭載車に本機を装着すると、インテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)の映像を表示できます。※車種によっては、モニター名称が異なります。

映像を本機で見る

■表示するディスプレイを切り替える

車両側のディスプレイ付ルームミラーに表示されたインテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)の映像を本機の画面に切り替えることができます。



※映像をディスプレイ付ルームミラーと本機の画面の両方に同時に表示することはできません。

ただし、車種によっては、車両側のディスプレイ付ルームミラーと本機の画面に、

インテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)の映像を同時に表示します。

※車種によっては、ディスプレイ付ルームミラーの名称が異なります。

< ☆ >スイッチ(オプションスイッチ)を押す

※車種によっては、< ☆ >スイッチを操作しても切り替えができない場合があります。

■映像を表示する

< ☆ >スイッチ(オプションスイッチ)を押す、または車両のシフトレバーをリバースに入れる

※車両のシフトレバーをリバースに入れたとき、映像が車両側のディスプレイ付ルームミラーに表示された場合、またはどちらにも表示されない場合は、< ☆ >スイッチを押すと、本機で表示できます。

※車種によっては、< ☆ >スイッチを操作しても表示できない場合があります。この場合、車両側のスイッチを操作して表示してください。

■映像を非表示にする

< ☆ >スイッチ(オプションスイッチ)を数回押す

走行速度が上がると、インテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)の映像からもとの画面に切り替わります。

※車種によっては、< ☆ >スイッチを操作しても非表示にできない場合があります。

この場合、車両側のスイッチを操作して非表示にしてください。

■ビューを切り替える

本機に映像が表示された状態で < ☆ > スイッチ(オプションスイッチ)を押す

アドバイス

- インテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)の注意事項および詳しい操作方法については、車両の取扱説明書をご覧ください。

知識

- 車両側のディスプレイ付ルームミラーに映像を切り替える場合は車両側のスイッチを操作してください。
※車種によっては、切り替えができない場合があります。
- インテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)の映像を表示中は、映像の表示を優先するため、一部のスイッチが操作できない場合があります。
- 映像表示を終了し、次回表示した場合は、最後に表示していたディスプレイに表示されます。ただし、< ☆ > スイッチを押した場合は本機の画面に表示されます。

- 車種によっては、本機の画面にインテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)の映像を表示できない場合があります。

ソナーのON / OFFを切り替える

ソナー付きのインテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)装着車の場合、本機でソナーのON / OFFを切り替えることができます。

< ☆ > スイッチ(オプションスイッチ)を長押しする

アドバイス

- ソナーについて詳しくは車両の取扱説明書をご覧ください。

知識

- 車種によってはソナーのON / OFFができない場合があります。

移動物検知機能のON / OFFを切り替える

インテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)装着車の場合、本機で移動物検知機能のON / OFFを切り替えることができます。

< ☆ > スイッチ(オプションスイッチ)を長押しする

アドバイス

- 移動物検知機能について詳しくは車両の取扱説明書をご覧ください。

知識

- 車種によっては移動物検知機能のON / OFFができない場合があります。

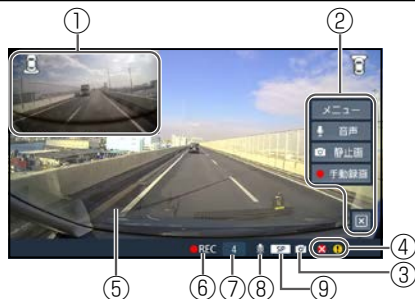
日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの映像を見る

別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーを接続している場合、本機の画面で日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの映像を見ることができます。

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの映像を見る

<メニュー>スイッチを押して、**[☰]**をタッチし、全機能一覧から**[ドライブレコーダー]**をタッチする

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー映像画面の見かた



- ① リヤ常時録画映像
- ② 操作ボタン
手動録画をしたり、静止画の撮影などをします。
操作ボタンは、映像画面をタッチすると表示されます。
- ③ 静止画撮影マーク
静止画を撮影したときに表示します。
- ④ エラーマーク
 - ⊗🚗 : 手動録画不可
 - ⊗⚠ : イベント記録不可
 - ⊗P : 駐車録画不可
- ⑤ フロント常時録画映像
- ⑥ 録画マーク
 - REC : 常時録画中
 - 🚗 : 手動録画中
 - ⚠ : イベント記録中
 - Ⓜ : 録画停止中
- ⑦ 録画終了までの残り秒数
手動録画中／イベント記録中の録画終了までの残り秒数を表示します。
- ⑧ 音声記録マーク
 - 🔊 : 音声記録 ON
 - 🔇 : 音声記録 OFF
- ⑨ 録画画質マーク
 - UXP : 最高画質
 - XP : 高画質
 - SP : 標準画質
 - LP : 長時間画質

操作ボタン

[☒]	操作ボタンを消します。
[メニュー]	日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのメニュー画面を表示します。
[音声]	常時録画の音声記録ON／OFFを切り替えます。
[静止画]	静止画を撮影します。
[手動録画]	手動録画を行います。

🚗 アドバイス

- 日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの注意事項および詳しい操作方法については、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

📖 知識

- 走行中はドライブレコーダーの映像は表示できません。
- 別売のAVケーブルを本機に接続している場合、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーは接続できません。

知識

- 日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーは、パソコンとビューアソフトを使って、ファイルの再生やバックアップなどを行うことができます。詳しくは日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーには、「フロント」と「フロントとリヤ」の2種類があります。「フロント」のみを取り付けた場合、リヤの映像は表示されません。
- [音声]では手動録画とイベント記録の音声記録ON/OFFの切り替えはできません。
- 手動録画中に[手動録画]をタッチすると手動録画を延長できます。
- 地図画面のダイレクトボタンで手動録画/静止画撮影することもできます。
- ➡ 現在地の地図表示(P32)
- 地図画面を表示したままドライブレコーダーの映像を見ることもできます。詳しくは、下記をご覧ください。
- ➡ 右画面表示をする(P41)

録画/記録したファイルを再生する

別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーで録画/記録したファイルを本機で再生できます。

録画/記録したファイルを再生する

1. <メニュー>スイッチを押して、**[☰]**をタッチし、全機能一覧から**[ドライブレコーダー]**をタッチする
2. 画面をタッチし、**[メニュー]**→**[ファイル再生]**をタッチする
3. フォルダを選んでタッチする
4. 再生したいファイルを選んでタッチする

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー再生画面の見かた

ファイル再生画面(録画再生時)



[地図表示]を
タッチ ↓ ↑ [←]を
タッチ

ファイル再生画面(地図表示時)



- ① 保護マーク
再生中のファイルが保護されていると表示します。
- ② ファイル名

③ 動作状態

- ▶▶ : 通常再生
- ◀◀ : 早戻し
- || : 一時停止
- |▶ : 早送り
- ◀| : 一時停止
- ◻ : 静止画ファイル再生

④ 再生時間

⑤ プログレスバー

再生の進捗を表示します。


⑥ 操作ボタン

タッチして地図画面と2画面にしたり、早送りや一時停止などをします。操作ボタンが消えている場合は、ファイル再生画面をタッチすると表示されます。

⑦ 再生ファイルの日時

⑧ 撮影地点マーク

操作ボタン

[]	操作ボタンを消します。
[地図表示]	画面を2つに分け、地図画面と再生画面を表示します。
[ズーム]	映像を拡大／縮小します。 👉映像を拡大／縮小する (P.114)
[保護]／ [保護解除]	再生中のファイルの保護↔ 保護解除が切り替わります。 ※常時録画ファイルは保護できません。

[消去]	再生中のファイルを消去します。 ※保護されているファイルは消去できません。
[◀◀]	前のファイルに戻します。 録画ファイルの再生中にタッチしたままにすると、早戻しします。 録画ファイルの一時停止中にタッチしたままにすると、スロー戻しします。
[/ ▶]	一時停止／再生します。
[▶▶]	次のファイルに進めます。 録画ファイルの再生中にタッチしたままにすると、早送りします。 録画ファイルの一時停止中にタッチしたままにすると、スロー送りします。

知識

- [地図表示]をタッチして表示された地図画面では、地図のスクロールができません。
- 本機の電源を入れてから日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーとの接続を認識できるまでの間など、録画中に位置情報を記録できない場合があります。この場合、地図画面は表示されません。

■映像を拡大／縮小する

ファイル再生画面で[ズーム]をタッチすると、ズーム操作ボタンを表示します。



ズーム操作ボタン

[X] / [Z]	ズーム操作ボタンの非表示↔表示が切り替わります。
[+]	映像を拡大します。
[-]	映像を縮小します。

📖 知識

- 選べる倍率は、等倍、2倍、4倍です。

ファイルを保護／解除する

別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーで録画／記録したファイルを保護したり、保護を解除したりすることができます。

ファイルを選んで保護／解除する

1. <メニュー>スイッチを押して、**[☰]**をタッチし、全機能一覧から**[ドライブレコーダー]**をタッチする
2. 画面をタッチし、**[メニュー]**→**[ファイル再生]**をタッチする
3. フォルダを選んでタッチする
4. **[ファイル管理]**→**[ファイルを選択して保護]**をタッチする
5. リストから保護したいファイルを選んでタッチし、**✓**印を付ける
タッチするたびに**✓**印の表示↔非表示が切り替わります。
6. **[決定]**をタッチする
保護されたファイルに(**🔒**)が表示されます。

📖 知識

- 常時録画ファイルは保護できません。
- **[全選択]**をタッチするとすべてのファイルに**✓**印を付けます。
- **[全解除]**をタッチするとすべてのファイルの**✓**印を消します。

ファイルを消去する

別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーで録画／記録したファイルを消去できます。

ファイルを選んで消去する

1. <メニュー>スイッチを押して、**[☰]**をタッチし、全機能一覧から**[ドライブレコーダー]**をタッチする
2. 画面をタッチし、**[メニュー]**→**[ファイル再生]**をタッチする
3. フォルダを選んでタッチする
4. **[ファイル管理]**→**[ファイルを選択して消去]**をタッチする
5. リストから消去したいファイルを選んでタッチし、**✓**印を付ける

タッチするたびに**✓**印の表示↔非表示が切り替わります。

6. **[決定]**をタッチする
✓印を付けたファイルが消去されます。

知識

- 保護されたファイルは消去できません。
- **[全選択]**をタッチするとすべてのファイルに**✓**印を付けます。(保護されたファイルは**✓**印が付きません。)
- **[全解除]**をタッチするとすべてのファイルの**✓**印を消します。

フォルダ内のファイルをすべて消去する

1. <メニュー>スイッチを押して、**[☰]**をタッチし、全機能一覧から**[ドライブレコーダー]**をタッチする
2. 画面をタッチし、**[メニュー]**→**[ファイル再生]**をタッチする
3. フォルダを選んでタッチする
4. **[ファイル管理]**→**[フォルダ内のファイルを全て消去]**をタッチする

知識

- 保護されたファイルは消去できません。

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定をする

別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーを接続している場合、本機で日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定を行うことができます。

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定をする

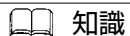
1. <メニュー>スイッチを押して、**[]**をタッチし、全機能一覧から**[ドライブレコーダー]**をタッチする
2. 画面をタッチし、**[メニュー]**をタッチする
3. 設定項目を選んでタッチする

設定項目

[駐車録画設定]	[録画時間]	駐車録画の録画時間を[15秒間]／[30秒間]／[1分間]から選んで設定できます。 [録画しない]に設定すると、駐車録画を行いません。
	[録画待機開始時間]	車両のキースイッチ(電源ポジション)をOFFにした直後から一定時間、駐車録画を無効にするよう設定できます。 [降車30秒後から]／[降車1分後から]／[降車3分後から]から選んで無効にする時間を設定してください。 [降車時から]に設定すると、車両のキースイッチ(電源ポジション)をOFFにした直後から駐車録画が有効になります。
	[録画待機終了時間]	車両のキースイッチ(電源ポジション)をACCまたはONにする直前の一定時間、駐車録画を無効にするよう設定できます。 [乗車30秒前まで]／[乗車1分前まで]／[乗車3分前まで]から選んで無効にする時間を設定してください。 [乗車時まで]に設定すると、車両のキースイッチ(電源ポジション)をACCまたはONにする直前の駐車録画を無効にしません。
	[上書き保存]	駐車録画のファイル数がいっぱいになると、古い駐車録画ファイルから順に上書き[ON]／[OFF]を設定できます。
	[感度設定]	駐車録画を開始する検出の感度を5段階で設定できます。

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー

[動画記録設定]	[動画画質]	録画する映像の画質を[最高画質(UXP)]/[高画質(XP)]/[標準画質(SP)]/[長時間画質(LP)]から選んで設定できます。
	[音声記録]	録画時に音声を記録するかどうかを[しない]/[常時録画のみ]/[手動・イベント・駐車録画]/[全ての録画]から選んで設定できます。
	[上書き保存(手動)]	手動録画のファイル数がいっぱいになると、古い手動録画ファイルから順に上書き[ON]/[OFF]を設定できます。
	[上書き保存(イベント)]	イベント記録のファイル数がいっぱいになると、古いイベント記録ファイルから順に上書き[ON]/[OFF]を設定できます。
	[感度設定(イベント)]	イベント記録を開始する検出の感度を5段階で設定できます。
[システム設定]	[通知音量]	[−]/[+]をタッチして、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの報知音の音量を設定できます。
	[再生音量]	[−]/[+]をタッチして、ファイルの再生音声の音量を設定できます。
	[設定を初期化する]	[はい]をタッチして、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定をお買い上げ時の状態に戻します。
	[システムバージョン]	日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのシステムバージョンを表示します。
[SDカード初期化]	日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのmicroSDカードを初期化(フォーマット)します。	
[システム更新]	日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのシステムを更新します。 ※システム更新については日産販売会社にお問い合わせください。	



録画時間の目安について

microSDカード容量8GBで常時録画の場合

- 最高画質 : 最大70分
- 高画質 : 最大100分
- 標準画質 : 最大150分
- 長時間画質 : 最大240分

- 日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの報知音やファイル再生音声は、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー本体のスピーカーから出力されます。

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのmicroSDカードを初期化(フォーマット)する

別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのmicroSDカードを初期化(フォーマット)します。

※本操作では本機に挿入されたmicroSDカードは初期化されません。

microSDカードを初期化(フォーマット)する

1. <メニュー>スイッチを押して、**[目]**をタッチし、全機能一覧から**[ドライブレコーダー]**をタッチする
2. 画面をタッチし、**[メニュー]**をタッチする
3. **[SDカード初期化]**をタッチする

アドバイス

- microSDカードを初期化(フォーマット)すると、保護したファイルを含めすべてのデータが消去されます。必要なデータがある場合は、必ずパソコンなどにバックアップしてから初期化(フォーマット)してください。

ドライブレコーダーの映像を見る

別売のドライブレコーダーを接続している場合、本機の画面でドライブレコーダーの映像を見ることができます。

ドライブレコーダーの映像を見る

<メニュー>スイッチを押して、**[≡]**をタッチし、全機能一覧から**[ドライブレコーダー]**をタッチする

アドバイス


- ドライブレコーダーの注意事項および詳しい操作方法については、ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

知識

- 別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー／ドライブレコーダー、別売のAVケーブルは、いずれか1つのみ接続できます。

ETC2.0車載器の設定をする

ETCの利用について

 アドバイス**必ず、ETCシステム利用規定などをお読みください**

- ETCシステム利用規程、ETCカードの利用約款などに、ご利用上の注意事項が記載されています。ETCのご利用前に、必ずお読みください。
- 利用規定などは、道路事業者の「供用約款」と合わせて「約款」となりますので、遵守事項については必ずお守りください。
- ETC2.0車載器について詳しくは取扱説明書をご覧ください。接続可能なETC2.0車載器の詳細は日産販売会社へご相談ください。
- ETCをご利用になるときの事前準備、ご利用時の諸注意、および取り扱い方法については、ETC2.0車載器に添付の取扱説明書をご覧ください。

ETC情報の案内に関する設定

別売のETC2.0車載器を接続している場合は、本機でETCの設定を行うことができます。


1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[ナビ設定]→[ETCの音声案内設定]をタッチする。
2. 各項目を設定する

設定項目

[ETC 音声案内]	[ON]：利用料金などを、本機から音声で案内する [OFF]：ETC 音声案内しない
[カード入れ忘れ案内]	[ON]：本機の電源がONになったときにETCカードが挿入されていない場合、本機から音声で案内する*1 [OFF]：カード入れ忘れ案内しない

[カード抜き忘れ案内]	[ON]：本機の電源がOFFになったときにETCカードが取り出されずに車載器に残っている場合、本機から音声で案内する*1 [OFF]：カード抜き忘れ案内しない
-------------	--

*1…ETC 音声案内を[OFF]に設定しても案内します。

 知識

- ETCカード有効期限切れについては、[ETC 音声案内]を[OFF]に設定しても本機から音声案内します。
- 各設定項目を[OFF]に設定しても、タイミングによっては、ETC2.0車載器のスピーカーから音声案内する場合があります。
※起動時にETCカードが挿入されている場合は、ETCカードの有効期限について、ETC2.0車載器のスピーカーから音声案内します。

ETC2.0 割込み設定

別売のETC2.0車載器を接続している場合、ETC2.0の交通情報サービスの利用や、ETC2.0の設定ができます。

1. <メニュー>スイッチを押して、【情報・設定】→【ナビ情報・設定】→【ナビ設定】→【渋滞設定】をタッチする
2. 各項目を設定する

設定項目

項目	設定内容
[ETC2.0受信音]	<p>[ON] : ETC2.0サービスからVICS情報を受信すると、受信音を鳴らす</p> <p>[OFF] : ETC2.0サービスからVICS情報を受信しても、受信音を鳴らさない</p> <p>※安全運転支援情報、ローカル安全運転支援情報、注意警戒情報、ローカル注意警戒情報、新緊急メッセージを受信したときは、設定にかかわらず受信音を鳴らします。</p>
[ETC2.0割込み]	<p>[ON] : ETC2.0サービスからVICS情報を受信すると、割込み表示する</p> <p>[OFF] : ETC2.0サービスからVICS情報を受信しても、割込み表示しない</p> <p>※安全運転支援情報、ローカル安全運転支援情報、注意警戒情報、ローカル注意警戒情報、新緊急メッセージを受信したときは、設定にかかわらず割込み表示します。</p> <p>※VICS情報の割り込み表示については下記をご覧ください。</p> <p>➡ 画像・音声情報のVICS情報を受信すると(ETC2.0)(P68)</p>
[ETC2.0自動音声再生]	<p>[ON] : ETC2.0サービスからVICS情報を受信すると、自動的に音声案内する</p> <p>[OFF] : ETC2.0サービスからVICS情報を受信しても、自動的に音声案内しない</p>
[ETC2.0アップリンク]	<p>[ON] : 本機で収集した情報を、ITSスポットに自動的に送信する</p> <p>[OFF] : 本機で収集した情報を、ITSスポットに送信しない</p>

 知識

- [ETC2.0アップリンク]を[ON]に設定していても、走行開始地点など、個人情報に関わる情報は収集されません。送信された情報は、道路交通情報の提供などに活用されます。

ETC2.0車載器からの情報を見る


別売のETC2.0車載器を接続している場合は、本機でETC情報(利用履歴など)を見ることができます。

ETC料金履歴を見る

<メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[ETC情報]→[ETC履歴]をタッチする

ETC履歴画面が表示されます。(履歴100件まで)

100件を超えると古い順に削除されます。件数が多いと、表示に時間がかかります。

 アドバイス


- 料金所付近では、料金履歴を確認しないでください。[ETC履歴]をタッチしETC履歴画面が表示されるまでは、ETC2.0車載器は路側アンテナと通信できません。料金所で開閉バーが開かず、事故の原因となります。

ETC管理情報を見る

<メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[ETC情報]→[ETC管理情報]をタッチする

ETC管理情報が表示されます。

 知識

- 別売のETC2.0車載器を接続している場合は、道路本線上や料金所に設置された路側機(ITSスポット)から提供される情報を受信できます。
- ETC2.0で受信できる情報は内容によって表示方法が異なり、手動表示/自動割り込み表示で表示されます。
 [VICIS情報を見る\(P.67\)](#)

MEMO

カメラシステム、ドライブレコーダー、ETC

ハンズフリーフォンを使う

ハンズフリーフォンで通話する P126

ハンズフリーフォンの設定をする

ハンズフリーフォンの通話設定をする P129

ハンズフリーフォンで通話する

あらかじめスマートフォンを本機と**BLUETOOTH**®接続しておく必要があります。

② スマートフォンを登録する(P.26)

- ハンズフリーフォンを使用するときの通話料は、お客さまのご負担になります。
- 安全な場所へ停車してから通話を行ってください。
- BLUETOOTH**®通信用の車両側アンテナは本機に内蔵されていますので、スマートフォンを金属に覆われた場所や本機から離れた場所に置くと音が悪くなったり接続できなかったりする場合があります。
- ハンズフリーフォンは本機のマイクを使用して通話します。安全に運転できる姿勢で大きな声でハッキリとお話ください。(マイクに近づいたり、マイクを注視して前方不注意になったりしないようにしてください。)
- ハンズフリーフォンで通話中に車両内のスイッチ(ハザード)などを操作した場合、その操作音が通話相手に聞こえることがあります。

- スマートフォンにはご利用できない機種があります。適合機種は、日産販売会社にお問い合わせください。

📖 知識

- 安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご使用ください。
- スマートフォンによっては、本書の説明どおりに動作しない場合があります。
- スマートフォン側の操作はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
- スマートフォンを待受画面にしないとハンズフリー通話ができない場合があります。
- スマートフォンによっては、本機と**BLUETOOTH**®接続中に、スマートフォンを操作して電話をかけても(電話に出ても)ハンズフリー通話になる場合があります。
- BLUETOOTH**® Audio再生とハンズフリーを同時に使用すると、それぞれの通信の状態(接続や音声など)が不安定になることがあります。

着信画面の見かた

自動的に着信画面に切り替わります。



①

②

① 電話に出る

[電話に出る]をタッチする
通話を開始します。

② 電話に出ずに切る(着信拒否)

[電話を切る]をタッチする
着信が切れます。

📖 知識

- AVソース再生中に着信すると、再生が一時停止／一時消音します。通話が終わるとAVソースの再生を再開／消音を解除します。
- スマートフォンの機種によっては、着信中に[電話を切る]をタッチしても電話に出る場合があります。

ハンズフリーフォンを使う

通話中画面の見かた



- ① ② ③ ④

① 電話を切る

[電話を切る]をタッチする
通話を終了します。

② トーン信号(ビッポッパ)を送る

1. 【ダイヤル】をタッチする

10キーのダイヤルパッドが表示されます。

2. 数字を選び、トーン信号を送る

プッシュホンサービスなどを利用できます。

③ 送話音を消音する

[ミュート]をタッチする
再度タッチすると、解除されます。

④ 通話をスマートフォンに切り替える

[携帯電話切替]をタッチする
[ハンズフリー切替]をタッチすると、
ハンズフリー通話に戻ります。

アドバイス

- 走行中にスマートフォンでの通話に切り替えて、運転者が通話することはおやめください。

電話をかける

<メニュー>スイッチを押して、[☰]をタッチし、全機能一覧から【電話】をタッチする

ハンズフリー画面が表示されます。

■ 電話帳から電話をかける



- ① ② ③ ④ ⑤

① 発着信履歴に切替

② 電話帳に切替

③ ダイヤルに切替

④ ハンズフリー設定画面を表示

➔ [ハンズフリーフォンの通話設定を
する\(P.129\)](#)

⑤ 連絡先リスト

1. ハンズフリー画面から、【電話帳】をタッチする
2. ハンズフリー画面(電話帳)の連絡先リストから、電話をかける相手をタッチする

■ 電話番号を入力して電話をかける

1. ハンズフリー画面から、【ダイヤル】をタッチする
2. ハンズフリー画面(ダイヤル)から電話番号を入力し、【発信】をタッチする

[✕] : 1文字削除

■ 発着信履歴から電話をかける

1. ハンズフリー画面から、【履歴】をタッチする
2. 発着信履歴リストから、電話をかける相手を選んでタッチする

■ 表示する履歴を選ぶには

ハンズフリー画面(発着信履歴)から【発信履歴】/【不在着信】/【着信履歴】を選んでタッチする

本機に登録された電話帳・発着信履歴について

- スマートフォンを本機とハンズフリー接続すると、その時点の電話帳と発着信履歴の情報が、自動的に本機に転送されます。
- 手動で個別に選んで登録することはできません。
- 本機に登録した電話帳の内容(電話帳、氏名など)は、編集できません。電話帳の内容を変更するときは、スマートフォン側で編集してください。
- 電話帳は、2 000 件まで表示できます。また、電話番号は1件につき5つまで表示できます。
- 発着信履歴は、発信履歴・着信履歴・不在着信を合計100件表示できます。
- 本機と接続しているときに、スマートフォンで電話帳の更新を行った場合は、本機側の電話帳には反映されません。一度接続が解除され、再度接続されたときに(本機の電源を切り、再度電源を入れたときなど)に反映されます。

知識

- < ☆ >スイッチ(オプションスイッチ)にリダイヤル機能を設定することができます。
 - オプションスイッチを設定する
(P.140)

ハンズフリーフォンの設定をする

ハンズフリーフォンの通話設定をする

1. <メニュー>スイッチを押して、**[☰]**をタッチし、全機能一覧画面から**[電話]**→**[設定]**をタッチする
2. 各項目を設定する

設定項目

[機器選択]	ハンズフリー接続・ BLUETOOTH ® Audio 接続する機器を選択する ➡ BLUETOOTH ®接続する機器で使用する機能を変更する(P.28)
[携帯電話データの自動同期]	[ON]：スマートフォンがハンズフリー接続されたとき、その時点の電話帳と発着信履歴の情報を自動的に本機に転送する [OFF]：スマートフォンがハンズフリー接続されても、電話帳と発着信履歴の情報を本機に転送しない ※本設定を[OFF]から[ON]にすると、その時点の電話帳と発着信履歴の情報がスマートフォンから本機に転送されます。

MEMO

ハンズフリーフォン

スマートフォン連携

NaviCon®を使う

P132

NaviCon®を使う

NaviCon®について

■ NaviCon®とは

NaviCon®は多彩な連携アプリで探した行先を、ワンタッチで本機に転送し目的地に設定できるおでかけサポートアプリです。無料でご利用いただけます。

- 入手方法や対応スマートフォンなど、詳細は下記サイトをご覧ください。

NaviCon®サポートサイト：

<https://navicon.com/>

アドバイス

- NaviCon®アプリのバージョンによっては、NaviCon®連携できない場合があります。NaviCon®アプリは最新のバージョンでご使用ください。

知識

- スマートフォンにNaviCon®アプリをインストールしてください。(無料)
- スマートフォンを本機に **BLUETOOTH®**機器登録し、ハンズフリー接続してください。
 - ➡ スマートフォンを本機と **BLUETOOTH®**接続する(P.26)
- ご利用時には通信費用がかかります。
- アプリは、予告なく機能が変更されたり、サービスが終了となることがあります。

NaviCon®を使う

■ NaviCon®で検索した地点を本機に送信する

スマートフォン側でNaviCon®アプリから、地点を検索し、目的地として本機に送信する

本機で地点情報を受信し、全ルート図が表示されます。

- ➡ 行き先までのルートを作るには(P.48)

知識

NaviCon®のルート探索について

- 現在地がルートの出発点に設定されず。
- 探索条件[推奨]で探索されます。
 - ➡ 探索条件について(P.55)
- ルートが設定されている場合は、前のルートは消去されます。
- スマートフォンから受信した地点は、本機の目的地履歴に保存されます。登録地には保存されません。
 - ➡ 目的地・経由地の履歴から探す(P.50)
 - ➡ 登録地について(P.64)

■ NaviCon®で本機の地図の位置を変更する

1. 本機で現在地画面または地図モード画面を表示させる
2. スマートフォン側でNaviCon®アプリの地図をスクロールする

NaviCon®アプリでスクロールさせた地点の地図が、本機の地図画面に表示されます。

■ NaviCon®で本機の地図の縮尺を変更する

1. 本機で現在地画面または地図モード画面を表示させる
2. スマートフォン側でNaviCon®アプリの地図の縮尺を変更する
本機の地図の縮尺が、NaviCon®アプリで変更した縮尺に切り替わります。

知識

NaviCon®での地図操作(位置・縮尺の変更)について

- 縮尺は、30 m / 37.5 m / 50 m / 100 m / 200 m / 500 m / 1 km / 2.5 km / 5 km / 10 km / 25 km / 100 km / 250 kmのいずれかに切り替わります。
- NaviCon®アプリで30 mよりも詳細な縮尺に切り替えた場合、本機の地図は30 m縮尺に切り替わります。
- NaviCon®アプリで250 kmよりも広域な縮尺に切り替えた場合、本機の地図は250 km縮尺に切り替わります。

MEMO

音声認識でルート探索する

音声認識で目的地を検索する

P136

音声認識で目的地を検索する

音声で入力された施設などをクラウド上のデータベースから検索し、行き先を設定できます。

スマートフォンを本機にWi-Fiネットワーク登録/Wi-Fi接続してください。

➡ スマートフォンを本機とWi-Fiネットワーク登録する(P.29)

1. <メニュー>スイッチを押して、**[☰]**をタッチし、全機能一覧から**[音声認識]**をタッチするまたは、<メニュー>を**0.5秒以上押す**

2. **施設や住所などを発声し、行き先を検索する**

効果音が鳴ってから発声してください。

本機の音声案内：“こんにちは。行きたいところをお話してください。”

発話者の音声入力：“近くのガソリンスタンド”

本機の音声案内：“20件のガソリンスタンドが見つかりました。近い順に
1. ○○石油××SS
2. △△石油××SS
3. □□石油××SS
です。”

検索結果画面が表示されます。

3. **検索結果画面から、施設を選ぶ**



発話者の音声入力：“3番” *1

本機の音声案内：“□□石油××SSを目的地に設定しますか？”

発話者の音声入力：“はい、一般優先で”

本機の音声案内：“一般優先でルート探索します。お気を付けて。”

現在地から行き先までのルートが探索され、全ルート図が表示されます。

➡ 行き先までのルートを作るには(P.48)

* 1… “□□石油××SS” と、名称でも選択できます。

検索結果画面の操作のしかた

検索結果画面では、下記の操作ができます。

■ 施設の詳細情報を聞く

発話者の音声入力：“3番の詳細情報”

施設名称・住所・情報が案内されます。

番号で選択してください。(詳細情報を聞く施設は、名称では選択できません。)

■ 次の候補に切り替える

発話者の音声入力：“次のページ”

次の候補を3件表示します。

■ 選択した施設に電話する

発話者の音声入力：“電話をかける”

選んだ施設に電話をかけます。(ハンズフリー接続時のみ)

■ タッチで操作する

リストから施設を選び、**[決定]**をタッチする

タッチ操作すると音声認識は終了します。

以降の操作はタッチで行ってください。

いろいろな音声認識(例)

■ 周辺の施設を検索する

発話者の音声入力：“新横浜駅周辺のファミレス”

■ 住所から検索する

発話者の音声入力：“神奈川県横浜市都筑区池辺町 4261”

■ 施設の名称から検索する

発話者の音声入力：“パナソニックセンター東京”

■ 自宅を検索する

発話者の音声入力：“自宅に帰る”
本機に登録した自宅を検索できます。

■ ルート沿いの施設を検索する

発話者の音声入力：“ルート沿いのコンビニ”

■ 条件を詳細に設定する

発話者の音声入力：“横浜で駐車場のあるイタリアンを経由地に、一般道優先で”

■ 検索をやりなおす

発話者の音声入力：“やりなおし”

番号の選択をやりなおすときは、番号を言いなおしてください。

認識率を良くするために

適正な音量で、はっきりと発声してください。

発声の音量によって、音声認識アイコンが下記のように変化します。



：音が非常に大きい



：音が大きい



：適正な音量



：音が小さい

- 車の窓を閉めてください。(周囲の雑音による誤認識を防ぐため)
- 同乗者に会話を控えてもらってください。(同乗者の声による誤認識を防ぐため)

MEMO

その他の機能と設定

メニューなどを表示する言語を変更する	P.140
オプションスイッチを設定する	P.140
時計表示を設定する	P.140
操作音を設定する	P.140
セキュリティ機能を設定する	P.141
画面の画質調整/サイズ切り替えをする	P.143
音声はそのまま画面を消す	P.144
取り付け・配線の確認	P.144
本機の情報を確認する	P.145
各種設定をお買い上げ時の状態に戻す	P.146

困ったとき

故障かな?と思ったら	P.148
こんなメッセージが表示されたら	P.164
本体リセット機能について	P.166

必要なとき

GPS電波受信と現在地測位	P.167
VICSについて	P.169
地図ソフトについて	P.172
表示できる施設	P.177
microSDカードについて	P.180
BLUETOOTH® について	P.181
Wi-Fiについて	P.182
後席専用モニターについて	P.183
音楽ファイルについて	P.184
動画ファイルについて	P.189
テレビ/ラジオの受信について	P.191
別売品(システムアップ)について	P.192
初期設定一覧	P.193
商標などについて	P.196
ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて	P.197
保証とアフターサービス	P.198
仕様	P.199
さくいん	P.200

メニューなどを表示する言語を変更する

メニューなどの表示言語を日本語/英語/韓国語/中国語に切り換えることができます。


1. <メニュー>スイッチを押して、【情報・設定】→【システム情報・設定】→【言語】をタッチする
2. 【Japanese】/【English】/【Korean】/【Chinese】から選んでタッチする

一部の画面が選んだ言語で表示され、ルート案内も選んだ言語で案内します。日本語の表示や案内に戻りたい場合は、【Japanese】をタッチしてください。

知識

- 地図の地名などは日本語で表示されます。

オプションスイッチを設定する

本機の <  > スイッチ(オプションスイッチ)によく使う機能をひとつ選んで設定できます。

1. <メニュー>スイッチを押して、【情報・設定】→【システム情報・設定】→【オプションスイッチ設定】をタッチする
2. オプションスイッチに設定する機能を選んでタッチする

設定する機能

[消音]	AVソースの音声を消したり、消音を解除したりします。
[AVソース切替]	AVソースを切り替えます。
[電話リダイヤル発信]	ハンズフリーフォンで前回電話をかけた番号に発信します。
[自宅]	現在地の地図画面のとき、自宅を目的地にしてルート探索します。

アドバイス

- インテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)搭載車に本機を装着している場合は、オプションスイッチ設定はできません。

時計表示を設定する

ステータスバーの時計の表示/非表示を切り替えることができます。

<メニュー>スイッチを押して、【情報・設定】→【システム情報・設定】→【時計表示】をタッチする

設定項目

[時計表示]	[ON]: 時計を表示する
	[OFF]: 時計を表示しない

操作音を設定する

コントロールパネルのスイッチを押したり、タッチパネルのボタンをタッチしたりしたときに鳴る操作音を設定できます。

<メニュー>スイッチを押して、【情報・設定】→【システム情報・設定】→【操作音】をタッチする

設定項目

[操作音]	[ON]: キー操作音を鳴らす
	[OFF]: キー操作音を鳴らさない


セキュリティ機能を設定する

アドバイス

- お客さまが設定したセキュリティコードは、お客さまご自身で管理をお願いします。
- セキュリティコードを忘れた場合は日産販売会社へご相談ください。

セキュリティコードを設定する

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[セキュリティ設定]をタッチする
2. [セキュリティ設定]の[ON]をタッチする
3. [OK]をタッチして、初期パスワード「9876」を入力し、[決定]→[はい]をタッチする
この操作は初めて設定する場合のみ行います。
4. [OK]をタッチする
5. セキュリティコードを入力し、[決定]をタッチする

[]: 1文字削除

文字種: 数字・A～Fの大文字

文字数: 4文字～12文字

※第三者から推測されやすい文字列(例: 生年月日、0000のような同じ文字の繰り返し、わかりやすい並びの文字など)を避けて設定してください。

6. [はい]をタッチする

セキュリティコードが設定されます。

本機を起動時にセキュリティコード入力画面が表示されたら

バッテリーコードが外されたあと本機を起動した場合などに、セキュリティコード入力画面が表示されます。

セキュリティコードを入力してください。
セキュリティコードを入力し、[決定]をタッチする

ロックが解除され、本機が再起動します。

セキュリティコードの設定を解除する

他人に譲渡する場合などは、セキュリティ設定を解除してください。

1. セキュリティ画面から[セキュリティ設定]の[OFF]をタッチする
2. セキュリティコードを入力し、[決定]をタッチする

セキュリティ設定が解除されます。

セキュリティインジケータを設定する

[セキュリティ設定]が[ON]に設定されているとき、セキュリティインジケータを点滅する／しないを設定できます。

セキュリティ設定画面から、[セキュリティインジケータ]の[ON]／[OFF]をタッチする

[セキュリティ設定]が[OFF]の状態では、セキュリティインジケータの設定を変更できません。


- < ☆ >が、セキュリティインジケータとして点滅します。

盗難多発地点案内の設定をする

セキュリティ設定画面から、各項目の[ON]
／[OFF]を選んでタッチする

項目	設定内容
[盗難多発地点表示案内]	[ON]：盗難多発地点を表示で案内する [OFF]：盗難多発地点を表示で案内しない
[市街地図での盗難多発地点表示案内]	[ON]：市街地図で盗難多発地点を表示で案内する [OFF]：市街地図で盗難多発地点を表示で案内しない

知識

- 盗難多発地点マーク()は盗難の危険が高い順に赤色→橙色→黄色で表示します。(地域により基準は異なります。)
➡ 地図表示記号(例)(P.45)
- [市街地図での盗難多発地点表示案内]は[盗難多発地点表示案内]を[ON]に設定している場合のみ設定できます。

盗難多発地点対応エリア

- 盗難多発地点は全国45都道府県(岩手県、徳島県を除く)に対応しています。
※地図更新をすると対応エリアが変更される場合があります。

画面の画質調整／サイズ切り替えをする

1. 調整したい画面を表示して、画質調整画面または画面調整画面が表示されるまで、**<現在地>スイッチを2秒以上押す**

2. **各項目を設定する**

調整する画面によっては、調整項目が明るさとコントラストのみになります。

項目	設定内容
[明るさ]	調整範囲(昼)：1～31 調整範囲(夜)：1～31
[コントラスト]	調整範囲：1～31
[色合い]	調整範囲：1～31
[色の濃さ]	調整範囲：1～31
[画面サイズ]	アスペクト比を調整 [ノーマル]：映像を4：3で表示します。*1 ※ 16：9の映像は横方向に圧縮されます。 [フル]：映像が画面全体で表示されるよう引きのばして表示します。 [ワイド]：映像を16：9で表示します。*1 ※ 4：3の映像は横方向に引きのばして表示されます。 * 1…映像の比率が本機画面の比率と異なるため、画面の一部が黒く表示される場合があります。

3. **[OK]をタッチする**

知識

- 別売の各カメラのモニター映像とAVソースの各映像画面については、画面ごとに個別で調整できます。(一部、調整結果が互いに連動する画面があります。)
- [初期値]をタッチすると、お買い上げ時の調整に戻します。
- 明るさ調整は車のライトがONのときとOFFのときとで別々に設定できます。
- 各AVソースの入力映像の縦横比によっては、アスペクト比の設定を変更しても映像サイズが変わらない場合があります。

音声はそのまま画面を消す

<メニュー>スイッチを押して、【情報・設定】→【システム情報・設定】→【画面消し】をタッチする

画面をもとに戻すには、<現在地><メニュー><AV>のいずれかを押すか、画面をタッチする

知識

- バックビューモニターを接続している場合、またはインテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)搭載車に本機を装着している場合、車のシフトレバーをリバースに入れると、画面消し(黒画面)中でも、モニター映像に自動的に切り替わります。
※シフトレバーをリバース以外に入れると、画面消し状態(黒画面)に戻ります。

取り付け・配線の確認

車両信号情報を確認する

本機が車側に正しく接続されていない場合、本機の機能が正常に働きません。
車両信号情報画面で接続の確認ができます。

1. <メニュー>スイッチを押して、【情報・設定】→【システム情報・設定】→【車両信号情報】をタッチする
2. 車両信号情報を確認する

項目	確認内容
[パーキングブレーキ信号]	正しく接続されていれば、車のパーキングブレーキをかけると「ON」に、解除すると「OFF」に変わります。
[リバース信号]	正しく接続されていれば、車のシフトレバーをリバースに入ると「ON」、解除すると「OFF」に変わります。 ※ バックビューモニターを接続している場合、またはインテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)搭載車に本機を装着している場合、車のシフトレバーをリバースに入るとモニター映像が表示されます。
[イルミネーション信号]* ¹	正しく接続されていれば、車のライト(イルミネーション)を点灯させると「ON」、消灯させると「OFF」に変わります。
[車速パルス]	正しく接続されていれば、走行後、数字が変化します。
[+B 電圧]	正しく接続されていれば、バッテリーの電圧が表示されます。 12 V(11 V~16 V)になっていますか？

* 1… 車種やグレードによっては、表示が車両のスイッチに連動しない場合があります。

■ センサー学習レベルを確認／初期化する

車両信号情報画面の以下の項目を確認する

項目	確認内容
[センサー学習レベル]	センサー学習レベルを確認でき ます。 距離：0～4 回転：未補正／補正中／補正完 3D：補正中／補正完
[センサー学習値初期化]	車速パルスと学習レベルを初期化 します。 初期化後は、車のエンジンを止め (ACC OFF)、約10秒以上過 ぎてから再度電源を入れてくだ さい。

拡張ユニット情報を確認する

1. <メニュー>スイッチを押して、【情報・設定】→【システム情報・設定】→【拡張ユニット情報】をタッチする
2. 拡張ユニット情報を確認する

項目	確認内容
[ナビ連動ETC2.0]	別売のETC2.0車載器を接続している場合、「接続済み」表示になっていますか？
[ドライブレコーダー]	別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーを接続している場合、「接続済み」表示になっていますか？

知識

- 正しい表示に変わらない場合は、【更新】をタッチすると、正しい表示に変わります。

本機の情報を確認する

利用開始日・無料地図更新の実施状況などを確認する

本機の利用開始日、地図データのバージョン、無料地図更新の実施状況や更新期限などを確認できます。

1. <メニュー>スイッチを押して、【情報・設定】→【システム情報・設定】→【システム情報】をタッチする
2. 各種情報を確認する
 - 利用開始日
 - 地図データバージョン
 - 無料地図更新(1回目)
 - 無料地図更新(2回目)
 - 無料地図更新(3回目)
 - 地図データクーポン
 - 部分地図更新有効期限
 - 部分地図更新最終実施日
 - ナビゲーションバージョン
 - ナビゲーションID
 - 地図更新ID

端末情報を確認する

本機の端末情報を確認できます。

1. <メニュー>スイッチを押して、**[情報・設定]**→**[システム情報・設定]**→**[端末情報]**をタッチする
2. 端末情報を確認する
 - 端末の状態
 - － IPアドレス
 - － Wi-Fi MACアドレス
 - － 稼働時間
 - － 位置情報
 - 法的情報：各種ライセンス情報など
 - モデル番号：本機の機種品番
 - Android™バージョン
 - カーネルバージョン
 - ビルド番号

各種設定をお買い上げ時の状態に戻す

1. <メニュー>スイッチを押して、**[情報・設定]**→**[システム情報・設定]**→**[初期化]**をタッチする
2. 初期化する項目をタッチする

初期化したい項目

[SDカードの初期化]	microSDカード*1を初期化する
[TVの初期化]	TVで設定した内容を初期化することができます。
[キーボード学習結果の初期化]	キーボードの学習機能を初期化することができます。
[出荷状態に戻す]	本機のすべての設定*2をお買い上げ時の状態に戻すことができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● AVがOFFに切り替わります。

*1…NTFS ファイルシステムは初期化できません。

*2…日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定は初期化されません。

3. **[はい]**をタッチする

[キーボード学習結果の初期化]をタッチした場合は、ここで初期化されます。

4. **[はい]**をタッチする

選んだ項目が初期化されます。

TVの初期化を行った場合は、車のエンジンを止め(ACC OFF)、ボタン照明が消えて約10秒経過してから、再度車のエンジンをかけてください(ACC ON)。

上記以外の項目の初期化について

以下の項目を初期化するには、下記ページをご覧ください。

- 日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定の初期化
- ➡ 日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定をする (P.116)

注意

- 初期化中はAVソースを切り替える、車両のキースイッチ(電源ポジション)を切り替えるなど他の操作をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化すると、選んだ項目は消去され、もとに戻せません。すでにデータが書き込まれているmicroSDカードを初期化すると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することが無いように、ご注意ください。(microSDカード内すべてのデータが消去されます。)

知識



- 他人に譲渡または処分などされる際は、お客様が入力された個人情報(登録地の住所や電話番号など)の登録情報は必ず削除してください。
- 本機を別の車に載せかえた場合や、タイヤを交換またはローテーションした場合は、センサー学習値初期化をしてください。
- 🔍 車両信号情報を確認する(P.144)
- バッテリー交換をした際には、下記の設定が初期化されます。
 - － AV OFF / ON
 - － AM・FMの周波数
 - － SD(音楽/動画)の再生位置
 - － SDの再生モード

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。修理を依頼される前に、下記内容をチェックしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止して日産販売会社にご連絡ください。

電源・共通

	症状	考えられる原因	処置
動作	電源が入らない(動作しない)	各リード線や各コネクタが正しく接続されていない。	日産販売会社にご相談ください。
	タッチパネルの反応が悪い／反応しない	フリック／ドラッグ／ピンチ／2点タッチ／ダブルタップ／2点ドラッグ／回転ドラッグの操作をしている。	画面によっては、左記の操作ができません。
		指の腹でタッチしている。	指の先でタッチしてください。指の腹でタッチすると、2点タッチなどと誤動作することがあります。
		爪でタッチしている。	指の先でタッチしてください。爪でタッチすると、反応しない場合があります。
		指の動きより遅れて反応している。	故障ではありません。指の動きより遅れて反応する場合があります。
		手袋をして操作している。	素手でご使用ください。手袋をして操作すると反応しない場合があります。
	金属を近づけたり、水滴が付いている。	故障ではありません。金属を近づけたり、水滴が付いている場合は反応しないことがあります。	
microSDカードを挿入しても本機が認識しない	タッチ操作が速い。	ゆっくり操作してください。	
	本機または専用フォーマッター以外でフォーマットしたmicroSDカードを使用している。	microSDカードを本機で初期化するか、専用フォーマッターでフォーマットしてください。本機または専用フォーマッター以外でフォーマットしたmicroSDカードは、本機では認識しない場合があります。 ➡ 各種設定をお買い上げ時の状態に戻す(P146) ➡ microSDカードについて(P180)	
	認識しないmicroSDカードを使用している。	別のカードをお試しください。microSDカードによっては認識しない場合があります。	

	症状	考えられる原因	処置
動作	本機に登録した情報が消失している	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の使用を誤った。 ● ノイズの影響を受けた。 ● 修理を依頼したなどにより本機に登録した情報が消失する場合がある。 	消失したデータについては補償できません。
	時計表示が「--:--」と表示される	GPS衛星からの時刻情報を受信できていない。	GPS衛星からの電波が安定するまでお待ちください。見晴らしのよい場所を一定速度でしばらく走行し、GPS衛星電波を受信してください。
画面／映像	映像が暗い／白っぽい／色あいが悪い／色が薄い	<p>画質調整が適切でない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 車両側のオートライトにより、ライトが点灯している。 ● ライトをONにした。 	<p>各項目を調整してください。</p> <p>➡ 画面の画質調整／サイズ切り替えをする(P143)</p> <p>画面の明るさはライト(イルミネーション)に連動します。(トンネル内など画面が急に暗くなります。)</p>
	画面に赤、青または緑の点や、光る点がある	液晶パネルは99.99 %以上の有効画素があるが、0.01 %以下の画素欠けや常時点灯等が生じることがある	故障ではありません。
	地図画面全体が黄色の透過色で表示される	表示されている地図画面全体が、VICS情報の範囲表示(黄色の透過色)の対象エリアとなっている。	<p>故障ではありません。地図画面の[](広域)をタッチして、地図の縮尺を広域に変更すると、対象エリアの範囲を確認できます。</p> <p>※ VICS情報の範囲表示については、下記をご覧ください。</p> <p>➡ 地図上に表示されるVICS情報(レベル3)(P42)</p>
	地図画面全体が赤色の透過色で表示される	表示されている地図画面全体が、VICSの緊急情報(特別警報)などの範囲表示(赤色の透過色)の対象エリアとなっている。	<p>故障ではありません。地図画面の[](広域)をタッチして、地図の縮尺を広域に変更すると、対象エリアの範囲を確認できます。</p> <p>※自動割り込み表示については、下記をご覧ください。</p> <p>➡ 緊急情報(特別警報)を受信すると(P68)</p>
	画面が乱れる	本機の近くにスマートフォンや無線機がある。	スマートフォンや無線機が通信に使う電波の影響などにより画面が乱れる場合がありますので、本機と離してください。
	ディスプレイに何も表示されない／ナビゲーションの映像が表示されない	<p>HDMI／VTRソースになっている。</p> <p>一時的に画面を消している(画面消し)。</p>	<p>外部機器の電源を入れる、または他のソースに切り替えてください。(HDMI／VTR未入力時は黒い画面になります。)</p> <p>➡ 再生／視聴するAVソースを選ぶ(P74)</p> <p><現在地><メニュー><AV>のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。</p> <p>➡ 音声はそのまま画面を消す(P144)</p>

	症状	考えられる原因	処置
画面／映像	音声は出るが、映像が出ない	一時的に画面を消している(画面消し)。	<現在地><メニュー><AV>のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。 ➡ 音声はそのまま画面を消す(P144)
		パーキングブレーキをかけていない。	安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてください。
音声	左右前後のいずれかの音が出ない	フェーダー/バランスが片方に寄っている。	フェーダー/バランスの設定を確認してください。 ➡ フェーダー/バランスの出力レベルを調整する(P81)
	音が出ない	音量が小さい、または“0”になっている。本機の近くにスマートフォンや無線機を置いている。	<音量+/->スイッチで調整してください。 妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。
	雑音が出る 音量が勝手に変わる	スマートフォンなどの影響を受けている。車速連動音量が[LOW]/[MID]/[HIGH]になっている。	スマートフォンなどを本機から離してください。 車速連動音量を[OFF]に設定してください。 ➡ 車速連動音量を設定する(P80)

ナビゲーション

	症状	考えられる原因	処置
案内	音声案内されない／AVソースの音声は出力されるのに、ナビゲーションの音声案内が出力されない	音量設定で、[ナビ案内音]の音量が「0」に設定されている。	[ナビ案内音]の音量を調整してください。 ➡ 音量を設定する(P21)
		ルートから外れている。	フェーダー/バランスの設定を確認してください。 ➡ フェーダー/バランスの出力レベルを調整する(P81)
			現在地画面で自車がルート上にあるかを確認し、ルートに戻ってください。 ➡ 現在の地図表示(P32)
		再探索してください。 ➡ もう一度ルートを探索する(P59)	
ルートに対して逆走行している。	目的地の方向を確認してください。 ➡ 地図モード画面(P34)		
再探索してください。 ➡ もう一度ルートを探索する(P59)			
ルート設定時に料金表示されない	ルートが有料道路上から始まっている。	故障ではありません。有料道路上で自動再探索や再探索してルートが有料道路上から始まっているときは、料金案内されない場合があります。	

困ったとき

	症状	考えられる原因	処置
案内	有料道路以外で有料案内する	地図データで有料道路判定されている。	故障ではありません。地図データで有料道路判定をするため、最近無料化された道路などは、実際と異なり有料案内することがあります。
		有料道路の手前で音声案内している。	故障ではありません。料金所が入口付近になくても、有料道路の手前で音声案内します。
動作	高速道路を走行中に一般道路の案内をする／一般道路を走行中に高速道路の案内をする	高速道路と一般道路が平行にあるときは、誤った道路が案内されることがあります。	ランチャーから、[道路切替] をタッチしてください。 ➡ 走行中の道路を誤って認識したとき(道路切替)(P47)
	一般道優先で探索しているのに、有料道路上にルートを作る	現在地と目的地の場所によっては、一般道優先で探索しても有料道路上にルートを作ることがあります。(故障ではありません。)	通りたい一般道路上に経由地を設定してください。 ➡ 検索した施設を目的地・経由地に設定する(P53) ➡ ルートを編集する(P54)
	登録地が登録されない／設定が変更されない／探索したルートが削除された	操作のあと、すぐに電源を切った。	再操作してください。
表示	[←] をタッチしても、前の画面に戻らない	[←] をタッチしても前の画面に戻らない画面で操作した。	故障ではありません。画面によっては、[←] をタッチしても前の画面に戻らない場合があります。
	地図画面上でフリック／ドラッグ以外の操作ができない	フリック／ドラッグ操作でスクロール中は、画面上でそれ以外の操作はできません。	約1秒間何も操作せずに、地図モード画面になってから操作してください。
	地図画面上の方位ボタンのGPS受信表示がいつまでも赤色のままになっている	GPSアンテナ上に雪や物などが覆い被さって、GPS衛星からの電波が受信できない。 GPS衛星の受信感度が悪い。	雪や物などを取り除いてください。 GPS衛星からの電波が安定するまでお待ちください。 見晴らしのよい場所を一定速度でしばらく走行し、GPS衛星電波を受信してください。
VICs 情報が表示されない(FM VICs)	VICs を放送している放送局を受信していない。	VICs を放送している放送局を受信してください。 ➡ FM多重放送の選局をする(VICs受信)(P69)	
	FMの電波が弱い。	障害物(トンネルやビルの陰など)のない場所に移動してください。 電波の強い周波数の放送局を選局してください。 ➡ FM多重放送の選局をする(VICs受信)(P69)	
	地図に表示するVICs情報の保持時間が過ぎた。 VICsのサービス外の地図を表示している。	新しい情報を再受信するまでお待ちください。 VICsのサービスを行っている圏内の地図を表示し確認してください。	

	症状	考えられる原因	処置
表示	ランドマークの表示が実際と異なる	地図データが古い。	地図ソフトが古い場合があります。部分地図更新を行うか、日産販売会社にご相談ください。 ➡ 地図を更新する(P.71)
自車マーク	現在地が正しく表示されない	走行条件やGPS衛星の受信状態により、表示誤差が生じた。	見晴らしのよい場所を一定速度でしばらく走行し、GPS衛星電波を受信してください。
	自車を移動しても地図がスクロールしない	現在地画面になっていない。	<現在地>スイッチを押してください。
	自車マークが表示されない		
	自車位置精度が悪い	タイヤチェーンの装着、本機のお車への載せ替えなどにより、車速パルスからの車速推定にずれ(進みや遅れ)が発生した。 GPS内蔵レーダー探知機を設置している。	見晴らしの良い道路をしばらく走行すると自動的に調整されます。または、センサー学習結果の初期化を行ってください。 ➡ 各種設定をお買い上げ時の状態に戻す(P146) GPS内蔵レーダー探知機を使用しないでください。

AV[TV]

	症状	考えられる原因	処置
映像/音声	映像も、音声も出ない	受信状態が悪い。	車のある場所や方向により、受信状態が変化します。受信状態の良い場所に移動してください。
	電源を入れても映像がすぐに出ない	ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかっている。	故障ではありません。
	映像や音声が(ときどき)出なくなる/静止する、音声が遅れて聞こえる	車のある場所や方向により受信状態が変化した。	故障ではありません。視聴中に、受信状態により「黒色」画面になることがあります。
		自動車/バイク/高圧線/ネオンサイン等の近くを車が通過したとき、アンテナレベルが低下することがあります。	故障ではありません。
		地上デジタル放送の受信状態が良くないときに、受信モードが「地上D」になっている。	地上デジタル放送の電波が弱い地域では、受信モードを「ワンセグ」に切り換えてください。(ワンセグに切り換わるときに、映像や音声が一時的にとぎれたり、遅れたりする場合があります。) ➡ 操作画面の見かた(P.84)
地上デジタル放送が受信できない/受信状態が悪い	地上デジタル放送の放送エリア外にいる。または、受信障害がある環境にいる。長距離移動などで現在のチャンネル設定では受信できない場所にいる。	放送エリア外では受信できません。また、受信障害がある場合は、放送エリア内でも受信できない場合があります。ユーザープリセットのスキャンを行ってください。 ➡ ユーザープリセットのチャンネル設定をする(P.87)	

AV[FM/AM]

	症状	考えられる原因	処置
音 声	ラジオが受信できない/ノイズが多い	放送局の電波が弱い。	放送局を変えてください。 ➡ ラジオ (FM/AM) を聴く (P.91)
		ラジオアンテナが十分に伸びていない。	ラジオアンテナが十分に伸びているか確認してください。
		周波数再編が実施された。(これまで受信できた放送局が受信できなくなった)	新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。 ➡ ラジオ (FM/AM) を聴く (P.91)
		エアコンやワイパー動作に連動したノイズが発生している。	車両側の電装品の動作を止めてください。電装品が動くときノイズが入る場合があります。
	本機の近くにスマートフォンや無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので、なるべく本機から離してご使用ください。また、使用しない場合はスマートフォンや無線機の電源を切ってください。	

AV[レコーダーリンク]

	症状	考えられる原因	処置
動 作	再生が途切れるなど安定しない	圏外または電波が弱い。	電波の強い場所へ移動してください。
	レコーダーと接続できなくなった	本機とスマートフォンがWi-Fi接続できていない。	本機とスマートフォンがWi-Fi接続しているか、ステータスバーのアイコンで確認してください。 ➡ ステータスバー (P.33) ※ Wi-Fi接続ができない場合は以下をご覧ください。 ➡ Wi-Fi (P.160)
		本機とレコーダーとの通信が安定しない。	スマートフォンアプリを操作して、スマートフォンと本機の接続をいったん解除し、再接続してください。 ➡ レコーダーの映像を見る (P.92)

AV[SD]

	症状	考えられる原因	処置
動作	[SD]がタッチできない	microSDカード未挿入である。	microSDカードを挿入してください。 ➡microSDカードを挿入する/取り出す(P97)
	再生するまで時間がかかる	記録されているフォルダ/ファイル階層が多い。	本機が対応していない形式のファイルや必要ないフォルダなどは、書き込まないようにしてください。 ➡音楽データの規格について(P184) ➡再生可能な動画ファイルについて(P189)
		ファイルのサイズが大きすぎる。	故障ではありません。サイズが大きいファイルは、読み込みに時間がかかります。
	再生できない	microSDカードによっては、認識しないものもあります。別のmicroSDカードをお試しください。	本機に対応したメディアを再生してください。 ➡microSDカードについて(P180) ➡音楽データの規格について(P184) ➡再生可能な動画ファイルについて(P189)
		使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって、正しく再生されない場合があります。	故障ではありません。
		本機で再生できない規格データを再生しようとした。	データが本機で再生できる規格かを確認してください。 ➡音楽データの規格について(P184) ➡再生可能な動画ファイルについて(P189)
		ファイルが破損している。	本機が再生できる形式で、ファイルを作りなおしてください。 ➡音楽データの規格について(P184) ➡再生可能な動画ファイルについて(P189)
		ファイルの形式と拡張子が合っていない。	ファイルの形式と拡張子が合っていないファイルは再生しないでください。 ➡音楽データの規格について(P184) ➡再生可能な動画ファイルについて(P189)
結露している。	microSDカードを取り出して電源を切った状態でしばらく放置してから使用してください。		

困ったとき

	症状	考えられる原因	処置
映像 / 音声	音質が悪い(音が飛ぶ)画質が悪い(画像が乱れる)	音質・画質は、使用したエンコーダソフトやオーサリングソフト、ビットレートなどの設定などにより異なります。	詳しくは、エンコーダソフトの説明書をご覧ください。 ➡ 音楽データの規格について(P184) ➡ 再生可能な動画ファイルについて(P189)
	音声のみ再生される / 映像のみ再生される	—	データが本機で再生できる規格が確認してください。 ➡ 再生可能な動画ファイルについて(P189)
表示	ファイル名・フォルダ名が正しく表示されない / 曲情報が正しく表示されない	文字種・文字数が規格に準拠していない。 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって文字などが正しく表示されない場合があります。	規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。 故障ではありません。
	再生経過時間の表示が実際と一致していない	再生中、ACCをOFFにした。 可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。	他のファイルを選んで再生すると、正常に戻ります。 故障ではありません。

BLUETOOTH®

	症状	考えられる原因	処置
接続	スマートフォンを本機に機器登録できない	スマートフォンの BLUETOOTH® 通信がOFFに設定されている。	スマートフォンを操作して、 BLUETOOTH® をONに設定してください。
		本機の BLUETOOTH® 機能がOFFに設定されている。	本機の BLUETOOTH® 機能をONに設定してください。 ➡ 本機のBLUETOOTH®機能をON / OFFする(P29)
		スマートフォンがA2DP(Advanced Audio Distribution Profile)に対応していない。	A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)に対応したスマートフォンを登録してください。
		スマートフォンがHFP(Hands-Free Profile)に対応していない。	HFP(Hands-Free Profile)に対応したスマートフォンを登録してください。
		スマートフォンのファームウェア(ソフトウェア)を最新ではない。	スマートフォンのファームウェア(ソフトウェア)を最新にすると、登録できるようになる場合があります。
音声	音質が悪い(音がゆがむ・ノイズが発生する)	本機の近くに、他のスマートフォンや2.4GHz帯を使用する機器がある。	混信するため、他の機器を本機から離してください。 ➡ BLUETOOTH®について(P181) それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。
		スマートフォンの電池残量が少ない。	充電してください。

	症状	考えられる原因	処置
接続	本機に接続できない	スマートフォンが本機に機器登録されていない。	機器登録してください。 ➡ <u>スマートフォンを本機に登録する (P27)</u>
		スマートフォンがHFP(Hands-Free Profile)に対応していない。	スマートフォンがHFP(Hands-Free Profile)に対応していないと BLUETOOTH® 接続できません。(機種によっては、HFPに対応していなくても本機に登録される場合があります。)
		スマートフォンが本機から遠い。	スマートフォンを本機に近づけてください。
		障害物等の影響で通信距離が短くなるおそれがあります。特に金属や人体(ポケットなどに入れている時など)に近接すると途切れたり通信不能になる場合があります。	スマートフォンと見通しの良い状態で通信を行ってください。
		BLUETOOTH® 対応の周辺機器(ヘッドフォン等)や無線LAN、その他無線機器などの電波を発する機器が多い環境、その他電波状態の悪い環境で使用している。	電波状態の悪い環境で使用しないでください。 接続が頻繁に途切れたり、通信不能になる場合があります。
	自動接続が完了していない。	スマートフォンが本機と自動接続されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。	
その他	登録したスマートフォンが自動的に本機と再接続されない	本機の BLUETOOTH® 機能がOFFに設定されている。	本機の BLUETOOTH® 機能をONに設定してください。 ➡ <u>本機の BLUETOOTH® 機能をON/OFFする (P29)</u>
		スマートフォンが省電力モードに設定されている。	一定時間経過後に自動的に BLUETOOTH® 接続が解除される場合があります。スマートフォンの設定を変更してください。
		スマートフォンを操作して、 BLUETOOTH® による本機との接続を解除した。	再度本機と BLUETOOTH® 接続してください。 それでも BLUETOOTH® 接続できない場合は、本機からスマートフォンの登録を削除し、スマートフォンの登録機器リストから本機を削除して、機器登録からやりなおしてください。 ➡ <u>登録したスマートフォンの登録を消去する (P29)</u> ➡ <u>スマートフォンを本機に登録する (P27)</u>
		スマートフォンが操作待ちになっている。(機種によっては、本機からの BLUETOOTH® 接続に対し、確認操作が必要な場合があります。)	スマートフォンを操作して BLUETOOTH® 接続を許可してください。
	本機の近くに、他のスマートフォンや2.4GHz帯を使用する機器がある。	混信するため、他の機器を本機から離してください。 ➡ <u>BLUETOOTH® について (P181)</u> それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	

	症状	考えられる原因	処置
接続	登録したスマートフォンが自動的に本機と再接続されない	スマートフォンが金属物に触れている。	スマートフォンと金属物を離してください。
		スマートフォンと本機の間には障害物がある。	障害物を取り除いてください。
		スマートフォンが本機から遠い。	スマートフォンを本機に近づけてください。
		BLUETOOTH®による自動接続に失敗した。	いったんスマートフォンの電源を切り、再度電源を入れてください。 それでも BLUETOOTH® 接続できない場合は、本機からスマートフォンの登録を削除し、スマートフォンの登録機器リストから本機を削除して、再度機器登録からやりなおしてください。 ➔ <u>登録したスマートフォンの登録を消去する(P29)</u> ➔ <u>スマートフォンを本機に登録する(P27)</u>
		スマートフォンが BLUETOOTH® 接続待機状態になっていない。	スマートフォンが BLUETOOTH® 接続待機状態でないと、本機と BLUETOOTH® 接続されません。スマートフォンを接続待機状態に設定してください。
		スマートフォンが自動接続に対応していない。	本機から手動で接続してください。 ➔ <u>スマートフォンを本機に登録する(P27)</u>
	スマートフォンがハンズフリー接続待機状態になっていない。	スマートフォンがハンズフリー接続待機状態でないと、本機とハンズフリー接続されません。スマートフォンを接続待機状態に設定してください。	
スマートフォン連携	NaviCon® アプリのデータを本機で取得できない	スマートフォンが本機に正常に接続されていない。	BLUETOOTH® 接続状態を確認してください。 スマートフォンをハンズフリー接続してください。 ➔ <u>BLUETOOTH® 接続する機器で使用する機能を変更する(P28)</u> BLUETOOTH® 接続をいったん解除してから、再接続してください。 ➔ <u>BLUETOOTH® 接続する機器で使用する機能を変更する(P28)</u>
		—	手動で BLUETOOTH® 接続を解除してください。 ➔ <u>BLUETOOTH® 接続する機器で使用する機能を変更する(P28)</u>
	NaviCon® アプリを終了しても BLUETOOTH® 接続が解除されない	—	➔ <u>BLUETOOTH® 接続する機器で使用する機能を変更する(P28)</u>
	スマホ連携の接続が完了しない	—	接続をいったん中止し、再接続してください。 ➔ <u>BLUETOOTH® 接続する機器で使用する機能を変更する(P28)</u>
	スマホ連携の切断が完了しない	—	スマートフォンを操作して切断してください。

	症状	考えられる原因	処置
ハンズフリーフォン	本機に機器登録されたスマートフォンでハンズフリー通話できない	通話がスマートフォンに切り替わっている。	[ハンズフリー切替]をタッチし、ハンズフリー通話に切り換えてください。 ➡ ハンズフリーフォンで通話する (P.126)
		スマートフォンのサービス圏外で使用している。	サービス圏内で使用してください。
		BLUETOOTH® による接続がされていない。	再接続して下さい。 ➡ BLUETOOTH® 接続する機器で使用する機能を変更する (P.28)
		スマートフォンがマナーモードになっている。	機種によっては、マナーモードに設定していると本機から着信音が出力されない場合があります。マナーモードを解除してください。
ハンズフリー通話中、エコーやハウリングが起こる	—	受話音量を下げてください。 ➡ 音量を設定する (P.21)	
通話中、相手の音声聞き取りにくい	自分と相手が同時に発声した。	交互に話してください。 受話音量を上げてください。 ➡ 音量を設定する (P.21)	
着信履歴から発信できない	番号非通知の相手にかけようとした。	番号非通知の相手には発信できません。	
	国際電話を受けた。	スマートフォンの契約によっては、国際電話への発信ができない場合があります。	
	スマートフォンの機種によっては、相手先の電話番号を本機に通知しないものがあります。	スマートフォンの着信履歴から直接発信してください。	
通話音量が大きすぎる・小さすぎる／通話しづらい	マイクと話者の距離が近いまたは離れている。	適切な距離でお話してください。	
	エアコンの送風音をマイクが拾っている。	エアコンの送風を弱くするか、止めてください。	
スマートフォンの通話中に、自動的にハンズフリー通話に切り換わる／本機と接続中、スマートフォンで通話できない	機種によっては、 BLUETOOTH® により接続されると自動的にハンズフリー通話しかできなくなる場合があります。	スマートフォンで通話するときは、スマートフォンを操作して本機との BLUETOOTH® 接続を解除してください。	
走行中にハンズフリー通話していたら、回線切断のメッセージが表示された	スマートフォンの電波が弱い。	電波の状態が良い場所でご使用ください。	
電話帳転送ができない	スマートフォンがPBAP(Phone Book Access Profile)に対応していないと、電話帳転送できません。	故障ではありません。	

	症状	考えられる原因	処置
BLUETOOTH® Audio	BLUETOOTH® Audio画面から操作できない(再生はできる)	スマートフォンがAVRCP(Audio/Visual Remote Control Profile)に対応していない。	AVRCPに対応していないと、本機から操作できません。スマートフォンで操作してください。 (機種によっては、AVRCPに対応していても一部の操作ができない場合があります。)
	再生できない	接続機器や音楽再生アプリによっては、本機での操作を受け付けられない場合があります。	本機画面の[▶]を押しても再生できない場合は、接続機器側の再生ボタンを押すことで、再生できる場合があります。
	音量が小さい	スマートフォンの音量が小さい。	スマートフォンの音量を調整してください。
	音質が悪い(音がゆがむ、音が途切れる、ノイズが発生する)	スマートフォンが本機から遠い。	スマートフォンを本機に近づけてください。
その他	P.155～P.159の処置をしても問題が解決しない/その他の問題がある	—	<p>いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。</p> <p>いったんスマートフォンの電源を切り、再度電源を入れてください。</p> <p>機器登録を削除し、再登録してください。</p> <p>➡ 登録したスマートフォンの登録を消去する(P.29)</p> <p>➡ スマートフォンを本機に登録する(P.27)</p> <p>それでも解決しない場合は、お買い上げの日産販売会社にご相談ください。</p>

Wi-Fi

	症状	考えられる原因	処置
動作	スマートフォンを本機に機器登録できない	本機のWi-Fi機能がOFFになっている(Wi-Fi設定のON/OFF)。	本機のWi-Fi機能をONに設定してください。 ➡ <u>本機のWi-Fi機能のOFF/ONを切り替える(P.30)</u>
		スマートフォンのテザリングモードがOFFになっている。 スマートフォンがテザリングに対応していない。	スマートフォンを操作してWi-Fiテザリングを設定してください。 本機でWi-Fi機能はご使用になれません。
	登録したスマートフォンが自動的に本機と再接続されない	本機またはスマートフォンのWi-Fi機能がOFFになっている。 スマートフォンのテザリングモードがOFFになっている。	本機およびスマートフォンのWi-Fi機能を有効にしてください。 ➡ <u>本機のWi-Fi機能のOFF/ONを切り替える(P.30)</u> スマートフォンを操作してWi-Fiテザリングを設定してください。
本機に接続できない	スマートフォンが本機に機器登録されていない。	機器登録してください。 ➡ <u>スマートフォンを本機とWi-Fiネットワーク登録する(P.29)</u> ステータスバーのWi-Fiの接続状態を確認してください。 ➡ <u>ステータスバー(P.33)</u>	

音声認識

	症状	考えられる原因	処置
動作	音声認識を起動できない	—	スマートフォンを本機とWi-Fi接続してください。 ➡ スマートフォンを本機とWi-Fiネットワーク登録する (P.29)
	サーバーへの接続が失敗する	スマートフォンの電波状況によりサーバーに接続できなくなることがあります。	場所を移動して、電波状況の良い場所でお使いください。 しばらくしてから接続を行ってください。
	誤認識が多い	—	車の窓を閉め、同乗者に会話を控えてもらい、適正な音量ではっきり発声してください。 ➡ 認識率を良くするために (P.137)
	音声認識に失敗する	—	効果音が鳴ってから、続けて発声してください。 声が小さすぎると認識されません。適正な音量ではっきり発声してください。 ➡ 認識率を良くするために (P.137)
	音声が出力されない	—	本機の音量が小さい場合は、音量を調整してください。 ➡ 音量を設定する (P.21)

HDMI

	症状	考えられる原因	処置
映像 / 音声	音声が出ない	本機と接続した機器が、本機以外の機器とBLUETOOTH®接続している。	本機以外の機器とのBLUETOOTH®接続を解除してください。
	映像が出ない	正しく接続されていない。	接続を確認してください。 ➡ 外部機器の接続について (P.101)

地図更新

	症状	考えられる原因	処置
動作	スマートフォンから更新データを送信できない	完了していない更新データがある状態で、地図更新をしようとした。	前回行った更新を完了させてから、再度地図更新をしてください。 ➡ スマートフォンで部分地図更新をする (P.72)

その他

	症状	考えられる原因	処置
バックビューモニター	映像が出ない	シフトレバーがリバースの位置になっていない。	シフトレバーがリバースの位置になっているか確認してください。
	映像の映りが悪い	カメラのレンズが汚れている。 太陽光や後続車のヘッドライトの光が直接カメラレンズ面にあたっている。	水を含ませた柔らかい布等で軽く拭いてください。 レンズ面に当たっている光が消えれば元に戻ります。
	映像が暗い	画面の明るさ等が正しく調整されていない。	画面の明るさ等の調整を行ってください。 ➡ 画面の画質調整／サイズ切り替えをする(P143)
	目安線が表示されない	目安線が非表示になっている。	目安線を表示してください。 ➡ 目安線の表示／非表示を切り替える(P106)
インジケントラフィックモニター 移動物検知機能付(※)	映像が表示されない	車の速度が表示条件を満たしていない。 ● 接続に異常がある。 ● 接続した機器のヒューズが切れている。	減速してください。 ※表示条件は車両取扱説明書をご覧ください。 日産販売会社にご相談ください。
	映像の映りが悪い	レンズが汚れている。	水を含ませた柔らかい布等で軽く拭いてください。
	画面上に×や！マークが表示される	エラーが発生している。	日産販売会社にご相談ください。
ドライブレコーダー	映像が表示されない	ドライブレコーダーが起動していない。	ドライブレコーダーの取扱説明書に従って起動してください。
	ドライブレコーダーの操作や設定ができない	日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー以外のドライブレコーダーを接続している。	本機でドライブレコーダーの操作や設定ができるのは、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーを接続している場合のみです。

	症状	考えられる原因	処置
後席専用モニター	映像が出ない	TVやSD(動画)などのAVソースを選んでいる。	地図画面、ラジオ(FM/AM)などは後席専用モニター側では黒画面が表示されます。映像表示が可能なAVソースを選んでください。 ➡ 後席専用モニターに表示できる映像について(P183)
		AVソースを切り替えた。	AVソースを切り替えた直後は、数秒間黒画面が表示される場合があります。故障ではありませんので映像が表示されるまでしばらくお待ちください。

* 1…日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーに関しては、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

こんなメッセージが表示されたら

	メッセージ表示	考えられる原因	処置
こ	更新が中断されました。	本機に送信した更新データと本機の情報が合っていない。	いったん本機とスマートフォンのWi-Fi接続を解除して、再度Wi-Fi接続してください。 ➡ Wi-Fi接続する機器を変更する(P.30) スマートフォンで地図更新アプリを起動して「同期されました」と表示されたら、更新データのダウンロードからやりなおしてください。 ➡ スマートフォンで部分地図更新をする(P.72)
	このファイルは再生できません。	再生できない形式の音楽データを再生した。	ファイルを確認してください。
さ	再生可能なファイルがありません。	異常のある動画を再生した。 再生できるファイルがない。	ファイルを確認してください。 再生できるファイルのあるメディアを挿入してください。
	車速信号が検出できません。車速信号コードの接続をご確認ください。	—	お買い上げの日産販売会社に依頼し、車速信号コードまたは車速信号中継コードの接続を確認してください。
し	受信できません(OO20)	地上デジタル放送 / ワンセグの受信レベルが低い。	受信できる場所に移動してください。
	受信できません(E202)	地上デジタル放送 / ワンセグの電波を受信できていない。	受信できる場所に移動してください。
	受信できません(E203)	地上デジタル放送 / ワンセグの受信レベルが非常に低い。	受信できる場所に移動してください。
	情報を受信していません。	放送休止のチャンネルを見ている。 VICIS 情報がない。	視聴できるチャンネルを選んでください。 FM VICIS チューナーの周波数設定を確認してください。
	走行中はスクロールできません。	市街地図を表示した状態で、走行中に地図をスクロールした。 パーキングブレーキをかけているにもかかわらず、メッセージが表示される場合は、サイドブレーキコードが正しく接続されていない。	安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてご覧ください。 お買い上げの日産販売会社に依頼し、サイドブレーキコードの接続を確認してください。

	メッセージ表示	考えられる原因	処置
ち	地図の更新ができませんでした。 再度更新処理を行ってください。	スマートフォンを利用した地図の更新に失敗した。	スマートフォンのテザリングをOFFにし、再度ONにしてスマートフォンと本機をWi-Fi接続してください。 ➡ スマートフォンを本機とWi-Fiネットワーク登録する (P.29) スマートフォンで地図更新アプリを起動して「同期されました」と表示されたら、更新データのダウンロードからやりなおしてください。 ➡ スマートフォンで部分地図更新をする (P.72)
て	電源を入れ直してください。 電話帳データの件数が多すぎます。 最大2000件の電話帳データを読み込むことができます。	アンブに異常が発生した。 電話帳データの件数が多すぎる。	いったん本機の電源を切って、再度電源を入れてください。 最大2000件の電話帳データを読み込むことができます。
と	ドライブレコーダーと接続できません。 (ID:D01)	日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーと通信エラー、コネクタ部の接触不良、ワイヤーの断線、コネクタの抜けが発生している。	本機の電源を入れなおしてください。日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの操作については日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。 電源を入れ直しても改善されない場合はお買い上げの日産販売会社にご相談ください。
は	配線の不良または機器の故障の可能性があります。お買い上げの販売会社またはお近くのサービス窓口にご相談ください。	本機が故障している。	スピーカーおよびその配線関係に異常がないか、お買い上げの日産販売会社にご相談ください。 スピーカーや配線異常がない場合は、本機の故障の可能性があります。お買い上げの日産販売会社に修理をご依頼ください。
E	ETCエラーコード：XX (XXには数字が入ります)	原因と処置については別売のETC2.0車載器の取扱説明書をご覧ください。	

本体リセット機能について

画面が正しく表示されない、操作しても反応しないなど正常に動作しないときは、いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。

それでも正常に戻らない場合は下記の操作で本体リセットを行い、再起動させてください。

<AV>スイッチを長押し(15秒)する

- セキュリティコードを設定している場合、本体リセットを行うと再起動時にセキュリティコード入力画面が表示されます。

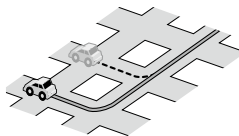
➡ 本機を起動時にセキュリティコード入力画面が表示されたら(P141)

GPS 電波受信と現在地測位

現在地測位について

- 本機はGPS衛星から送信された電波を利用して、現在地を測位しています。また自律航法やマップマッチングを行って、測位誤差を補正しています。
- 本機は準天頂衛星システム「みちびき」も利用して、現在地を測位しています。GPSを補い、より安定した測位を行います。
- 本機表示の現在地や進行方向は、以下のような走行条件などによってずれることがあります。故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示に戻ります。

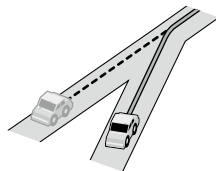
碁盤目状の道路や近くに似た形状の道路がある場所を走行しているとき



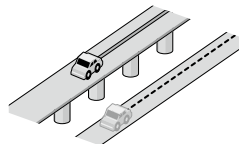
S字の連続する道路を走行しているとき



角度の小さなY字路を走行しているとき



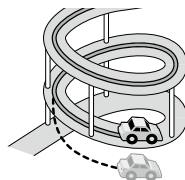
高速道路と一般道路が近くにあるとき



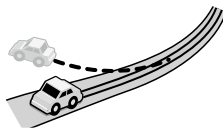
勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行したとき



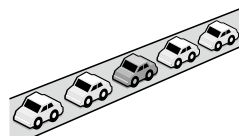
らせん状の道路などを走行しているとき



直線や緩やかなカーブを長距離走行しているとき



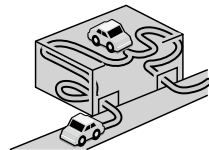
渋滞や駐車などで、低速で発進や停車を繰り返したとき



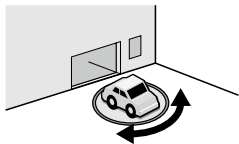
砂利道や雪道などで、タイヤがスリップしたとき



旋回、切り返しを繰り返したとき



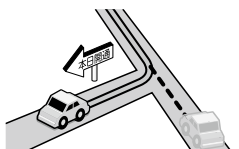
本機の電源が切れている間にターンテーブルなどで旋回したとき、また立体駐車場から出てきたとき



地下駐車場やトンネルなど、GPS衛星による測位が長時間できないとき



地図画面に表示されない道路上の走行や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路などを走行しているとき



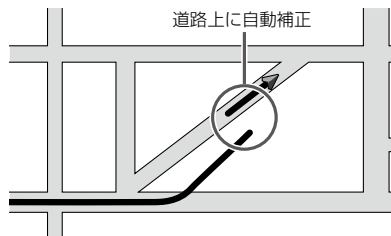
知識

自律航法とは

本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出す方法

マップマッチングとは

現在地測位をして道路以外の場所を走行しているという結果が出た場合、測位に誤差が生じたと判断し、近くの道路に現在地補正すること



準天頂衛星システム「みちびき」とは

内閣府により整備が進められている、日本の衛星測位システム

- GPS衛星はアメリカ国防総省により管理されており、故意に位置精度を落とすことがあります。
- 自律航法は実際の走行を重ねてデータを蓄積することで算出精度の向上を図っています。そのため、初めてお使いのときや、蓄積データを初期化（センサー学習結果の初期化）をした直後は十分に現在地測位ができない場合があります。
- 測位の誤差が大きくなったり、タイヤ交換やチェーンの装着、他車への載せ替え、他人に譲渡または処分などされる場合は、センサー学習結果の初期化を行ってください。
➡ 各種設定をお買い上げ時の状態に戻す(P146)
- エンジンを開始してすぐ車を動かしたときも、自車マークの向きがずれることがあります。
- 高速道路と一般道路が近くにある場合、自車マークが実際と異なる道路に表示されることがあります。その場合は、道路切り替えを行うと自車位置を修正できることがあります。
➡ 走行中の道路を誤って認識したとき(道路切替)(P.47)

GPS電波受信について

- 以下のような場所ではGPS電波がさえぎられやすいため受信しにくくなります。

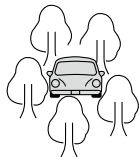
トンネルの中



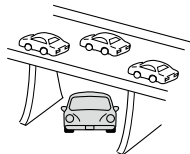
高層ビルに囲まれた所



樹木の密集した所



高速道路の下など



- 車内でご使用の電子機器(レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETCなど)からの電波により、また一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより電波がさえぎられ、受信しにくくなる場合があります。
- 通常は、本機を起動してから数分でGPS電波を受信します。ただし、初めてお使いのときや車のバッテリーなど交換後、また長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15～20分程度かかることがあります(GPS衛星から送られる衛星の軌道データの受

信周期により、データの取り込み時間に時間がかかるため)。走行すると受信や現在地測位に時間がかかるため、受信できるまで走行せずにお待ちください。

VICSについて

VICSに関する問い合わせ先について

- VICS関連商品、VICS情報の受信エリアや内容の概略、レベル3(地図)表示の内容に関することは日産販売会社へお問い合わせください。
- VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することはVICSセンターへお問い合わせください。(ただし、レベル3(地図)表示の表示内容は除く)

一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)

電話番号 0570-00-8831
※PHS、IP電話等からはご利用いただけません。
※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

電話受付時間 平日9:30～17:45
(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

FAX番号 (03)3562-1719
FAX受付時間 24時間
URL <https://www.vics.or.jp/>

VICS削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にとまらぬ、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。))は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。))を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICSサービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICSサービス契約

当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4) VICSデスクランパー

FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランパー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランパー

が組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

(1) 加入者がVICSデスクランパーの使用を将来にわたって停止したとき

(2) 加入者の所有するVICSデスクランパーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、

VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事にやむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

- 2 当センターは、前項の規定によ

りVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- 2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が

行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表] 視聴料金 330円(税込み)
ただし、車載機購入価格に含まれております。

令和2年12月1日改訂

地図ソフトについて

重要 !!

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「(株)ゼンリン」)間の「本機」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとしします。

使用規定





1. (株)ゼンリンは、お客様に対し、機器の取扱説明書(「取説」)の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている機器1台に限り使用する権利を許諾します。
2. (株)ゼンリンは、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、(株)ゼンリンが定める時期、方法によりこれらが無いものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者(「メーカー」)の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
3. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を




遵守するものとしします。

- (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
 - (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
4. お客様は、以下の事項を承諾するものとしします。
- (1) 本ソフトの著作権は、(株)ゼンリンまたは(株)ゼンリンに著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
 - (2) 本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、(株)ゼンリンは何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、(株)ゼンリンは故意または重過失の場合を除き何ら保証しないこと。(本ソフトにおける情報の収録は、(株)ゼンリンの基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。)
 - (3) 本規定に違反したことにより(株)ゼンリンに損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
5. お客様は、以下の行為をしてはならないものとしします。

- (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
- (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。
- (3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
- (4) 本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段(コピープロテクション)が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。
- (5) その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

安全上のご注意 (交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください)

 警告	 禁止	<p>運転者は、走行中に操作をしたり、画面を注視したりしないでください。</p> <p>運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。</p>
	 指示	<p>操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。</p> <p>安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。</p>
	 指示	<p>常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。</p> <p>本機に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があります、交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。</p> <p>取り付ける車両に「標識認識機能」がある場合、本機の案内と車両側に表示される情報が異なる場合がありますが、常に実際の標識に表示された情報に従って運転してください。</p>

 警告	 指示	<p>一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。</p> <p>一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。</p>
	 禁止	<p>本機を救急施設などへの誘導用には使用しないでください。</p> <p>本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。</p>

【地図データについて】

- この地図の作成に当たっては、測量法に基づく国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しています。(承認番号 R 2JHs 293-B191号)
- この地図の作成にあたっては、測量法に基づく国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)
- 3次元地図の作成に当たっては、測量法に基づく国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50 mメッシュ(標高)を使用しています。(承認番号 R 2JHs 815-001号)
- この地図の作成に当たっては、(一財)日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。(測量法第44条に基づく成果使用承認12-0040)
- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
- 「市街地図」データは(株)ゼンリンの住宅地図データに基づき作成しています。なお、当該「市街地図」は地域により作成時期が異なる場合や、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。
- 自然災害等の影響により、表示される地図が現地と一部異なる場合があります。

最新の情報は、行政機関などで公開されている情報をご確認ください。

- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2021年12月、国道、都道府県道についてはおおむね2021年10月までに収集された情報に基づき製作されていますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。

◆3D交差点.....ルート案内時、主要都市の主要交差点をリアルデザインで案内します。

◆ジャンクションビュー.....ルート案内時、自動的に高速道路・首都高速道路・都市高速道路のジャンクションをリアルデザインで案内します。

◆方面看板.....国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。(全国の主要交差点を表示)

※3D交差点、ジャンクションビュー、方面看板は、全ての交差点において収録されているわけではありません。

- 細街路規制データは、おおむね2021年7月までに収集された情報に基づき製作されています。推奨ルートの探索には、時間指定の一方通行規制は考慮されていません。また、表示される規制データが

現場の状況と異なる場合があります。

- 本ソフトに使用している盗難多発地点情報は、47の各都道府県警察の以下の著作物を改変して作成しています。「区市町村の町丁別、罪種別及び手口別認知件数」(以下「出典情報」)
- (株)ゼンリンは、盗難多発地点情報を、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示 4.0 国際 (<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>) 及び 2.1 日本 (<http://creativecommons.org/licenses/by/2.1/jp/>) に定める以下①及び②へ準拠した上で作成し、本製品の製造者へ提供しています。
 - ①クレジット表記が必要であること
 - ②出典情報の保証を一切行わないこと

【経路探索について】

- 経路探索は、2万5千分の1地形図(国土地理院発行)の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。
- この地図データには、自動経路探索、交差点拡大図表示および音声ガイドに対応するデータを収録しておりますが、表示および表現方法や件数が現場の状況と異なる場合や、ご使用になれない場合があります。
- 交差点や道路の形状によっては、不要な音声案内をしたり、経路探索結果が不自

然になったりする場合があります。

【交通規制データについて】

- 本ソフトに使用している交通規制データは、(公財)日本道路交通情報センター(JARTIC)の交通規制情報を使用しています。
- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、(公財)日本道路交通情報センター(JARTIC)の交通規制情報を(株)ゼンリンおよびMAPMASTERが加工して作成したものを使用しています。
- 交通規制データは、普通自動車に適用される交通規制情報が収録されています。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。

【電話番号検索情報について】

- 本ソフトに使用している電話番号検索情報は、NTTのタウンページ電話帳2021年11月の情報を収録しています。なお、タウンページ電話帳に記載されている店舗情報の中でも、一部店舗の場所が特定できない情報については収録していません。
- お客様が電話番号、店舗名称等を用いて対象となる店舗または物件の位置を検索した場合、該当する店舗または物件の周辺を到着地点として表示する場合があります。あらかじめご了承ください。

- 「タウンページデータベース」は、NTT東日本・NTT西日本の電話サービス契約約款に基づき提供する電話帳ベースです。NTT東日本・NTT西日本からの委託を受けたNTTタウンページ株式会社が提供しています。

【VICSリンクについて】

- VICSリンクデータベースの著作権は、(一財)日本デジタル道路地図協会、(公財)日本交通管理技術協会に帰属しています。(一財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)による道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。

【登録商標について】

- “ゼンリン”および“ZENRIN”は(株)ゼンリンの登録商標です。
- 「VICS」および「VICS WIDE」は(一財)道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- “タウンページ”は、日本電信電話(株)の商標です。

一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター) お客様相談窓口

【電話番号】 0570-00-8831
(PHS、IP電話等からはご利用いただけません。)

【受付時間】 平日 9:30～17:45
(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

【FAX番号】 03-3562-1719
(24時間受付)

【URL】 <https://www.vics.or.jp/>

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。

■道路：2021年12月(高速・有料道路) / 2021年10月(国道・都道府県道)

■交通規制：2021年11月

■住所検索：2021年11月

■電話番号検索：2021年11月

■郵便番号検索：2021年11月

■ジャンル検索：2021年10月

■高速・有料道路料金*：2021年12月

■市街地図：2021年7月

※料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。また、増税などにより実際の金額とは異なる場合があります。地図データの作成時期の都合により、新規開通道路にはETCレーン、および料金のデータが収録されていない場合があります。また新規開通道路のパーキングエリア(PA)、サービスエリア(SA)の施設情報は表示されない場合があります。

2022年7月発行 製作/株式会社ゼンリン

© 2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会

© 2021 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION

© 2021 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

© ジオ技術研究所

© 2022 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

地図に関するお問い合わせ先

株式会社ゼンリン

カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル0120-210-616

※受付の時間・曜日などは株式会社ゼンリンのホームページをご確認ください。

https://www.zenrin.co.jp/product/support/contact_tel_fax/index.html

※携帯・PHSからもご利用いただけます。

※IP電話等の一部電話機では、ご利用いただけない場合がございます。

表示できる施設

ジャンル	企業名・中分類
コンビニエンスストア	コンビニエンスストア
ガソリンスタンド	ガソリンスタンド
駐車場	駐車場
交通機関	駅 高速・都市高速・有料道路施設 道の駅 フェリーターミナル 港 空港 タクシー
遊ぶ	遊園地(テーマパーク) レジャー公園・牧場 その他レジャー施設 海洋・海浜公園 サファリパーク 海水浴場 川くだり 果物狩り 遊覧船 遊覧飛行機 リフト・ロープウェイ 釣り キャンプ場 公営ギャンブル パチンコ 麻雀

ジャンル	企業名・中分類	
遊ぶ (続き)	ゲームセンター ビリヤード ボウリング場 カラオケボックス マンガ喫茶 インターネットカフェ アニメ・ゲームグッズ プラネタリウム クラブ・ライブハウス マリーナ 待ち合わせ場所 趣味・娯楽・教養	
	観る	動物園 植物園 水族館 美術館 博物館 資料館 文化施設 ホール会館 劇場 映画館 城・城跡 史跡 名所・観光地等 イベント ビューポイント 住宅展示場

ジャンル	企業名・中分類	
泊まる	ホテル ビジネスホテル 旅館 ペンション 公共の宿 ファッションホテル カプセルホテル 家族旅行村 国民休暇村 民宿 その他宿泊施設	
	買う	カー用品 ホームセンター ディスカウント スーパー デパート 複合大型商業施設 アウトレットモール 家電 本 ファッション 衣服・呉服・小物 シューズ バッグ・コート・毛皮 その他繊維製品 スポーツ 雑貨

ジャンル	企業名・中分類
買う (続き)	ドラッグストア 100円ショップ その他日用品・雑貨・文具 チケット売買・プレイガイド 携帯電話ショップ リサイクルショップ おもちゃ屋 子供用品・服 酒屋 食材 パン・お菓子 花屋 園芸店 家具店 インテリア用品店 メガネ・コンタクトレンズ 釣具店 アウトドア用品店 CDレコード店 中古CDレコード店 レンタルビデオ・CD 化粧品・装飾品・民芸品 オーディオ・パソコン・OA

必要なとき

ジャンル	企業名・中分類
買う (続き)	金物店・刃物店
	ガラス・陶磁器
	その他小売店
食べる	ファミリーレストラン
	ファストフード
	ラーメン
	うどん・そば
	日本料理
	中華
	イタリア料理
	寿司屋
	回転寿司
	フランス料理
	カレーハウス
	焼肉・ホルモン
	韓国料理
	お好み焼き
	とんかつ
	持ち帰り弁当
	喫茶
	酒場
	うなぎ料理店
	おでん屋
	海鮮料理店
	懐石料理
	割烹・料亭
	スバゲティ専門店
	ステーキハウス
	てんぷら料理店
鳥料理店	

ジャンル	企業名・中分類	
食べる(続き)	ピザハウス	
	アイスクリーム	
	その他和風飲食店	
	その他洋風・中華飲食店	
	生活施設	郵便
		理容・美容
		クリーニング
		温泉
		銭湯
		サウナ・健康センター
クアハウス・スパ		
教養施設・福祉施設		
写真・写真館		
組合		
人材紹介・代行サービス		
録音スタジオ		
クレジット・質屋・買取		
宅配便・運輸		
リース・レンタル・修理		
トイレ	トイレ	
銀行	都市銀行	
	地方銀行	
	その他銀行	
公共施設	役所	
	警察署・交番	
	消防署	

ジャンル	企業名・中分類	
公共施設 (続き)	図書館	
	裁判所	
	税務署	
	年金事務所	
	保健所	
	法務局	
	運転免許試験場	
	ハローワーク	
	学校・ 教育施設	大学
		高校
中学校		
小学校		
短大		
高専		
中等教育学校		
幼稚園		
保育園		
特別支援学校		
自動車学校		
各種専門学校		
予備校		
その他学校・教育施設		
病院	病院	
冠婚葬祭	冠婚葬祭場	
	結婚式場	
	霊園・墓地	
	造花・装飾・花環 火葬場	

ジャンル	企業名・中分類
スポーツ 施設	ゴルフ
	スキー・スケート
	マリンスポーツ
	野球場
	競技場
	プール
	モータースポーツ
	自転車
	テニスコート
	体育館
武道館	
スポーツクラブ	
バッティングセンター	
公営スポーツ施設	
その他スポーツ施設	
神社・仏閣・ 教会・巡礼	神社
	仏閣・寺
	教会 全国著名巡礼名所
カー ディーラー	日産
	日産部品
自動車関連	自動車整備工場
	中古車販売
	レッカーサービス
	ロードサービス
	レンタカー
	オートバイ販売・ 部品・用品
	レンタルバイク
	その他自動車・ 自転車

必要なとき

ジャンル	企業名・中分類
エコステーション	エコステーション
その他 ジャンル	大使館・領事館
	マスメディア
	旅行・観光業
	ペット
	製造・卸売業
	農園・果樹園

microSDカードについて

- 本書ではSD規格に準拠したメモリーカードをmicroSDカードと記載しています。
- microSDカードに記録されているデータを本機で編集することはできません。
- 本機は下記のmicroSDカードに対応しています。(下記以外のmicroSDカードは使用できません。)
 - － microSDXCメモリーカード(2 TB以下)
 - － microSDHCメモリーカード(32 GB以下)
 - － microSDメモリーカード(2 GB以下)SDロゴ、SDHCロゴ、SDXCロゴのある(SD規格準拠)カードのみ使用できます。セキュリティ機能など特殊な機能が付いているmicroSDカードには対応していません。
- 対応ファイルシステムはFAT16、FAT32、exFATです。
- 本機が読み取れる最大フォルダ階層は8階層(ルート含む)です。
- microSDカードの初期化は本機で行ってください。

※または、パソコンで「SDフォーマッター」(フォーマットソフトウェア)を使って初期化してから使用してください。SDフォーマッターについては、下記サイトをご覧ください。

https://av.jpn.support.panasonic.com/support/sd_w/download/

- microSDカードへのデータ書き込み中／読み込み中(再生中／初期化中など)にmicroSDカードを抜かないでください。データが壊れたり、microSDカードが破損したりするおそれがあります。
- microSDカードの書き込みが可能な状態で使用してください。
- microSDカードには寿命があるため、長時間使用すると、書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- microSDカードが不良の場合、正常に動作しません。
- microSDカードの性能によっては、動作が不安定になったり認識しなかったりする場合があります。
- ラベルがはがれていたり、ネームテープ(ラベル)が貼り付けられたいしているmicroSDカードは使用しないでください。
- 規格に準拠したmicroSDカードでも、本機では使用できない場合があります。
- 無線LAN内蔵のmicroSDカードは対応していません。
- 本機はUHS規格の転送速度には対応しておりません。

microSDカードの取り扱いについて

- 使用する前など、カートリッジの表面についたほこりやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。
- 使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光の当たる場所、熱器具の近く、湿気の多い場所や腐食性のある場所など)でのご使用や保管はしないでください。
- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。
- 持ち運びや保管の際は、必ず収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。また、強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、分解したり、改造したり、水に濡らしたりしないでください。
- 静電気や電氣的ノイズを受けるおそれのある場所に、microSDカードを放置しないでください。データが破壊されるおそれがあります。

BLUETOOTH®について

使用周波数帯

本機では、BLUETOOTH®接続中は、2.4 GHz帯の周波数帯を使用します。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあり、その機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します。)があります。

1. BLUETOOTH®を使う前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認する。
2. 万一、「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が生じた場合や、何かお困りのことが起きたときは電波の発射を停止した上、日産販売会社へご相談ください。
3. 何かお困りのことが起きたときは、日産販売会社へご相談ください。

機器設定(無線局の免許は不要です。)

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。ただし、次のことは、法律で罰せられることがあります。

- 分解・改造をする
- 製品銘板をはがす

使用可能距離

見通し距離約10 m以内でご使用ください。間に障害物がある場合や、建物の構造などにより、使用可能距離は短くなります。

他機器からの影響

- 本機と他のBLUETOOTH®対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器の距離が近いと、電波干渉により、正常動作しない、雑音の発生など、不具合が生じる可能性があります。
- 放送局などが近く電波が強すぎる場合も同じです。

使用制限

- すべてのBLUETOOTH®対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信するBLUETOOTH®対応機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定める認証が必要です。ただし、認証されていても対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- ワイヤレス通信時は、使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますのでご注意ください。(BLUETOOTH®標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しています。)

- ワイヤレス通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

用途制限

- 本機のBLUETOOTH®の各機能を使用するには、BLUETOOTH®対応機器が下記のプロファイルに対応している必要があります。
 - ・ BLUETOOTH® Audio
 - Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
 - Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
 - ・ ハンズフリー通話
 - Hands-Free Profile (HFP)
 - ・ 電話帳転送
 - Phone Book Access Profile (PBAP)
 - ・ NaviCon®/レコーダーリンク
 - Serial Port Profile (SPP)
- BLUETOOTH®対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。

本機の対応規格と対応プロファイル

対応規格	
BLUETOOTH® 標準規格 Ver. 5.2 + EDR 準拠	
対応プロファイル	使用する本機の機能
HFP(Hands-Free Profile) ver.1.7	ハンズフリーフォンの通話、レコーダーリンク、NaviCon®
PBAP(Phone Book Access Profile) ver.1.2	電話帳・発着信履歴の自動転送
A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) ver.1.3	BLUETOOTH® Audio
AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) ver.1.6	
SPP(Serial Port Profile) ver.1.2	NaviCon®

Wi-Fiについて

- 本機の無線機能の使用周波数帯は2.4 GHz帯です。変調方式としてDS-SS変調方式、OFDM変調方式を採用しています。想定干渉距離は40 m以下です。本機は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。
- 同じ周波数を使用している他の無線機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します。)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
 - 何かお困りのことが起きたときは、日産販売会社へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - － 本機の分解や改造をする
 - － 本機に貼り付けてある製品銘板をはがす

必要なとき

- 本機は、電気通信事業者(移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど)の通信回線(公衆無線LANを含む)に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続するときは、必ず電気通信事業法の認定を受けた端末設備(ルーター、回線端末装置など)を経由して接続してください。
- 本機はすべてのWi-Fiテザリング対応スマートフォンとのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- 接続する機器はWi-Fi Alliance®の定める規格に適合し、認証を取得している必要があります。規格に適合していても、接続する機器の特性や仕様によっては接続できない、表示や動作が異なる、などの場合があります。
- 使用する環境(車内および車両周辺的环境)によっては、通信速度が低下するなど通信の状態が不安定になることがあります。
- 障害物(壁や床など)があると、通信の状態が不安定になったり接続できない場合があります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。
- **BLUETOOTH®**機能と同時に使用すると、それぞれの通信の状態(接続や音声など)が不安定になることがあります。
- スマートフォンの電池残量低下により、Wi-Fi通信の状態が不安定になることがあります。

- Wi-Fiエリア内から出た場合は、通信が切断されます。
- 使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますので、ご注意ください。
- 通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねます。

■ Wi-Fiの規格とセキュリティ方式について

対応規格	IEEE 802.11b/g/n(2.4 GHzのみ)
対応セキュリティ方式	OPEN WPA 2™ - Personal WPA 3™ - Personal

後席専用モニターについて

別売の後席専用モニターを接続することにより、後席で**AV**ソースの映像を楽しむことができます。前席(本機)でナビを表示しながら、後席(後席専用モニター)で**AV**ソース映像を表示することもできます。

後席専用モニターに表示できる映像について

表示できる映像	TV、レコーダーリンク、SD(動画のみ)、HDMI、VTR、ドライブレコーダー
表示できない映像	上記以外の映像

- 車種によっては取り付けできない場合があります。後席専用モニターの詳細は日産販売会社にご相談ください。
- 別売の後席専用モニターを接続した場合、出力画質は1280×720となります。
- 後席専用モニターによっては、後席専用モニターのリモコンを使って本機の一部の操作が可能です。詳しくは後席専用モニターの取扱説明書をご覧ください。※本機が対応していない機能向けの操作ボタンが後席専用モニターのリモコンにある場合、そのボタンを押しても本機は動作しません。
- 本機の操作を行えない後席専用モニターの場合、直接本機で操作を行ってください。
- 後席専用モニターでは走行中/停車中にかかわらず映像が表示されます。
- コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してモニターで視聴すると正常に受信できません。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで本機とモニターを直接接続してください。
- AVをOFFにすると後席専用モニター側の表示も消えます。

音楽ファイルについて

本機は、microSDカードに保存した音楽データを再生できます。

音楽データの規格について

■MP3

項目	内容
規格	MPEG-1 Audio Layer 3、MPEG-2 Audio Layer 3
拡張子	mp3、MP3
ビットレート	<ul style="list-style-type: none"> ● MPEG-1 Audio Layer3 32 kbps / 40 kbps / 48 kbps / 56 kbps / 64 kbps / 80 kbps / 96 kbps / 112 kbps / 128 kbps / 160 kbps / 192 kbps / 224 kbps / 256 kbps / 320 kbps / VBR ● MPEG-2 Audio Layer3 8 kbps / 16 kbps / 24 kbps / 32 kbps / 40 kbps / 48 kbps / 56 kbps / 64 kbps / 80 kbps / 96 kbps / 112 kbps / 128 kbps / 144 kbps / 160 kbps / VBR ※ free format bitstream / forbidden は非対応
サンプリング周波数	<ul style="list-style-type: none"> ● MPEG-1 Audio Layer3 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz ● MPEG-2 Audio Layer3 8 kHz / 11.025 kHz / 12 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz
チャンネル	2ch / 1ch (Stereo / Joint Stereo / Dual Channel / Single Channel)
タグ情報	ID3タグVer.1 (Ver.1.0 / Ver.1.1)、ID3タグVer.2 (Ver.2.2 / Ver.2.3 / Ver.2.4) : タイトル、アーティスト名、アルバム名
アルバムアートワークのファイル形式	JPEG、PNG、BMP

■WMA

項目	内容
規格	Microsoft Windows Media Audio Decoder Ver.8 / Ver.9 std / Ver.9 Lossless / Ver.10 pro 2ch 準拠
拡張子	wma、WMA
ビットレート	CBR : 5 kbps ~ 320 kbps VBR : Peak 384 kbps
サンプリング周波数	8 kHz / 11.025 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz
チャンネル	2ch、1ch (Stereo / Mono)
タグ情報	WMAタグ : タイトル、アーティスト名、アルバム名
アルバムアートワークのファイル形式	JPEG、PNG、BMP

■AAC

項目	内容
規格	MPEG-4 / AAC LC (Low Complexity)、MPEG-2 / AAC LC (Low Complexity)、HE-AAC Ver.1、HE-AAC Ver.2、Enhanced Low Delay AAC
拡張子	aac、AAC、m4a、M4A ※ iTunes 以外で作成されたファイルは動作保証外 ※ DRM 認証つきファイルは対象外
ビットレート	8 kbps ~ 320 kbps / VBR
サンプリング周波数	8 kHz / 11.025 kHz / 12 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz
チャンネル	2ch、1ch (Stereo / Mono)
タグ情報	AACタグ、ID3タグ Ver.1 (Ver.1.0 / Ver.1.1)、ID3タグ Ver.2 (Ver.2.2 / Ver.2.3 / Ver.2.4) : タイトル、アーティスト名、アルバム名
アルバムアートワークのファイル形式	JPEG、PNG、BMP

■FLAC

項目	内容
規格	FLAC (Free Lossless Audio Codec)
拡張子	flac
量子化ビット	16 bit / 24 bit
ビットレート	最大 9216 kbps
サンプリング周波数	16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz / 176.4 kHz / 192 kHz
チャンネル	Stereo / Mono
タグ情報	タイトル、アーティスト名、アルバム名
アルバムアートワークのファイル形式	JPEG、PNG、BMP

■WAV

項目	内容
規格	RIFF waveform Audio Format
拡張子	wav
量子化ビット	16 bit / 24 bit
サンプリング周波数	8 kHz / 11.025 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz / 176.4 kHz / 192 kHz

必要なとき

- microSD カード内のフォルダ階層は最大 8 階層、最大フォルダ数は 700、1 フォルダ内の最大ファイル数は 65 535 です。
- MP3i フォーマット / MP3PRO フォーマット / ディエンファシスには対応していません。
- ID3 タグ Ver.1、Ver.2 が混在する MP3 ファイルの場合、Ver.2 のタグを優先します。
- WMA Voice には対応していません。
- FLAC ファイルは 1 024 から 4 608 のブロックサイズに対応しています。
- WAV ファイルは LPCM (整数型) に対応しています。AIFF フォーマット / WAVE64 フォーマット / RF64 フォーマット / ADPCM フォーマット等には対応していません。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。
- 2ch を超えるチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- ファイル作成の詳細はエンコーダーソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- ファイル作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるデータが作成される場合があります、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。
- エンコーダーの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- 不正なファイル (例えば MP3 以外のファイルに "MP3" の拡張子を付けたファイル) は、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。音楽データ以外のファイルに音楽データの拡張子を付けしないでください。MP3 / WMA / AAC / FLAC / WAV 以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

知識

- 音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけてあるものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。
- DRM (デジタル著作権管理) には対応しておりません。
- 著作権保護された音楽ファイル (SD-Audio 規格など) は再生できません。

再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

- 32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64 kbps以下のビットレートで再生されたMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps以上、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。

音楽ファイルの再生について

- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMA/AAC/FLAC/WAVファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

知識

- エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- MP3/WMA/AAC/FLAC/WAVファイルの作成の詳細はエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3/WMA/AAC/FLAC/WAVファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイルが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。
- 再生できないファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)
- 不正なファイル(例えばMP3以外のファイルに“MP3”の拡張子を付けたファイル)は、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。音楽データ以外のファイルに音楽データの拡張子を付けしないでください。MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

ハイレゾ音源の再生について

ハイレゾ音源とは、一般的なCDに入りきれない、音の情報をたくさん持った音源のことです。

本機では、microSDカードに保存したハイレゾ品質の音楽ファイル(FLAC/WAV形式)を、最大192 kHz/24 bitで記録された音源まで、含まれる音の情報を損なわずに再生できます。

アドバイス

- ハイレゾ品質で音楽を再生するには本機からスピーカーまですべてハイレゾ対応製品でカーオーディオシステムを構成することをおすすめします。

動画ファイルについて

本機は、microSDカードに保存した動画データを再生できます。

再生可能な動画ファイルについて

■ コンテナフォーマット

● MP4

項目	内容
拡張子	mp4、m4v
映像コーデック	MPEG-4(ISO/IEC 14496 Part.2)、H.264/MPEG-4 AVC
音声コーデック	MP3、AAC(規格の詳細は音楽データと同じ) ➡ 音楽データの規格について(P184)

● AVI

項目	内容
拡張子	avi
映像コーデック	MPEG-4(ISO/IEC 14496 Part.2)、H.264/MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	MP3、AAC、WMA(規格の詳細は音楽データと同じ) ➡ 音楽データの規格について(P184)

● MKV

項目	内容
拡張子	mkv
映像コーデック	MPEG-4(ISO/IEC 14496 Part.2)、H.264/MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	MP3、AAC(規格の詳細は音楽データと同じ) ➡ 音楽データの規格について(P184)

● ASF・WMV

項目	内容
拡張子	asf、wmv
映像コーデック	H.264/MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	WMA(規格の詳細は音楽データと同じ) ➡ 音楽データの規格について(P184)

■映像コーデック詳細

● H.264 / MPEG-4 AVC

項目	内容	
プロファイル/レベル	BaselineProfile / 3, MainProfile / 3.1	
最大解像度	720 × 480	1 280 × 720
最大ビットレート	10 Mbps	14 Mbps
最大フレームレート	30 fps	30 fps

● MPEG-4(ISO / IEC 14496 Part.2)

項目	内容	
プロファイル/レベル	SimpleProfile / 5	
最大解像度	720 × 480	720 × 576
最大ビットレート	8 Mbps	8 Mbps
最大フレームレート	30 fps	25 fps

● VC-1

項目	内容		
プロファイル/レベル	AdvancedProfile / 2	MainProfile / Medium	SimpleProfile / Medium
最大解像度	1 280 × 720	720 × 480	352 × 288
最大ビットレート	20 Mbps	10 Mbps	384 kbps
最大フレームレート	30 fps	30 fps	15 fps

知識

- ビットレートが低いと、十分な画質・音質を得られない場合があります。
- 可変ビットレート(VBR)で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなる場合があります。そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる場合があります。
- 上記の仕様から外れたファイルは、再生できなかつたり、音飛びする可能性があります。
- 動画ファイルの作成方法・エンコーダソフトなどによっては再生できなかつたり、音声・映像が乱れる場合があります。
- Windows Media Videoには対応していません。
- Global Motion Compensation、Quarter-pel Motion Compensationには対応していません。映像が乱れ正しく再生できません。
- 著作権保護された動画ファイル(SD-Video規格など)は再生できません。

動画ファイルの再生について

テレビ放送や、ビデオ、DVDなど、個人で作成したものでない映像、音声を個人で楽しむ以外の目的で権利者に無断で使用することは、著作権法上制限されています。

テレビ／ラジオの受信について

車で移動して受信するため、家庭用のチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。

また、受信環境や電波状況(電波の強さの変化、障害物、他の電波などの影響)により、最良な受信状態を維持できない場合があります。

- 放送方式(12セグ/ワンセグなど)や放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- 下記のような場所または状況では受信状態が悪くなる場合があります。
 - － 放送局から遠い
 - － 電波が遮られやすい場所(トンネルの中、山の陰やビルの谷間など)
 - － 電車の架線、高圧線、テレビやラジオ放送の送信所、ネオンなどが近くにある
 - － 無線用の送信アンテナが近くにある
 - － 車の電装品(パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンのファンなど)が作動している場合
 - － 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機やアンテナおよびアンテナのコードに近づけた場合

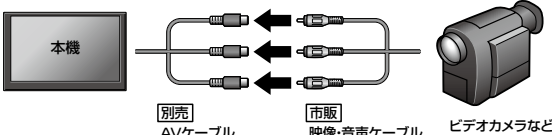
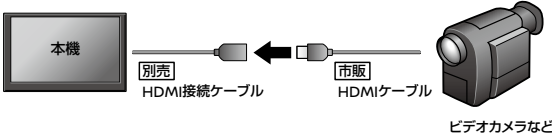
- 受信状態が悪くなったときは次のような現象が起こることがありますが、故障ではありません。
 - － 映像や音声か乱れる(ノイズが発生したり、途切れる)
 - － 静止画面や黒画面となり音声が出なくなる

知識

- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 本機は、B-CASカードを使用せずに地上デジタル放送を視聴できるコンテンツ権利保護専用方式*1を採用しているため、B-CASカードを付属しておりません。

*1…コンテンツ権利保護専用方式は、地上デジタル放送のコンテンツ保護専用の方式です。
詳しくは、下記サイトをご覧ください。
一般社団法人地上放送RMP管理センター
<http://www.trmp.or.jp/>

別売品(システムアップ)について

別売品が必要な機能	別売品の名称
本機でETC2.0の情報を見る	・ ETC2.0 車載器
本機で車載カメラの映像を見る	・ バックビューモニター
本機でドライブレコーダーの映像を見る	・ 日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー ・ ドライブレコーダー
本機で外部機器の映像を見る／音声を聴く (VTRソースの場合)	・ AVケーブル  [別売] AVケーブル [市販] 映像・音声ケーブル ビデオカメラなど
本機で外部機器の映像を見る／音声を聴く (HDMIソースの場合) MM222D-Le) 付属のケーブルをご利用ください。 MM222D-L) 別売品が必要です。	・ HDMI接続ケーブル  [別売] HDMI接続ケーブル [市販] HDMIケーブル ビデオカメラなど
後席でTVなどを見る	・ 後席専用モニター(HDMI接続)

知識

- 本機で使用できる別売品については、日産販売会社にお問い合わせください。
- 日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー、ドライブレコーダー、AVケーブルは、いずれか1つのみ接続できます。

初期設定一覧

各項目の初期設定は下記のとおりです。

トップメニュー
ショートカット ※全機能一覧の下記項目を表示
目的地 = [音声認識] [周辺施設] [自宅] [ジャンル] [住所] [電話番号] [登録地] [マップコード] [名称] [履歴] AV = [AM] [BLUETOOTH Audio] [FM] [HDMI] [レコーダーリンク]* ¹ [SD] [TV] [VTR]* ² [交通情報] システム連携 = [ドライブレコーダー]* ³

- * 1…[レコーダーリンク]は(MM222D-Le)のみ
- * 2…別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー/ドライブレコーダーを接続している場合、[VTR]は表示されません。
- * 3…別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー/ドライブレコーダーを接続している場合のみ表示されます。

地図画面・探索
縮尺 = 50 m 地図の向き = ヘディングアップ(進行方向が上) 探索条件 = [推奨]

■ AV情報・設定メニュー
AVチューン
エフェクト
音質・音場モード = [高音質] エフェクト = [音の匠] サラウンド = [TAKUMI マスターサウンド] 車速連動音量 = [MID] ビット・周波数拡張設定 = [OFF]
イコライザー
イコライザープリセット = [OFF]
フェーダー/バランス
各項目の調整値 = 0
スピーカー
出力レベル 各スピーカー = ±0 dB ディレイ 各スピーカー = 100 cm
AV出力
AV出力 = [OFF]

■ システム情報・設定メニュー
操作音
操作音 = [ON]
時計表示
時計表示 = [ON]

案内音声設定		
本体音量スイッチ操作で案内音量調整を優先 = [ON] 案内音量の車速連動 = [ON] 案内出力スピーカー = [右前] 案内時のAV音量消音 = [OFF]		
音量設定		
ナビ案内音 = 11段階中5段階目 音声認識音 = 11段階中6段階目 ハンズフリー着音音 = 40段階中20段階目 ハンズフリー受話音 = 40段階中20段階目 ハンズフリー送話音 = 7段階中4段階目		
画質調整 ※()内はイルミネーションON時の設定値		
明るさ	バックビューモニター	25(15)
	上記以外の画面	25(11)
コントラスト	各画面共通	16(16)
色合い	各画面共通	16(16)
色の濃さ	各画面共通	16(16)
画面サイズ = [フル]		
セキュリティ設定		
セキュリティ設定 = [OFF] ※セキュリティ設定[ON]時:セキュリティインジケータ = [ON] 盗難多発地点表示案内 = [ON] 市街地図での盗難多発地点表示案内 = [OFF]		
車種設定		
車種設定 = [普通車]		

必要なとき

オプションスイッチ設定
オプションスイッチ設定=[消音]
ダイレクトボタン設定
ダイレクトボタン設定=[ドライブレコーダー動画録画]
休憩案内
休憩案内=[ON]
言語
言語=[Japanese]

■スマートフォン接続設定メニュー

BLUETOOTH®設定
BLUETOOTH®=[ON] BLUETOOTH®機器情報 デバイス名=NISSAN MM222D
Wi-Fi設定
モード=[ネットワーク]

■ナビ情報・設定メニュー

チューン
ルート
有料道路優先=[中] 道幅優先=[中] 渋滞回避=[中] ルート学習=[ON] VICS考慮=[ON] 季節規制考慮=[ON] スマートインター考慮=[ON]
ガイドランス
分岐案内頻度=[高] 合流案内=[ON] 踏切案内=[ON] 専用レーン案内=[ON]
マップ
昼の地図色=[ノーマル] 夜の地図色=[ノーマル] 文字サイズ=[中] 自車マーク=青、大 昼夜切換=[時刻連動]
VICS
VICS有料道情報表示=[ON] VICS一般道情報表示=[ON] VICS駐車場情報表示=[ON] VICS規制マーク表示=[ON] VICS範囲表示=[ON] VICS渋滞・混雑情報表示=[ON] VICS渋滞なし情報表示=[OFF] VICS統計情報表示=[ON]

ナビ設定
表示設定
ランドマーク表示=[ON] ※ランドマーク カーディーラー=日産、日産部品 レンタカー=日産レンタカー 走行軌跡を表示=[OFF] 目的地方向を表示=[ON]
探索設定
新旧ルート比較画面を表示=[ON] 新旧ルート自動選択=[新ルート] 到着予想時刻の計算方法=[自動] ※到着予想時刻の計算方法[手動]時：一般道=50 km/h、有料道路=80 km/h
案内設定
案内拡大図の表示=[ON] ETCレーンの表示=[ON] 方面看板の表示=[ON] ハイウェイモードの表示=[ON] AV画面中の案内割込み=[ON] 逆走注意アラーム=[ON] VICS案内=[ON]
渋滞設定
FM VICS 周波数 周波数の選局方法=[自動選局]
ETC2.0 割込み設定
ETC2.0 受信音=[ON] ETC2.0 割込み=[ON] ETC2.0 自動音声再生=[ON] ETC2.0 アップリンク=[ON]
ETCの音声案内設定
ETC 音声案内=[ON] カード入れ忘れ案内=[ON] カード抜き忘れ案内=[ON]

必要なとき

登録地

自宅=未登録
登録地点=未登録
※登録時
アラーム 音=[OFF]
アラーム 案内距離=[50 m]
アラーム 進入角度=[OFF]

TV

メニュー

受信モード=[自動切替]
オート放送局サーチ=[する]
地上D選局対象=[テレビ]
番組表表示形式=[第一内容]
地上D/ワンセグ切替設定=[遅延補正あり]
設定
信号切替
マルチビュー=[主番組]
映像=[映像1]
音声=[日本語]
二重音声=[主]
字幕=[表示しない]
文字スーパー=[表示しない]

FM / AM

FM周波数=76.0 MHz
AM周波数=522 kHz

交通情報

交通情報=[1 620 kHz]

レコーダーリンク

視聴設定

映像再生画質=[標準画質]
映像再生バッファサイズ=[標準]

SD

モード切替=[音楽]
選曲モード=[全曲]
再生モード=リピートオール

ハンズフリー通話

携帯電話データの自動同期=[ON]

ドライブレコーダー^{*1}

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

*1…別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー接続時

商標などについて

- Microsoft, Windows and Windows Media are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.
- 「VICS」および「VICS WIDE」は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 「ETC」および「ETC2.0」は、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
- ITSスポットは、国土交通省道路局の登録商標です。
- microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- **BLUETOOTH®**のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、パナソニックオートモーティブシステムズ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

- HDMI, High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- “ゼンリン” および “ZENRIN” は株式会社ゼンリンの登録商標です。
- “タウンページ” は、日本電信電話株式会社の商標です。
- 「マップコード」および「MAPCODE」は株式会社デンソーの登録商標です。
- NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。
- QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。
- AndroidはGoogle LLCの商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Protected Access® (WPA)はWi-Fi Alliance®の登録商標です。WPA2™、WPA3™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License及びAVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - 画像情報をMPEG-4 Visual、AVC規格に準拠して(以下、MPEG-4/AVCビデオ)を記録すること。

- 個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVCビデオを再生すること。

詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。

- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
- Apple, iPhone, iPod, iPod touch, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- 「DiXiM」は株式会社デジオンの登録商標です。
- 「DiXiM Play」は、株式会社デジオンの商標です。

- 「DiXiM」は、株式会社デジオンが開発したマルチメディア・ホームネットワークソリューションです。「DiXiM Play」はDiXiMを搭載したGoogle Play / App Store / Windowsストア向けDTCP-IP対応ホームネットワークプレーヤーアプリケーションです。詳しくは、デジオンWebサイト(<https://www.digion.com/>)をご覧ください。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関するしてはいけません。
- 本機を法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。
- 本製品の取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて

■本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。

- (1) パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社(「パナソニック」)により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
- (2) パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2(「GPL」)に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(「LGPL」)に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL, LGPL以外に基づいてライセンスされたオープンソースソフトウェア

■上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、それぞれ、以下のGPLおよびLGPL所定の条件をご参照ください。

GPL : <http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html>

LGPL : <http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html>

また、上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、多数の人が著作権を保有しています。

これらの著作権者の著作権表示については、以下をご参照ください。

<http://car.panasonic.jp/oss/k03nsndc>

GPL/LGPLに基づきライセンスされるソフトウェア(「GPL/LGPLソフト」)は、有用であることを願って頒布されますが、全くの無保証です。

商業可能性があることや特定の目的に適合していることについては、黙示的保証も含め、一切保証されません。

パナソニックは、製品発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた全ての方に対してソースコードの提供に必要な物理的コストを上回らない程度の料金と引き換えに、GPL/LGPLソフトに対応した完全かつ機械で読み取り可能なソースコードを提供します。

ソースコードの内容等についてのご質問はお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

またインターネット接続環境はお客様ご自身でご用意していただく必要があります。

Webサイトの閲覧中およびダウンロード中のインターネット接続、回線使用料等はおお客様ご負担となります。

[問い合わせ窓口]

〒224-8520 神奈川県横浜市都筑区池辺町4261番地

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社 インフォテインメントシステムズ事業部 技術管理部門 責任者 宛

また、上記のGPL/LGPLソフトに対応したソースコードは、以下のウェブサイトで、誰でも自由に入手することができます。

<http://car.panasonic.jp/oss/k03nsndc>

■前記(5)に分類されるソフトウェアには、以下のライセンス条件が適用されるソフトウェアを含む様々なオープンソースソフトウェアのプログラム(OSS)が含まれています。

これらのOSSについてのライセンス条件その他の事項に関しては、以下のURLをご参照ください。

<http://car.panasonic.jp/oss/k03nsndc>

保証とアフターサービス

保証について

保証期間は、お買い上げ日またはお取付け日から3年です。

ただし、その期間内でも走行距離が60 000 kmまでといたします。

日産販売会社から発行される「日産純正オプション部品保証書」に必要事項が記入されているかお確かめのうえ、お客さまの「車検証入れ」などに入れて大切に保管してください。

アフターサービスについて

本機が正常に動作しないときは、この取扱説明書を再度ご覧になってお調べください。

それでも本機が正常に動作しないときは、日産販売会社にご相談ください。

仕様

仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

モニター部	
種類	液晶カラーモニター
駆動方式	TFT アクティブマトリックス方式
画面サイズ	9 V型
使用光源	LED

ナビゲーション部	
受信周波数	1 575.42 MHz(C/Aコード)
受信感度	-145 dBm
位置更新時間	約0.1 秒

地上デジタルテレビ部	
受信チャンネル	000～999 UHF：13～52チャンネル
放送方式	地上デジタル放送方式(日本) 12セグ/ワンセグ

ラジオ・チューナー部	
回路方式	AM/FM/MPX ラジオPLL方式
受信周波数	FM 76.0 MHz～95.0 MHz AM 522 kHz～1 629 kHz
実用感度	FM 15 dB(μV) AM 37 dB(μV)
S/N比	FM 55 dB(15 kHz L.P.F使用時) AM 50 dB(15 kHz L.P.F使用時)
ステレオセパレーション	FM 20 dB(15 kHz L.P.F使用時)
歪率	FM/AM 0.5 %

入出力端子	
電源入力端子	TH18 専用コネクタ
外部入力端子	TH08 専用コネクタ HDMI 端子 タイプE コネクタ
外部出力端子	HDMI 端子 タイプE コネクタ (後席専用モニター用)
GPS アンテナ入力端子	GT5 専用コネクタ
DTV アンテナ入力端子	GT13S 専用コネクタ
ラジオ入力端子 (VICS 入力端子)	GT13SH 専用コネクタ (ラジオ入力端子と共用)
ETC2.0 端子	5ピン専用コネクタ
ETC2.0 端子	GT17(C) 専用コネクタ

その他	
供給電源電圧	DC12 V
最大出力	43 W × 4(14.4 V)
外形寸法 (本体のみ)	244 × 132 × 172 mm (幅×高さ×奥行き) ※突起部は除く
質量(本体のみ)	2.1 kg

※本書に記載の寸法・質量はおおよその数値です。
※画面サイズのV型(9 V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

A		F		S	
AAC.....	185	FLAC.....	186	SA / PA マーク.....	44
AV画面に切り替え.....	74	FM/AM.....	91	SDカードの初期化.....	146
AVソース一覧.....	75	FM多重.....	69		
AVチューン.....	76			T	
AVをON / OFFする.....	76			TV操作画面.....	84
		G		TVの初期化.....	146
B		GPS受信表示.....	32	TVの設定.....	90
BLUETOOTH ® Audio.....	95			V	
BLUETOOTH ® 接続 (スマートフォン接続設定).....	27	H		VICS自動再探索.....	59
		H.264.....	190	VICS渋滞情報(矢印表示・破線表示).....	43
D		HDMI(外部入力).....	101	VICS情報.....	67
DSP.....	79	M		VICSタイムスタンプ.....	42
		microSDカード*.....	98, 180	VTR(外部入力).....	101
E		microSDカードを挿入する／取り出す.....	97		
ETC2.0.....	121	MP3.....	184	W	
ETC音声案内の設定.....	121	MPEG-4.....	190	WAV.....	186
ETCカード入れ忘れ案内の設定.....	121			Wi-Fi接続(スマートフォン接続設定).....	29
ETCカード抜き忘れ案内の設定.....	121	N		WMA.....	185
ETC情報(ETC履歴・ETC管理情報).....	123	NaviCon®.....	132		
		Q			
		QRコード表示.....	3		

ア

明るさ	143
案内音声設定	62
案内スタート/案内ストップ	49
案内ルート	35

イ

イコライザー設定	81
一般優先(ルート探索条件)	55
インテリジェントアラウンドビューモニター (移動物検知機能付き)	109

エ

エコ(ルート探索条件)	55
エフェクトモード	76
エリア選局	70
エリアモード	91

オ

音の匠	78
オプションスイッチ	140
音楽ファイル	184
音響効果の設定	78
音声案内	58
音声認識	136
音量	20

カ

カーソル	34
各部の名称と機能	18
画質の調整	143
傾きの調整	40
カメラ設定	106
画面消し	144
画面サイズ	143

キ

キーボード学習結果の初期化	146
機器登録	27
気象・災害情報表示	43
逆走注意アラーム	36
休憩メッセージ案内	59
距離優先(ルート探索条件)	55
緊急警報放送	83
緊急情報	68

ケ

携帯電話切替	127
携帯電話データの自動同期	129
経由地の設定	53
経由地の追加・消去	54
言語	140
現在地測位の状態	32
現在地を表示	18
検索結果画面	136

コ

高音質モード	76
交差点情報	32, 33
後席専用モニター	183
交通情報(ラジオ)	91
コントラスト	143

サ

細街路探索	56
再探索	59
サンプリング周波数	188

シ

時刻連動(昼夜切り替え).....	46
自転車位置設定.....	46, 47
自転車マーク.....	32
施設詳細.....	48
施設名称.....	34
自宅の登録.....	25
自動選局(VICS受信).....	69
車種設定.....	25
車速連動音量.....	80
車両信号情報.....	144
ジャンル検索(施設を探す).....	51
住所検索.....	51
渋滞回避.....	60
渋滞情報.....	43
周波数再編(リパック).....	83
周波数設定.....	69
周辺施設検索.....	52
縮尺表示.....	32
縮尺を切り替える.....	39
出荷状態に戻す.....	146
手動選局(VICS受信).....	70
消音(オプションスイッチ).....	140
初期化.....	146
初期設定一覧.....	193
新旧ルート比較.....	59

ス

推奨(ルート探索条件).....	55
スクロール.....	38
ステアリングスイッチ.....	19
ステータスバー.....	33
スピーカー出力レベル設定.....	82
スピーカーディレイ設定.....	82
スマートIC.....	56

セ

セキュリティインジケータ.....	19
セキュリティ設定.....	141
全ルート図.....	53

ソ

騒音適応モード.....	76
走行軌跡.....	35
走行軌跡の記録を消去する.....	46
操作音.....	140

タ

探索条件.....	55
端末情報.....	145

チ

地図画面の表示内容.....	32
地図更新.....	71
地図色.....	46
地図の拡大・縮小.....	39
地図表示記号.....	45
地図モード画面.....	34
地点メニュー.....	34
地点を登録.....	64
駐車場マーク.....	44
駐車録画設定.....	116

テ

デモ走行.....	54
電話帳.....	127
電話に出る.....	126
電話番号検索.....	50
電話を切る.....	126

ト

動画ファイル.....	189
盗難多発地点表示.....	142
道路切替(ランチャー).....	47
登録地の消去.....	65
登録地の編集.....	65
時計表示設定.....	140
トップメニュー.....	21
トップメニューカスタマイズ.....	22
ドライブレコーダー.....	120

ナ		ヘ		ラ	
ナビ案内音.....	21	ヘディングアップ.....	32	ライト連動(昼夜切り替え).....	46
ニ		マ		ラジオ.....	91
入力履歴の消去.....	49	マップコード検索.....	52	ランダム再生.....	95, 99
ノ		ミ		ランドマーク.....	47
ノースアップ.....	32	右画面表示.....	41	リ	
ハ		メ		リピート再生.....	95, 99
ハイウェイモード.....	43	名称検索.....	49	履歴から探す.....	50
ハイレゾ音源再生.....	188	目安線.....	107	ル	
バックビューモニター.....	104	目的地の設定.....	49	ルート案内の設定.....	61
番組表(TV).....	88	目的地の追加・消去.....	54	ルート学習.....	55
ハンズフリーフォン.....	126	文字サイズ.....	46	ルート学習結果の初期化.....	60
ヒ		モ		ルート消去.....	49
ビット・周波数拡張.....	80	目的地の設定.....	49	ルート編集.....	54
ビットレート.....	184, 188	目的地の追加・消去.....	54	レ	
ビデオカメラ.....	192	文字サイズ.....	46	レコーダーリンク.....	92
フ		ユ		ワ	
フェーダー/バランス.....	81	有料優先(ルート探索条件).....	55	割り当て(スマートフォン).....	28
		ヨ		ワンセグ.....	85
		曜日時間規制探索.....	56		

本ナビゲーションシステムは、日産自動車株式会社向けに、
パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社が開発・
製造しています。

お問い合わせは、「日産自動車株式会社 お客様相談室」へ
お願いいたします。

日産自動車へのご相談は下記にお願いいたします。

お客さま相談室

0120-315-232

受付時間：9:00～17:00（年末年始を除く）

お問い合わせ・ご相談内容につきましては、お客さま対応や品質向上のために記録し活用させていただいております。

なお、内容によっては、当社の販売会社等から回答させていただくことが適切と判断した場合には、必要な範囲で情報を開示し、当該販売会社等からお客さまにご連絡をとらせていただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。当社における個人情報の取り扱いの詳細については、日産自動車ホームページ（<http://www.nissan.co.jp>）にて掲載しています。

日産自動車株式会社

〒220-8686 神奈川県横浜市西区高島一丁目1番1号

印刷 2023 年 1 月 Printed in Japan

